

## 大学一覧

《アイルランド》

リメリック大学

《アメリカ》

アーカンソー工科大学

アイオワ大学

ウェスタンカロライナ大学

ウェスタンワシントン大学

オザークス大学

オハイオ州立大学ヤングスタウン校

カリフォルニア大学サンディエゴ校

カリフォルニア大学リバーサイド校

カリフォルニア州立大学スタニスロース校

カリフォルニア州立大学ドミンゲスヒルズ校

カリフォルニア州立大学フンボルト校

カリフォルニア州立大学ベーカーズフィールド校

カリフォルニア州立大学モントレイ校

カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校

カンザス州立大学

サザンオレゴン大学

ジョージアサザン大学

テキサス大学サンアントニオ校

デッキンソン州立大学

テネシー大学チャタヌーガ校

ニューメキシコ州立大学

ノースアラバマ大学

ノースイースタンイリノイ大学

ノースカロライナ大学グリーンズボロ校

ノースカロライナ大学シャーロット校

パイクビル大学

パシフィック大学

ハワイパシフィック大学

ペンシルバニア州立インディアナ大学

リンゼイウィルソン大学

南カリフォルニア大学

《イギリス》

ウィンチェスター大学

オックスフォードブルックス大学

キール大学

セントラルランカシャー大学

《イタリア》

トリノ大学

《オーストラリア》

グリフィス大学

サザンクロス大学

サンシャインコースト大学

セントラルクイーンズランド大学

タスマニア大学

ニューカッスル大学

《カナダ》

アルゴマ大学

カルガリー大学

キャピラノ大学

クイーンズ大学

セネカカレッジ

セルカークカレッジ

センテニアルカレッジ

ノースアイランドカレッジ

ブリティッシュコロンビア大学

ヨーク大学

レイクヘッド大学

レスブリッジ大学

《スペイン》

ウエルバ大学

《ニュージーランド》

オークランドインスティテュートオブスタディーズ

《フランス》

カーン大学

グルノーブルアルプ大学

ジャンムランリヨン第3大学

トゥールーズカトリック大学

トゥールーズジャンジョレス大学

パリ第4大学

ブルゴーニュ大学附属語学学校

ミッシェルドウモンテンニュボルドー第3大学

リヨンカトリック大学

《ベルギー》

ブリュッセル自由大学

《中国》

上海外国語大学

北京外国語大学

复旦大学  
大連外国語大学  
大連大学  
天津外国語大学  
西安外国語大学

《台湾》  
銘伝大学

《韩国》  
釜山外国語大学校

留学種別	TESS II
留学先大学	リメリック大学
留学先国・地域名	アイルランド
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### ・ General English Year Round Program

- ・ 語学コースだったため、あらかじめ決められていました。
- ・ 10～15人で入れ替わりあり。  
日本、中国、スペイン、タイ、ベトナム、オマーン、リビアなど
- ・ 月曜から金曜の昼すぎまで  
**Speaking, Listening, Writing, Reading**
- ・ ゼミ形式

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

留学に来る前と比べて、一番上がったと感じる英語の要素はリスニングです。

私はホームステイと一緒に暮らしていたのが、すごくおしゃべりなおばあさんだったので、初めは英語のスピードと量に圧倒されていましたが、帰国するころには彼女の速い英語を聞き、会話を楽しめるようになりました。当たり前ですが、交通機関やテレビ番組、ラジオなどすべて英語なので、かなりなれることができました。

リメリックは特に、町の人みんながよく道端やバスの中などで話をするので、気軽に英語が出るようになりました。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	リメリック大学
留学先国・地域名	アイルランド
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

- ・ **General English Year Round Programme**
- ・ ESL は一つだけでした
- ・ 8～12人、スペイン人、中国人、オマーン人、タイ人、ベトナム人、リビア人
- ・ 月～金まで毎日
- ・ ゼミ形式、ディスカッション多め

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

**Speaking、Listening** はともに留学前に比べて、格段に上がったと思います。自分の思いをきちんと伝えることが大切であると感じました。そうすることで、自分の周りの環境がより良い方向につながっていくと学びました。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	リメリック大学
留学先国・地域名	アイルランド
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### ・履修登録方法

履修したい科目を紙に書き、留学生用のオフィスに提出

#### ・授業形式

以下の3パターンの形式があり、各モジュールごとに週に数回、形式が違う授業がある。

**lecture** 大人数教室で聴く授業

**tutorial** 20人程度でグループワーク中心

**lab** 10人弱。スペイン語の授業では、リスニングを中心に行なった。

#### ・一週間の授業時間割

月曜日

Communication(lecture) 1時間

English (Tutorial) 2時間

火曜日

English (Tutorial) 2時間

Spanish(lecture) 1時間

Marketing Intelligence(Tutorial) 隔週 1時間

水曜日

Communication(Tutorial) 1時間

Spanish(Tutorial) 2時間

Irish music(Tutorial) 1時間

木曜日

Spanish(lab) 1時間

Irish music(lecture) 1時間

Communication(lecture)1時間

Spanish(Tutorial) 2時間

Marketing Intelligence(lecture) 2時間

金曜日

Irish music(lecture) 1時間

#### ・授業概要

**English as a foreign language**

各授業 20人程度

教育実習生の授業、一般の先生の授業の週2回、各2時間

使用教科書 **New inside out**

フランス人、ドイツ人、日本人が多いクラスだった。

主に英文法について勉強した。課題として、レポート、プレゼン、テストがあった。

**Spanish**

**lecture**

数百人程度、週1時間

ラテンアメリカとスペインのスペイン語の違いなどについて学んだ。

**Tutorial**

週2回、各2時間

20人程度、文法中心の授業

留学生が多く、多様な国籍のクラス

使用教科書 **Hola! International 1**

**lab**

週 1 時間、10 数名

留学生が比較的多いクラス

主にリスニングを行なった

使用教科書 **Hola! International 1**

**Communication**

**lecture**

週 2 回、各 1 時間、数百人程度

現地学生の割合が高かった

グローバルに働く上での、マネジメント、マーケティングについて学んだ

**Tutorial**

週 1 時間、20 名程度

**lecture** で習った内容を生かし、プレゼンなどを行なった

**Marketing Intelligence**

**lecture**

週 2 時間、50 名程度

現地学生の割合が多かった

分析の方法などを学んだ。

**Tutorial**

各種 1 時間、20 名程度

**lecture** で習った方法を使い、分析を行なった

**Irish music**

**lecture**

週 2 回、各 1 時間

殆ど留学生で、アメリカ人が過半数を占めていた

アイルランドの歌、楽器、ダンスについて学んだ

**Tutorial**

週 1 時間

**Irish Dance** を習った。

## II. 2 学期目以降の学習状況 (1 年以上の留学の場合)

### ・授業形式

以下の 3 パターンの形式があり、各モジュールごとに週に数回、形式が違う授業がある。

**lecture** 大人数教室で聴く授業

**tutorial** 20 人程度でグループワーク中心

**lab** 10 人弱。スペイン語の授業では、リスニングを中心に行なった。

### ・履修登録方法

履修したい科目を紙に書き、留学生用のオフィスに提出

### ・一週間の授業時間割

月曜日

**Irish Music (lecture)** 1 時間

**English as a foreign language** 2 時間

火曜日

**Business consulting** 2 時間

**Spanish(lecture)** 1 時間

水曜日

**Irish Music (lecture)** 1 時間

**English as a foreign language** 2 時間

**Spanish(tutorial)** 2 時間

**Irish Music(tutorial)** 1 時間

木曜日

**Spanish(lub)** 1 時間

**Spanish(tutorial)** 2 時間

・授業形式 (講義形式、ゼミ形式など)

**Business consulting**

**lecture(週 2 時間)** 100 名程度

留学生と現地学生半々程度

企業分析する方法などを学び、

授業外でグループメイトと実際コンサルタントをし、プレゼンやレポートを書いた。また、2 週間に 1 度 15 分程度のグループワークに対するフィードバックが授業時間外にあった。

**English as a foreign language**

**tutorial** 週 2 回 各 2 時間

各授業 10 人程度

使用教科書 **New inside out**

フランス人、日本人が多いクラスだった。

主に英文法について勉強した。課題として、レポート、プレゼン、テストがあった。

**Spanish**

**lecture**

百人程度、週 1 時間

現地学生が大半だった。

ラテンアメリカの歴史、政治について学んだ。

**Tutorial**

週 2 回、各 2 時間

20 人程度、文法中心の授業

現地学生が大半だった。

使用教科書 **Hola! International 2**

**lab**

週 1 時間、10 名程度

現地の学生が大半だった。

主にリスニングを行なった

使用教科書 **Hola! International 2**

**Irish music**

**lecture**

週 2 回、各 1 時間

100 名程度、曲、楽器、ダンスについての座学

殆ど留学生で、アメリカ人が過半数を占めていた

アイルランドの歌、楽器、ダンスについて学んだ

**Tutorial**

週 1 時間

**Irish Dance** を習った。

アメリカ人が大半だった。

### III. 留学で得た学習成果

英語、スペイン語が話せるようになり、また、グループワークなどで、文化の違いやそれに対応する方法などを学ぶ事ができた。

### IV. その他気づいたこと



留学種別	TESS II
留学先大学	アーカンソー工科大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### ・授業科目名

Introduction Mass Communication, Basic Digital Photography, Foundational Composition, General Psychology, Orientation to University, Print Practicum

#### ・履修登録方法

**Advising Center** というところで、自分のアドバイザーと相談しながら決めます。自分が興味のある科目などを先に大学のHPから探しておくといいと思います。また、興味のあることなどを相談すれば、それに関するクラスを提案してくれます。授業が始まってから、授業の変更などもここで相談して決められます。私も授業を決めるのに、何回も聞きに行きました。

#### ・クラス構成、授業形式

**Introduction Mass Communication** : 30人ほど 講義形式

**Basic Digital Photography** : 10人ほど 先生の講義+プレゼン(2回)

**Foundational Composition** : 10人ほど **essay** をクラスメイトと見せ合ったり、その場で **essay** を書いたり、映画を見たりしました。

**General Psychology** : 30人ほど 講義形式

**Orientation to University** : 10人ほど **attendane** の代わりに毎回先生のお題に沿ったミニプレゼンをしました。

**Print Practicum**: 6人 自分でテーマを決めて記事を書いていきます。授業では進み具合などを報告する程度です。

#### ・一週間の授業時間割

(月) 9-9:50 Psychology, 13-13:50 Composition, 15-15:50 Practicum

(火) 9:30-10:50 Mass Communication

(水) 9-9:50 Psychology, 13-13:50 Composition,

(木) 9:30-10:50 Mass Communication, 11-11:50 Orientation to University, 18-21 Photography

(金) 9-9:50 Psychology, 13-13:50 Composition,

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

とにかく勉強量がここに来て増えました。教科書が分厚い、かつ **Chapter** も量が多いです。一つの **Chapter** が約 20-30p でした。Psychology は毎週 **Chapter quizz** があったので、一週間で **Chapter** を終わらせなければいけませんでした。ほぼ毎日図書館に行っていました。図書館は8時から25時まで空いているのと、寮から近いのでとても便利です。とにかく、毎日勉強するのが当たり前、ということに気づかされました。また、**Mass Communication** の授業の内容が難しく、メディアに関する単語自体の意味や **theory** などなかなか理解できませんでした。そういう時に、クラスの友達と集まり、二人で話し合い、調べながらその言葉や授業の内容について理解し、それでも理解できなかったことを先生に聞きに行くことをしていました。日本では一人で勉強することが多かったのですが、クラスメイトと互いに推論したり話し合いながら理解を深めて行くことは、とても面白いと思ったし、二人で話してるからこそ、テストでその単語などが出て来た時にはすぐに思い出せ、暗記にも役に立っていると実感しました。

また、私はここに来て、自分自身のボキャブラリーの無さを痛感しました。教科書を読んでも、単語が分からないのでなかなか進まなかったりし、授業についていけない自分が嫌にもなりましたが、予習をして、授業後にもちゃんと復習をすることで、ちゃんとテキストの内容が分かってくるので、とにかく諦めず頑張ることが大切だと思いました。

#### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	アーカンソー工科大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

1.English Composition, 2.College Reading skill, 3.Principle of collegiate success, 4.Personal Finance,5. Quantitative Business analysis

アドバイザーと相談して履修

1.2.3.4 は 10 人程度 5 は 30 人程度

1.は全員アメリカ 2.はサウジアラビア、アメリカ、3 は日本、アメリカ 4 はアメリカ、日本  
5 はアメリカ、中国、サウジアラビア

月水金は 50 分授業で同じ時間割、火水は 80 分

全て講義形式、ディスカッションも含む

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

1. Principle of Agricultural business, 2. Management 3. Principle of logistics supply, 4. Conversation 5. Principle of Economic 6. Business Information Systems

秋セメスターと同様の履修方法

1.6 は 30 人で 1.は全員アメリカ人 6 は中国、南米、ベトナム、台湾、日本 。4 は 10 人程度で  
全員アメリカ人

秋セメスターと同じ時間割

講義形式でプレゼン、ディスカッションも含む

### III. 留学で得た学習成果

英語力は向上した。

とくに、予習復習でリーディング力が格段に上がった。早く読めるようになった。スピーキングとリスニングはひびの授業+友達との会話で上がった。

ビジネスでは、農業や物流など外大では学べない分野で自分が興味のある分野も勉強することができ、とても有意義な時間が過ごせた。

もっと深い勉強もできたらと思った。

また、インターナショナルの友達も多くでき、中国語、スペイン語、などの日常で使う会話を教えてもらうこともできた。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	アイオワ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

1学期目は、ESL の Grammar、Academic Oral Skills、Transitional Reading、Academic Listening の4つの授業、学部授業は Social Media Today と The Passport Project の2つの授業を履修しました。履修登録は担当のアドバイザーとの面談の上、その場で登録する流れでした。ESL の授業は約15人のクラス構成で、国籍は中国、韓国などが中心でした。学部授業は150人程度のレクチャー形式で、ディスカッションは20人程度の少人数に区切られて行われました。一週間の授業時間割は、1日に50分の授業が2-3コマあるのが基本でした。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

2学期目は、ESL の Academic Reading、学部授業では Conversational Chinese、Beginning Chinese、Writing Fundamentals、Media Uses and Effects を履修しました。履修登録は1学期目同様、アドバイザーとの面談の上で登録しました。ESL は10人程度のクラス、中国語の授業は15人程度のクラス、ライティングの授業は20人程度のクラス、メディアの授業は150人程度のレクチャーと、20人程度のディスカッションで構成されていました。ESL は中国人の学生が中心、その他の学部授業は現地のアメリカ人の学生が大半でした。一週間の時間割は1日に1時間の授業が2コマあるのが基本でした。

### III. 留学で得た学習成果

英語学習について、ESL の授業では英語を英語で学ぶことができ、スピーキング、ライティング、リスニング、リーディングの4技能を日本語を介さずに処理する力を身につけることができました。英語でインプットやアウトプットを行う力を身につけたことにより、英語の処理スピードが上がり、よりスムーズなコミュニケーションを取れるようになりました。また、1学期、2学期を通して「メディア」をテーマとした授業を履修しました。国民のほとんどがスマートフォンを持ち、SNS を使って発信者になった今の時代、どのようにそういったメディアを使うべきかには、もともと興味があり、1学期目の「Social Media Today」ではSNS のようなメディアがどのように利用されているのか、2学期目の「Media Uses and Effects」ではそこから派生して、テレビや雑誌、映画などのメディアが人々にどのような影響をもたらしているのかを学ぶことができました。2学期目の中国語の授業では、基本的な語彙や文法だけでなく、実生活や旅行のときに使えるような実用的な中国語を学ぶことができ、日本での中国語学習を継続させることができました。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	アイオワ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

私が前期に受講していたクラスは、ESLの **Academic Reading Skills, Academic Oral Skills, Transitional Listening** と学部授業である、**International Business Environment, Introduction to Marketing Strategy** の5つでした。履修登録をネットからする前に、自分のアドバイザーに会い、どのクラスを取るべきかやどのクラスを取りたいのかなどの相談ができ、アドバイザーの許可をもらうことができれば、登録できる。ESLのクラス構成はほとんどが15人程度からなり、中国人の学生がそのほとんどを占めていた。学部授業は、**International Business Environment** は、2～3人の **International Students** がいて、それ以外の15名はアメリカの学生でした。**Introduction to Marketing Strategy** は、**Marketing** を専攻する全ての学生が受講しなければいけない授業だったので、講義は300名以上の学生がいて、ディスカッションは30名からなるクラスでした。一週間の時間割は、50分授業のクラスが3回と75分のクラスが2回という形式が一般でしたが、私が受講していた **Introduction to Marketing Strategy** は、75分の講義が週2回と50分のディスカッションが週に1回という構成でした。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

後期に受講していたクラスは、ESL **Academic Listening Skills** と学部授業の **Introduction to Management, Strategy・Innovation・Global Competition, International Marketing** の4つでした。履修登録は前期のやり方と同様にアドバイザーの許可を貰い次第登録できました。ESL **Academic Listening Skills** は同じく、15人ほどの少人数のクラスでほとんどの学生が中国人でした。一週間の時間割は、150分のクラスが週に1回、75分のクラスが2回、50分のクラスが3回でした。**Introduction to Management** は、**Introduction to Marketing Strategy** 同様に全ての **Management** を専攻している学生が受講しなければいけないクラスだったので、300人以上の講義のクラスと30名程度のディスカッションのクラスから構成されていました。**Strategy・Innovation・Global Competition** は、ほぼ全員がアメリカの学生で、20人以下のクラスでした。**International Marketing** は、30人程度のクラスで、私を含めアジアの学生は3人で、それ以外はアメリカ人でした。

### III. 留学で得た学習成果

前期に、大人数の講義の授業を受講したことで、先生が何を言っているのか理解することが難しくまた、中間テストと期末テストは先生が授業の中でおっしゃったことが多く出題されたので、テストでなかなかいい点が取れませんでした。また、教科書を読んで毎週日曜日までにインターネット上でオンラインクイズを受けなければならない宿題があり、読む量も多く、クイズには時間制限があったので、英語を素早く理解し、回答することに苦戦しました。しかし、後期では、講義の授業がありテストも宿題も同じような形式でしたが、先生のおっしゃっていることを理解し、テストでは平均点以上の点数を取ることができました。また英文も早く読めるようになったと思います。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	ウェスタンカロライナ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

IEPー英語コース

Reading & Writing

Listening & Speaking

Extensive Reading

US culture

履修登録はなく、決められたカリキュラムと時間割をこなす

クラスはそのときの IEP を受講したい人数によって変わる。私の学期の場合は7人。

月曜日 9:05-11:50 ・ 13:25-16:15

火曜日～金曜日 午前のみ

授業形式

ディスカッション、ゼミ、講義

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

特にコース変更のためのテストはなく、最低限語学コースをパスする必要がある

### III. 留学で得た学習成果

今回の語学コースを通して、アメリカの大学の授業形式や教授とのコミュニケーションの取り方を学んだ。

また、人前にで発表する機会も多く会話力の向上だけではなく度胸もついた。ライティングの授業では毎回先生がエッセイや要約を添削してくれたので、どこがまちがっているのかすぐわかったし、ライティング能力が向上したと思う。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	交換
留学先大学	ウェスタンワシントン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

コース名称

IEP

科目名

Grammar

Writing・Reading

Speaking・Listening

履修方法

自動

クラス構成

8人

国籍は様々

週5日、12時から3~4時間の言語学習

講義形式

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

英語の基礎的な能力の向上。主にリスニングとスピーキング力。また自炊していたため、多少料理ができるようになった。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	ウェスタンワシントン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018 年度 2 期 から 1 年

## 学習成果報告書

### I. 1 学期目の学習状況

僕はアメリカのウェスタンワシントン大学に留学し、TESOL(Teaching English to Speakers of Other Languages)に関連した授業を秋学期（一学期目）に 3 科目履修しました。一つ目は TESL 401 Introduction to English Linguistics for TESOL という授業で、主に言語学の中の分野である音声学、音韻論、形態論、統語論、意味論、語用論を中心に学びました。二つ目の TESL 410 Second Language Acquisition Theory for TESOL という授業では、第二言語習得論についての理論等をディスカッションやケーススタディなどを通して深く学びました。三つ目の TESL 420 Methods and Materials for Basic Communication という授業では、英語の教授法の理論を実際に ESL の授業に通う生徒たちに教えて実践に移すことで、主体的にかつ深い学習をすることが出来ました。これら三科目はすべて TESOL の科目なので、履修に関しては、TESOL の担当の先生に登録をしてもらい形で履修をしました。それぞれのクラスには 15 人ほどの生徒がおり、数人の日本人や中国人を除けばほとんど全員がアメリカ人でした。また、TESOL の授業はすべて午後 3 時から始まり、5 時に終わるなどのスケジュールでした。授業はディスカッションがメインで、宿題で課された教科書の内容の理解をより深めるという形式でした。期末にはプレゼンテーションをするなど、教科書で学んだ理論を授業や課題などで実践に移すという形が多かったです。

### II. 2 学期目以降の学習状況（1 年以上の留学の場合）

二学期目である冬学期には、TESOL 科目三科目と複言語科目であるロシア語を履修しました。一つ目は TESL 405 Methods for Teaching English Grammar という授業で、主に基礎的な英文法の教授法について学びました。二つ目の TESL 406 Understanding English Grammar for TESOL はより学問的な英文法の教授法を学びました、三つ目の TESL 421 Methods and Materials for Academic Language Proficiency では、学問的な内容を用いて行う英語の授業の教授法を理論と実践を通して学びました。四つ目の RUSS 110 Beginning Russian I では、ロシア語の基礎的な文法、語彙などをロシアの文化や言語学的な特徴を踏まえながら学んでいきました。TESOL 科目である 3 つの授業は秋学期（1 学期目）と同じく TESOL の担当の先生に登録をしてもらい形でしたが、ロシア語の授業については、コンピューターを使ってオンラインで履修登録をしました。また、クラス構成についても TESOL 科目に関しては秋学期（1 学期目）とほとんど変わらず一クラス当たり 15 人程度で、ほとんどがアメリカ人という環境でした。ロシア語の授業については、一クラスに 50 人ほどおり、僕以外はアメリカ人という環境でした。TESOL 科目に関しては、その他一週間の時間割や授業形式は前学期とほとんど変わりはありませんでした。ロシア語の授業は、教科書や先生の使うパワーポイントを中心にコミュニケーション表現を実際に使う練習のような形式で授業が進められていきました。

### III. 留学で得た学習成果

この 2 学期間の留学を通じて、これまで NUFS で学んでいなかった言語習得のメカニズムや言語の教授法、さらには英語に関する知識を幅広く伸ばすことができ、さらにはロシア語の授業を通して、アメリカで行われている外国語教育の方法やその教授法などを生徒の目線で学ぶことが出来ました。主な留学の目的である TESOL 科目を通して、将来の夢である英語の教師をより身近に感じることができ、さらにはその夢への大きな一歩を踏み出すことが出来たと感じて



います。

#### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	ウェスタンワシントン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

IEP の授業は6つの level に分けられて一クラス5人から10人ほどです。1学期目は level 4 だったので授業内容は Grammar, Reading, Writing, Listening と Speaking でした。授業は毎日12時から始まり、日によって終わる時間は違いますが基本3時か4時には終わりました。また、いろいろな国（サウジアラビア、中国、日本、ドイツなど）からの留学生がいて年齢もバラバラでした。1学期のクラスの人数は8人でした。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

私は1年を通してIEPだったので授業時間や授業内容は基本的には変わっていません。level5 にあがれます。クラスの人数はクラスによって違いました。新しく、中国、ナイジェリア、ペルーの人たちが来ました。

### III. 留学で得た学習成果

私が成長した点は主に listening と speaking だと思います。listening は、寮のルームメイトと話したり、クラスでほかの留学生と英語で話したりすることで少しは伸びたと思います。また、speaking は授業中にプレゼンやスピーチをたくさん行ったので、伸びたと思います。writing のクラスも、時間制限がある中エッセイを書いたり、エッセイの書き方を学んだりして書くスピードは上がりました。日常生活では、すべてのことを自分でやらなくてはいけないので料理は特にできるようになりました。あと、人にいろいろ聞く勇気ができたり、自分の意見を言うことにも慣れました。

### IV. その他気づいたこと

留学に行く前に自分が入る寮の名前がわからなくて、着くまでに時間がかかってしまったのでわかるようにしてほしかったです。

留学種別	TESS II
留学先大学	オザークス大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

ELS コースが存在しなかったため、関連する授業を選んだ。American National Government, English as Second language, Media Report, Public Speaking の4つの授業を受けた。支給されたiPadで履修登録を行った。登録後専任のacademic adviserと相談し、問題が無いか確認してもらった。クラスの人数は10~20人ほどで、アメリカ人だけでなく中南米からの留学生も多かった。1週間のうち月、水、金曜日に行われる授業は1コマ50分。火、木曜日に2回行われる授業は1コマ90分で1週間の総授業時間に変わりはない。1日の授業数は1, 2コマ。授業形式はスライドを使った講義形式。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

2学期からは英語だけでなく歴史や政治学の授業を取った。履修の方法は1学期と変わらずiPadで行う。授業を途中でドロップするために専任のacademic adviserと連絡を取り手続きを行った。International Relationship, World History II, College Reading and Writing, Logicを受けた。College Reading and Writingは生徒の数が私を含めて4人。月、水、金曜日に2つ、火、木曜日に2つ授業を取った。スライドを使った講義形式で授業が行われた。

### III. 留学で得た学習成果

英語で自分の意見を伝えることの難しさを実感した。テストや宿題はエッセイ形式のものが多く、英語を理解するだけでなく学んだことをどのように活かすことができるのかというところまで考えさせられた。始めはとても苦勞して、課題を終わらせるのに時間がかかった。量をこなすにつれて徐々にライティングのコツをつかむことができた。

### IV. その他気づいたこと

気づいたところは世界共通言語としての英語について。オザークス大学は海外から留学生をたくさん受け入れており、英語が第1言語でない生徒がたくさんいる。発音が決して流暢でない彼らを見て、コミュニケーションとしての英語はそこまでハードルが高くないことを実感した。

留学種別	TESS II
留学先大学	オハイオ州立大学ヤングスタウン校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

1期目はELI(English Language Institute)を受講しました。授業科目は Grammar, Listening, Reading, Writing, Speaking の5科目で履修登録の手続きは特にありませんでした。1クラスは6人(日本人2人、中国人、シリア人、サウジアラビア人、韓国人が1人ずつ)でした。5教科×60分授業が月曜日から木曜日まであり、金曜日は授業が休みです。少人数クラスなのでどの授業でも先生と学生の距離が近く会話をしながら授業が進んで行く感じでした。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

ELIのLevel5のテストを受け最終的に授業参加度なども含めて成績が出てそれに受ければ、学部授業に進むことができます。私がとった授業は Sociology, Psychology, Environmental Science, Normal Nutrition の4つで、どの授業も講義形式の授業でした。履修登録は、授業開始一週間前ほどに、アドバイザーと面談を行い決めました。毎日2つずつ授業があり、月水金に50分授業を2つ受け、火木に75分授業を2つ受けていました。授業の人数は60人ほどのものと200人ほどのものがありました。

### III. 留学で得た学習成果

まず1期目の語学学校については、Speakingではプレゼンテーションの構成の仕方について学び、どのようにプレゼンすれば相手に伝わりやすいのかを学ぶことができました。Readingでは、建築などの専門分野の文章を読むことが多かったので、単語の意味がわからなくても文脈から推測して読んでいくことができる力がつきました。Listeningでは、ノートテイキングの仕方を学びました。Writingでは、APAスタイルとMLAスタイルでの書き方を学びました。Grammarでは、基礎中の基礎から応用レベルまでの文法を学びました。

次に2期の学部授業については、教授の話している内容を理解するのが大変でしたが、授業中に出てきそうな単語を調べるなどの予習をした結果、だんだん話が聞き取れるようになりました。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	オハイオ州立大学ヤングスタウン校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### English Learning Institute

語学学校

Reading, Writing, Speaking, Listening, Grammar

自動的にクラスが割り当てされる。

6人 (サウジアラビア人2、中国人1、日本人2、シリア人1)

講義形式

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

学部に切り替わる際にテストはありません。

Writing 2 20人

Introduction of Sociology 80人

Literature for young children 20人

Elementary of Spanish 20人

Web から履修登録が可能。

すべて講義形式のクラスでした。

各クラス50分が週に3回のクラス。

### III. 留学で得た学習成果

一期は英語の基礎を復習するかたちでした。自分にとっては少し簡単で退屈でした。単位に余裕があれば、一期から学部の授業をとるとよいかもしれません。

二期はすべてのクラスが現地の学生で構成されており、生きた英語に触れられました。

課題はレポートなど自宅にもちかえるタイプのものが多く、時間はかかりましたが **Writing** のちからをつけられました。

### IV. その他気づいたこと

車がないとスーパーにもいけないような地域でしたので、早く友達を作って車でいろいろなところへ連れて行ってもらいました。

イベントに積極的に参加すれば、すぐに友達が作れると思います。

留学種別	認定
留学先大学	カリフォルニア大学サンディエゴ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

**Conversation and Fluency**4週間、**Academic English** 8週間（語学コース）

紙に記入

授業によって異なるが15人前後でクウェート、韓国、ブラジル、サウジアラビア、中国、日本、チリ、ドイツ、オーストリアなど様々な国籍のクラスメイトがいた。

月 水 3コマ

火 木 金 2コマ

講義形式とグループワーク

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

**Business Essentials**

**Fundamentals of Marketing, Introduction to Business, Business communication, Elements of Marketing, Internship Experience**

すでに履修内容が決まっていた。

15人前後 メキシコ、日本、韓国、台湾、トルコ、スペイン、ブラジル、ロシア

月曜 **Fundamentals of Marketing** 講義形式

火曜 **Introduction to Business** 講義形式

水曜 **Internship Experience** ゼミ形式

木曜 **Business communication** ゼミ形式

金曜 **Elements of Marketing** 講義形式

### III. 留学で得た学習成果

自分の回答に対してどうしてそう思うのかと理由を聞かれることが多かった。今までは『何となくそう思うから』という風に物事を考えることが多かったが、毎回理由を尋ねられるため事前に自分の頭の中でどうしてそう思うのか考える癖がついた。以前と比較して、しっかりとした意見がしっかり言えるようになったと思う。また、きちんと考えるようになると、色々なものに対して興味が湧いた。

また講義中、とっさに指されて意見を求められることがよくあった。はじめは意見が言えず（指されると思っていなかったため何も考えていなかった）先生にアジアの学生は自国の文化のせいかな静かに講義を聞くしそれが良いとされているけど、ここはアメリカだからよくないと注意された。悔しくてそれから常には常に頭の中で先生の投げかけや言ったことに対し全て答えているととっさに指されてもしっかりと受け答えができるようになった。

### IV. その他気づいたこと

アメリカの学生は遊びと勉強のメリハリがしっかりしていると思った。また通った大学の学生は優秀な学生ばかりで、ただの雑談でも知識が豊富で頭の回転が早いためか、話していてとても楽しかった。

留学種別	認定
留学先大学	カリフォルニア大学サンディエゴ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

- ・コース名称：Communication and Culture
- ・授業科目名：Intermediate Grammar Core 103, Intermediate Building Writing Skills, Int. Vocabulary/ Discussion through TV/ Video, Intermediate Listening D, Intermediate Conversation
- ・履修登録方法：クラスにて担当教員と Web で登録
- ・クラス構成：授業によって異なりますが、コアクラスでは全体で17～18人ほど。

国籍 日本、韓国、サウジアラビア、クウェート、イタリア、コンゴ共和国、チリ、ブラジル

- ・一週間の時間割

〈月、水、金〉

12：30－14：10 Intermediate Grammar Core 103

14：30－15：20 Intermediate Building Writing Skills

15：30－16：20 Int. Vocabulary/ Discussion through TV/ Video

〈火、木〉

8：30－10：20 Intermediate Listening D

10：30－12：20 Intermediate Conversation

- ・授業形式

基本的に講義形式ですが、Intermediate Conversation のクラスは生徒同士でコミュニケーションをとることが多くゼミ形式で行われていました。全体的に生徒数は10人前後でした。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

今回の留学では学習面では、リスニング力がかなり伸びたと感じております。すべて英語で行われる授業はもちろん、生活をしていくにあたって必ず英語を使わなければならない状況や、英語が母国語ではない友人らと話す際、お互い完璧でない英語でコミュニケーションを図ることから、話を聞くことに集中し、相手が何を伝えようとしているのかを必至で読み取ろうとした結果だと考えます。

また、学習面以外では、

①日本のことを客観的にみることができるようになった

②自ら積極的に動けるようになった

これらの二つの面で成長できたと感じております。一つ目に関しましては、ホストファミリーやアメリカ人の友人、アメリカに住んでいる日本人、ブラジルやサウジアラビア、コンゴ共和国出身の友人らとお互いの国について話す機会が多くあり、海外の文化や”当たり前”を知ることによって自分の中で日本と海外との違いが明確になりました。

二つ目は、アメリカの今いる自分の環境をより過ごしやすく、楽しめるように自ら積極的に友人を作るために現地のクラブ活動に参加したり、メインキャンパスで行われている日本語の授業のボランティアに参加したり、アメリカ人の社会人と友達になったり、アメリカにある日本企業で働いている日本人の方に就職活動についてお話を伺ったりしました。与えられた環境のなかで、最大限自分が楽しんでより活動できるように努力することができたと思えます。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	UCR 特別留学
留学先大学	カリフォルニア大学リバーサイド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018 年度 2 期 から 1 年

## 学習成果報告書

### I. 1 学期目の学習状況

【カリフォルニア大学リバーサイド校にて】

〈コース名称〉

- Reading/ Writing (Level 600)
- Academic Skills (Level 600)
- Intercultural Communication

〈履修登録方法〉

- UCR のポータルにて行う。

〈クラス構成〉

- 人数：17 人
- 国籍：日本、中国、台湾、サウジアラビア、クウェート、ベトナム

〈一週間の授業時間割〉

- 月、水

(午前) Reading/Writing, Academic Skills、(午後) Intercultural Communication

- 火、木、金

午前 2 つの授業のみ

〈授業形式〉

- Reading/ Writing : 先生が中心となって授業が進められたが、先生の質問に答えるなど生徒が発言する機会も多かった。グループやペアでのディスカッションが多かった。
- Academic Skills : ビデオを見たりプレゼンテーションの準備をしたりと、先生による講義という感じではなかった。
- Intercultural Communication : Reading/ Writing と先生が同じだったため、授業形式が似ていた。

### II. 2 学期目以降の学習状況 (1 年以上の留学の場合)

〈コース名称 (授業形態)〉

- Corporate Communication (対面)
- Disney Supervised Training (オンライン)
- Consumer Behavior (オンライン)

〈履修登録方法〉

- UCR のポータル、またはメールで送られてくるアンケートにて選択。

〈クラス構成〉

- 人数：18 人
- 国籍：日本、スペイン

〈一週間の授業時間割表〉

- Corporate Communication (対面授業) は毎週水曜日にあった。
- オンライン授業は各自時間があるときに行う。

### III. 留学で得た学習成果



- ・エッセイの書き方。
- ・自分を客観的にみて、それをエッセイにすること。

#### IV. その他気づいたこと

留学種別	UCR 特別留学
留学先大学	カリフォルニア大学リバーサイド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018 年度 2 期 から 1 年

## 学習成果報告書

### I. 1 学期目の学習状況

留学前半の授業は、UCR での 10 週間プログラムと、冬休み後の 2 週間プログラムにわかれていました。10 週間プログラムでは、Grammar と Reading & Writing, Intercultural Communication の授業をとっていました。履修登録は入学時のテストとともに自分のやりたい科目を志望しました。クラス構成はどの科目も一クラス当たり 20 人程度で、日本人、韓国人、クウェート人、サウジアラビア人、中国人で占められていました。月曜日から金曜日まで授業があり、月曜日と水曜日の午後に Intercultural Communication がある以外は Grammar と Reading & Writing だけの午前授業でした。授業形式は少人数クラスで講義形式のときもあれば、ディスカッションをするときもありました。

2 週間プログラムでは、カスタマーサービスやおもてなし、ホテル業界についてなど、毎日違う授業をうけていました。月曜日から金曜日まで 08:30~16:30 の授業で、スペイン人と日本人だけの授業でした。講義形式が主ですが、グループで発表や、プレゼンなど、グループワークも多かったです。

### II. 2 学期目以降の学習状況 (1 年以上の留学の場合)

留学後半の授業は、UCR のオンライン授業二つと UCR の対面授業ひとつでした。オンライン授業は Customer service と Disney supervised Training と、対面授業は Human Resource Management をとっていました。コース登録の際は大学からの Google アンケートを通して希望しました。すべての授業は二週間プログラムの時と同様、日本人とスペイン人だけのクラス構成で、Human Resource Management は火曜日の 9:30-13:30 までで、あとの二つの授業は期限までに課題をこなすという授業内容です。

### III. 留学で得た学習成果

カリフォルニアでの授業は、ディズニーでの研修に向けての英語の基礎を固め、二週間プログラムでは、カスタマーサービスの知識をつけることができました。また、10 週間プログラム、2 週間プログラムともに、多文化出身のクラスメートと話す機会が多いので、お互いの文化について知る良い経験となりました。ディズニーにいる間の授業では、クラスメートと、ディズニーでの仕事体験を共有しそれを参考にしながら授業にのぞむことができました。また、ある授業でマネージャーの体験談を聞くという宿題がありましたがそのおかげでマネージャーが普段のしごとで何を大切にしているかや、従業員に何を求めているかがわかり、自分も役に立ちたいというモチベーションにつながりました。

### IV. その他気づいたこと

ディズニーにいる間の授業は働きながらやらなければいけないことが多く、両立が大変でした。

留学種別	UCR 特別留学
留学先大学	カリフォルニア大学リバーサイド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

- ・コース名称/授業科目名： **EAP Critical Reading/Writing and Vocabulary, Global Issues 2**
- ・履修登録方法： 授業初日の英語力テストによるクラス分け
- ・クラス構成： 1クラス15人から20人程度、日本人/中国人/韓国人/クウェート人/サウジアラビア人/ブラジル人/インド人など
- ・一週間の授業時間割：月～金の午前中は**EAP**、火・木の午後は**Global Issues**
- ・授業形式： ゼミ形式、ディスカッション、プレゼン多め

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

- ・コース名称/授業科目名： **Introduction to the Global Hospitality Industry, Disney Supervised Training(Online), Disney Corporation Communication, Customer Service Management(Online)**
- ・履修登録方法： 事前の希望調査によって振り分けられる
- ・クラス構成： 20人程度、日本人/スペイン人
- ・一週間の授業時間割： **Introduction to the Global Hospitality Industry** は二週間プログラムのため毎日、**Disney Supervised Training(Online)**は二週間に一回レポート提出、**Disney Corporation Communication** は一週間に一回対面授業、**Customer Service Management(Online)**は一週間に一回課題が幾つか出され、それを数回に分けて提出
- ・授業形式： 対面授業2つはゼミ形式のディスカッション、プレゼン多め、他2つはオンライン上で課題やレポート提出

### III. 留学で得た学習成果

学習面については、ディズニーの対面授業で日本で一切学んだことがなかったマーケティングについて学び、はじめは全く理解できなかったが、授業を重ねるにつれて徐々に理解していき最終的には世界各国の有名な企業を分析し、プレゼン発表をするなどかなり理解を深められた。また、ホスピタリティ・カスタマーサービスについては、ディズニーでの実践も含め、かなり高度なレベルで学ぶことができ、留学前に比べ大きく成長できたと思う。語学の部分では、実用的な英語、また、接客英語などを向上できた。

その他には、他国出身の同年代の人たちとの長期的な共同生活は、寮生活が初めてだった私にとって多くのことを学べる場所だった。特に、「他人に過度に期待しない」ということを身をもって学べたことは私にとって大きな収穫だった。これは共同生活のみならず、これからの人生の様々な場面で役立つと思う。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	UCR 特別留学
留学先大学	カリフォルニア大学リバーサイド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018 年度 2 期 から 1 年

## 学習成果報告書

### I. 1 学期目の学習状況

10 週間プログラムの最初にレベル別テスト実施され私はレベル 600 のクラスになりました。月曜～金曜 9 : 00-11 : 00 reading & writing 11:00-12:00 academic skills という時間割です。600 レベルのクラスは 2 つクラス実施されていました。クラスは 17 人、そのうちの 8 人は日本人でほとんどが私と同じプログラムに参加する生徒でした。その他のクラスメイトは中国、台湾、サウジアラビア、クウェート、ベトナム出身でした。火曜・木曜日にはレベル 500 以上の生徒が受講する選択科目が行われました。私は **story to movie** という授業を受講しました。レベル別テストの後に希望を聞かれます。

2 週間プログラムは日本人とスペイン人で構成され、平日 8:30-16:30 まで授業が行われました。自動的に履修登録されていました。毎回先生が変わり、トピックも様々でした。ほとんどの授業がグループワークを中心とした授業構成でした。最終日にはマークシートのテストと、各グループのプレゼンテーションが行われました。

### II. 2 学期目以降の学習状況 (1 年以上の留学の場合)

ディズニーで働きだしてからは、**supervised traing** がありました。2 週間に一度ほど自分がディズニーで何を学んでいるかのエッセイを提出するものです。自動的に履修されました。後半からは、**supervised traing** に加え、10 週間のオンライン授業とクラスの授業が始まりました。事前に UCR に希望をオンラインで提出しました。オンライン授業はカスタマーサービスマネジメント、クラスはコーポレートコミュニケーションを受講しました。UCR で一緒に学んだスペイン人とのクラスでした。オンラインは約 10 人、クラスの授業は役 15 名でした。

### III. 留学で得た学習成果

UCR で英語力高め、準備が整ったあとに働けて良かったです。特に **grammer** の授業では文法など基本的なことも学べて成長できたと思います。その他にも先生、クラスメイトと話しコミュニケーションをとることにより、自然に日常会話ができるようになりました。ディズニーで働きながら、ホスピタリティやマネジメントについて学べてより理解が深まりました。またゲストとかかわる中で、人として成長できました。自分に向いている職業についても考えることができました。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	認定
留学先大学	カリフォルニア大学リバーサイド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

コースは IEP(Intensive English Program) と呼ばれるコースを受講しました。授業科目は、Integrated English-400 というレベル別のクラスと Intercultural Communication1 という異文化コミュニケーションのクラスを受講しました。履修登録は、クラスが決定した時点で自動的に学校のポータルに反映されていました。クラス構成は、日本人が7人、中国人が1人、クウェート人が6人のクラスでした。時間割は、毎週、月・水・金曜日に3時間の Integrated English のクラスがあり、毎週火・木曜日に Interrated English と 2時間半の Intercultural Communication1 のクラスがありました。授業形式はどちらも少人数制で生徒参加型の形式でした。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

今回の留学で身についたことは、分からないことをそのままにせずすぐに先生に聞けるようになったこと、単語から意味を想像し読み解く力、そして異文化をあらゆる面から見つめて理解できるようになったことです。1つ目は、担任の先生が授業中辞書を使うのを禁止しており、分からない単語や表現があった際にはすぐに手を上げて聞くような授業づくりをしてくれたため、分からないことを放置しないことに慣れました。2つ目も、1つ目で言ったように辞書の使用が禁止だったため、辞書がなくても単語の中にある文字から読み解く方法を習いました。3つ目は他の国から来ている留学生と毎回あるテーマについて、自分の国との違いや宗教的・文化的・民族的観点から授業内で意見交流を行いました。

### IV. その他気づいたこと

クウェート人は、時間にとってもルーズでそれをアイデンティティだと思っていることに驚きました。

少人数制なのはとても良かったが、同じ国出身の生徒が多かったと感じました。

留学種別	UCR 特別留学
留学先大学	カリフォルニア大学リバーサイド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018 年度 2 期 から 1 年

## 学習成果報告書

### I. 1 学期目の学習状況

大学ではリーディング、ライティング、インターカルチュラルコミュニケーション、グラマールの授業を受けていました。履修登録の仕方は、最初に受けるクラス分けテストの結果により決まります。

クラスは 15 人くらいで中国人、日本人、アラブ人という感じでした。インターカルチュラルコミュニケーションは週に 2 回でしたが、他の授業は毎日ありました。授業形式はディスカッションが多い感じでした。

### II. 2 学期目以降の学習状況 (1 年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

すべての授業がアカデミックだったのでとても役に立ちました。特にライティングの授業では、非常に多くのレポートやエッセイを書いたので、文章を書くことが得意になりました。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	UCR 特別留学
留学先大学	カリフォルニア大学リバーサイド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018 年度 2 期 から 1 年

## 学習成果報告書

### I. 1 学期目の学習状況

Grammar 15 人程 月～金 50 分  
Reading/Writing 15 人程 月～金  
Intercultural Communication 15 人程 月、水

### II. 2 学期目以降の学習状況 (1 年以上の留学の場合)

Disney internship  
週 37.5 時間以下の労働  
大体週 2 休み  
前半はオンラインクラス 2 週間に一回提出くらい  
前半は 2 つのオンラインクラス毎週提出、4 時間の対面クラス週 1

### III. 留学で得た学習成果

文化の違い  
文化の違う人との接し方、心構え  
カスタマーサービス  
アメリカと日本のホスピタリティの違い  
英語力  
などなど

### IV. その他気づいたこと

留学種別	UCR 特別留学
留学先大学	カリフォルニア大学リバーサイド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018 年度 2 期 から 1 年

## 学習成果報告書

### I. 1 学期目の学習状況

Intercultural Communication 2

Reading/Writing 500

Grammar 500

Introduction to the Global Hospitality Industry

Disney Customer Service Management (online)

Disney Human Resource Management (face to face)

履修登録方法は、カリフォルニアでは、初日にテストを受けレベル別で **Grammar, Reading/Writing** をうける。**intercultural communication** は選択授業で、受けたい授業を決めランダムに決定する。

残りの 2 も、希望を出したが、希望通りに通ることは珍しく、学校側がランダムに選ぶ。

カリフォルニアでの学校は、週 5 日 **Grammar, Reading/Writing** があり、そのうちの 2 日 **international communication** がある。**Introduction** では、2 週間（土日を除く）毎日 8:30-16:00 まで授業があった。ディズニーでは、それぞれ週に 2 日、**face to face** では授業、**online** では課題が出て提出していた。

クラス構成は、カリフォルニアの学校は、サウジアラビア 3 人、中国人 4 人、残り日本人、計 20 人ほどのクラスだった。**introduction** の授業は、スペイン人が 13 人ほど、日本人が 8 人ほどだった。ディズニーの学校では、**face to face** はスペイン人と日本人、ほぼ同じ人数で計 20 人ほど、**online** は 2 人スペイン人、残り日本人計 8 人程度のクラスだった。

### II. 2 学期目以降の学習状況（1 年以上の留学の場合）

レベル 600 から学部授業が受けれたので、私は 500 で、授業を選択することができなかった。

### III. 留学で得た学習成果

カリフォルニアの学校では、正直授業内容が簡単で、あまり役には立たなかった。ただ選択授業の **intercultural communication** では、人とのコミュニケーションの取り方や、心理的な面から人との関わりを異文化を交えながら学び、とても興味深かったし、これはカスタマーサービスにおいて、とても役に立つ授業だと感じた。

**Introduction** の授業では、先生が日替わりで、主にカスタマーサービスやホスピタリティについて学び、ディズニーで働く上で基本的な知識を異文化を交えて学習した。その結果、ディズニーでの実習では、知識として取り入れたことを現場で使うことができたり、ディズニーの実習期間に履修してきた授業で身につけたこと、次の日に実際に実行してみる、といったユニークな経験ができ、その点で成長できたと感じた。

### IV. その他気づいたこと



留学種別	UCR 特別留学
留学先大学	カリフォルニア大学リバーサイド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018 年度 2 期 から 1 年

## 学習成果報告書

### I. 1 学期目の学習状況

#### 10 週間プログラム

- Academic Skills 毎日 9:00—9:50 (600 レベル)
- Writing/Reading 毎日 10:00—11:50 (600 レベル)
- Story to Movie 週 2 日 1:20—4:20 (選択)

登校日最初の日には学力テストがあり、そのテストの成績によりクラスが振り分けられる。選択のクラスについては、テストの最後に選択し場合によっては選考で選ばれる。

クラスは 15 人前後で形成され、日本、中国、台湾、韓国、アラブ圏の生徒がいる。授業は主にディスカッション形式で行われる。

### II. 2 学期目以降の学習状況 (1 年以上の留学の場合)

#### オンラインコース&対面クラス

- Disney Supervised Training (オンライン)
- Organizational Leadership (選択&オンライン)
- Human Resource Management (選択&対面)

選択の授業は学校側からアンケートがありその回答をもとに決まる。どの授業も 20 人弱のクラスで、日本人とスペイン人の生徒から構成されている。

オンラインの授業はムードル上でディスカッションをしたり課題を提出したりする。Disney Supervised Training は 2 週間に 1 度くらいのペースで提出物があり、Organizational Leadership は毎週いくつかの提出物やトピックに沿ったディスカッションがあった。Human Resource Management は、週に 1 度、4 時間の対面の授業があった。このクラスでは、主にディスカッションをしたり講義形式で先生の話の話を聞いたりした。

### III. 留学で得た学習成果

語学力はもちろん、ディスカッション形式の授業が多かったので、自分の意見を積極的に発言する力が喪についていたと思う。また、1 期ではアジア圏アラブ圏から来た生徒、2 期ではスペインから来た生徒と一緒に授業を受けていたので、文化の違いから全く異なる意見が聞けて文化交流にもなり、多文化についてもたくさん学び理解を深めることができた。

### IV. その他気づいたこと

課題がとても多いと感じたじきもあり、特にフロリダに移り実習が始まった最初のほうは課題をこなす時間を見つけるのに苦労したが、仕事と課題の両方をこなすことで、時間配分やマルチタスクなども学ぶことができたと思う。

また、ほとんどの授業で課題はムードル上で提出していたので、特にオンライン授業など、留学中のパソコンと USB の重要性を感じた。

留学種別	UCR 特別留学
留学先大学	カリフォルニア大学リバーサイド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018 年度 2 期 から 1 年

## 学習成果報告書

### I. 1 学期目の学習状況

#### Integrated Skills 400

10 人（日本、クウェート、中国、韓国）程のクラスで基本的にはディスカッション。一つの授業内でグラマー、リーディング、リスニング、スピーキングを行う。

#### Intercultural Communications

6 人（日本、クウェート）クラス

異文化について学ぶ

異文化についてのディスカッション

### II. 2 学期目以降の学習状況（1 年以上の留学の場合）

#### Disney Supervised Training Part 1&2

オンライン授業

レポートが出される。（内容は主にインターンシップについて）

#### Consumer Behavior

オンライン授業

毎週ポータル上で質問に答える

#### Disney Corporate Communication

20 人程（スペイン、日本）

毎週レポートの提出あり

授業内では主にディスカッションやミニプレゼンテーション

### III. 留学で得た学習成果

インターンシップを通して、英語力は勿論、自ら意見を言えるようになった。また、異文化理解に努め、現地の人とコミュニケーションを図ることができた。仕事をするうえで、何が重要かを見極める力や洞察力を身につけた。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	カリフォルニア州立大学スタニスロース校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

1学期目はALCPの英語コースを受講しました。授業科目はGrammar, Listening&Speaking, Writing&Reading, Pronunciation, Intercultural Communication, TOEFL preparationの計6科目をとりました。履修登録は既に決定していた科目だったため、特に行っていません。クラス構成は日本人3人、中国人4人、ブラジル人1人の計8人の少数クラスでした。時間割は主に月・水・金にReading&Writing、月・水にGrammarとTOEFL preparation、金にPronunciation、火・木にIntercultural CommunicationとListening&Speakingがありました。授業形式はほとんどが講義形式でしたが、Intercultural Communicationはグループで別れて少人数制で話し合いを行ったりしました。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

2学期目は学部授業を受けました。学部コースへ行くにはALCPの最終日に行われるTOEFLの試験で500点以上を取らなければいけませんが、私は留学前にすでに取得していたため、そのまま進むことができました。学部では4科目受講し、イタリア語、Second Language Acquisition、English Grammar、ESLです。履修登録方法は1期の終わりの冬休みに担当のインストラクターの先生から案内があり、その案内に沿ってパソコンで履修登録を行いました。クラス構成は主に1クラス20人ほどでしたが、国籍はアメリカ、メキシコ、スペインなど様々です。ESLは6人の少数クラスでした。時間割は月・水・金はESL、イタリア語、English Grammarがあり、火・木にSLAがありました。授業形式はどれも講義形式でした。

### III. 留学で得た学習成果

私が2学期間を通して成長したと感じる点は、まずはエッセイを書く際のWriting能力です。ESLの授業で主にエッセイを効率よく書く方法を学び、またペアリーディングを通して自分のエッセイを客観的にみるという経験を多くしました。そのため、自分のエッセイがより良いものとなっているのかを再確認し、修正できる機会が多くあったので、自分のWriting能力が向上したと思います。また、英語圏で英語を教えることに自信を持てたことです。私は教員志望のため、SLAやEnglish Grammarなど教職に必要な科目も受講していました。その科目には英語圏のアメリカで、ネイティブのクラスメイトの前で英語で文法や教授法を教えるという機会を得ました。日本にはできない経験だったと思うので非常に貴重な時間でした。また、英語のSpeakingの能力向上に役立つだけでなく、教えることへの自信にもつながりましたし、4年後期に行う教育実習のためのよい練習となりました。

### IV. その他気づいたこと

私にとってこの留学生活は非常に人に恵まれていました。ルームメイトやクラスメイト、教授、友達、インストラクターなど私に関わったすべての人がとても親切で面白く、朗らかな人が多かったため、ホームシックになることは一度もありませんでした。また、大学の環境も勉強に集中できる静かな場所だったため、とてもよかったです。ですが、私の大学があった場所は自然の豊かな田舎のため、交通機関が発達していなかったため車を持っていなかった私にとっては少し不便に感じました。しかし、この一年間は私の英語の能力や精神力、人間関係も含めて非常

留学種別	認定
留学先大学	カリフォルニア州立大学スタニスローズ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

コース名称 **American language and culture program**  
履修登録方法はなく、あちらがカリキュラムを組んでくれている  
クラス構成は中国人が多い  
授業形式は参加型

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

TOEFL500点以上を取得すれば学部授業を受けられる

### III. 留学で得た学習成果

すぐに喋れるようにはならないが明らかな成長がすぐに感じられる。また積極的になった

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	カリフォルニア州立大学スタニスロース校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

- ・語学コース American Language and Culture Program (ALCP)
- ・ TOEFL Preparation/ Reading & Writing/ Listening & Speaking/ Grammar/ Pronunciation/ Intercultural Communication
- ・ ALCP 内で履修登録は特になし
- ・ 8人(日本人3人, 中国人4人, ブラジル人1人)
- ・ 月: Reading & Writing, Grammar, TOEFL Preparation  
火: Listening & Speaking, Intercultural Communication  
水: Reading & Writing, Grammar, TOEFL Preparation  
木: Listening & Speaking, Intercultural Communication  
金: Reading & Speaking, Pronunciation
- ・ 主に講義形式、ディスカッションなどもあり

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

- ・ TOEFL 500点以上で学部授業履修可能
- ・ 学部授業
- ・ The Asian American Experience, Introduction to Cultural Anthropology, Elementary Italian, ESL Essay Skills for Language/ Dialect
- ・ 留学の担当のスタッフに紙で提出
- ・ 主にアメリカ人、メキシコ人
- ・ 月水 Italian, ESL, Anthropology  
火木 The Asian American Experience  
金 Italian, ESL
- ・ 講義形式

### III. 留学で得た学習成果

語学力はもちろん、様々なタイプのエッセイの書き方、英語を通していくつかの分野を学びました。学習成果の他にも精神面でも留學生活の中で大きく成長できたと思います。慣れない環境でほかの言語を通して何かを学ぶことは決して簡単なことでなく、大変なことももちろんありました。なんとかやり遂げ、帰国した今は大きな達成感を感じています。また、この留学を通して人と人の繋がり大切さを改めて感じることができました。現地でできたネイティブスピーカーの友達や、他の国籍をもつ友達、日本で暮らす友達、家族、困難も乗り越えられたのは周りのすべての人のおかげです。

### IV. その他気づいたこと

学校は都市の中心部からはかなり離れた場所に位置しており、交通の便があまり良くないです。サンフランシスコなど大きな都市に行くには電車で2時間30分ほどかかります。衣服などが買えるモールも隣の市まで行かないと見つからないので、夏服だけでなく冬服もしっかり日本から持っていくことをお勧めします。(秋から朝晩はかなり冷え込み、教室も冷房が効きすぎていることが多いです) スーパーは学校の周りに比較的多くあり、多国籍なレストランも多く

点在しています。週末などは、寮に住んでいれば無料でアクティビティに参加できるためバスで  
い

留学種別	認定
留学先大学	カリフォルニア州立大学ドミンゲスヒルズ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

コース名: American Language & Culture Program(ALCP)

: Conversation, Writing, Grammar, Reading の4つのクラスに分かれている。

**Conversation** は会話中心で提示されたトピックについてプレゼンやディスカッションを行う。**Writing** は1セメスターで2つのエッセイを完成させるが、様々なフォーマットを使って形式の違うエッセイを書く。**Grammar** は教科書に沿って問題を解いていき、1チャプターが終わるごとにテストがある。**Reading** はひたすらエッセイを読んで問題を解いて行く。ひとクラス多くても8人くらいであるため、質問しやすい。**Writing** 以外は全部会話中心で授業を進めて行くことが多い。クラスにの国籍は中国人や韓国人などのアジア系が多い。私が滞在している期間では日本人は私以外に5人いたが、私が滞在する以前は2人だったらしい。他にはロシア、アラブ系の生徒がいる。

1週間の時間割: 月曜と水曜の午前に **Conversation**、午後に **Writing**。火曜と木曜の午前に **Grammar**、午後には **Reading**。午前の授業は9時から11時まで、午後は13時からバイト15時までである。毎日11時から12時まで **Elective** という授業とは別で熟語を学んだり、ゲームをする時間がある。教科書は **Grammar** 以外は使用していない。授業後に教室や図書館、構内カフェで自習することが出来る。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

**Writing** の授業では毎日 **Dairy Writing** という10分間で日記を書くという課題が出ていた。これによって毎日英文を書くという忍耐力がついたと思う。特に私はエッセイを書くのが最も苦手であったが、授業で段落や導入、本論、結論の構成の仕方を細かく教えてもらうことができたためエッセイの枠組みを構成するのがはやくなった。**Reading** では辞書に頼らず文脈から単語の意味を推測する力がついたり実感している。また、以前は長文を見るだけで読む気を無くしていたが、全て読みきるといふ、学習において最も基礎の部分が定着した。

**Grammar** では基本的な文法を丁寧に学習し直すことで、エッセイを書く際の凡ミスが減った。**Conversation** では実際にスーパーなどで店員に話しかけた時の録音を聞いて自分の英語の発音を見直すことでより相手に伝わる英語を話せるようになった。総合的に見た英語力はまだまだだと思うが、英語を聞いたり長文を読んだりすることへの抵抗がなくなった。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	カリフォルニア州立大学フンボルト校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

授業科目名 **World Religions**

履修登録方法 留学生の履修登録を担当しているスタッフに直接、申し出る（現地の学生はオンラインでできるが交換留学生はできない）

クラス構成 20～30人程度、基本的にアメリカ人の学生しかいない。少なくとも日本人は自分しかいなかった。

一週間の授業時間割 一回50分、週に3日

授業形式 スライドを使ったレクチャー

授業科目名 **Accelerated Comp and Rhetoric**

履修登録方法 上と同じ

クラス構成 15~20人程度、アメリカ人がほとんど

一週間の授業時間割 一回80分、週に2日

授業形式 レクチャーと周りの人との話し合い

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

授業科目名 **Western Civilization**

クラス構成 20人程度 自分以外全員現地のアメリカ人

1週間の授業時間割 一回80分 週に2日

授業形式 火曜日はレクチャー 木曜日はディスカッション

授業科目名 **Beginning of Strings**

クラス構成 20人程度 日本人がもう一人いた

1週間の授業時間割 一回50分 週に2日

授業形式 バイオリンの練習

授業科目名 **Intro to philosophy**

クラス構成 20人程度 自分以外アメリカ人

1週間の授業時間割 一回80分 週に2日

授業形式 レクチャー 先生がスライドを用意してくれる。

授業科目名 **Chinese level 4**

クラス構成 10人 日本人は自分だけ、中国人2人、アメリカ人7人

1週間の授業時間割 一回50分 週に4日

授業形式 ネイティブの先生にスピーキングを中心に教えてもらえる。最後に中国語でプレゼンテーションをする。

### III. 留学で得た学習成果

日本にいるときは、暗記をすればテストをパスできることが多かった。だから、テストが終わると覚えたことを忘れてしまうように思えた。しかし、アメリカでは、レポートの内容や、授業の中での発言・質問を評価していたため、得た知識を活用・アウトプットする機会が豊富だった。特に、宗教や哲学など前から興味があった分野をアメリカの学習意欲が高い生徒と学んだこ



とは、自分にとって大きな自信にもなったし、素晴らしい経験になった。しかし、宗教の授業では、アメリカ人と宗教に対する捉え方が違ったため、ディスカッションで発言することに苦手意識を持ってしまった。その時は、「日本では〇〇な習慣があって、それは日本人は■■を大切にしているからだよ」など、日本の話を紹介するようにした。一番、成長した点は、恐れずに質問をする度胸がついた。分からないことだけでなく、自分が留学生だからこんなことが難しいなど、相談しつつやる気を見せると確実によいグレードがもらえた気がする（笑）

#### IV. その他気づいたこと

私が留学していたハンボルトでは、GCC (Global Connection Club)というクラブがあり、私はそこに所属していた。そこでできた多くのアメリカ人の友人が勉強面のサポートをしてくれた。例えば、宿題のレポートはどのように構成するといったか、文法の確認、リーディングでの解釈が分からないときの説明、オンラインのクイズでは時間制限があって日本人にとって圧倒的に不利だったため、隣で問題文を簡単な英語に置き換えてもらった。そういう友達を作りやすかったのは本当によかった。

留学種別	TESS II
留学先大学	カリフォルニア州立大学フンボルト校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

学部授業

宗教学、英語

ウェブサイトにて

20から70人のクラスでほとんどが現地学生

一週間に四つの授業を履修しそれらが週二回ずつ

レクチャー方式での授業がほとんどで一部はディベートもある

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

学部授業

映画論、英語、地理学

ウェブサイトにて

20から70人のクラスでほとんどが現地学生

一週間に四つの授業を履修しそれらが週二回ずつ

レクチャー方式での授業がほとんどで一部はディベートもある

### III. 留学で得た学習成果

勉強面では授業の進め方が全く違うので意見を交換しようとする意志がつく。宗教や政治の話は日本でタブーだがアメリカでは普通なので、自分の専攻が国際関係ということもあってメリットとなった。

様々な人種があるのでいろいろな物事の見方をしることができたし客観的になれた。

親のありがたみを再確認できる。

積極的にならざるを得ないので積極性が身につく。

人見知りをしなくなった。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	交換
留学先大学	カリフォルニア州立大学ベーカーズフィールド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

授業内容は **listening, writing, reading, speaking, grammar** を受けていました。クラス人数は今年から日本の他大学から多くの学生が留学に来ており、1つのクラス人数は13人ほどでそのうち3人が他国籍の留学生で中国、サウジアラビア、インドから来ていました。一週間の時間割は月、水曜日が8時45分から12時、1時から2時半の授業を受けており、火、木、金曜日は8時45分から12時の授業を受けていました。使用教科書は **Academic Encounter** の **speaking** と **writing** の本を二冊、**Final Draft** と **Presentation Yourself** を使用していました。授業形式としては、名古屋外国語大学の **General English** に近いと思いました。常に受け身の授業というわけではなく、生徒も協力して授業を作り上げる形式です。大学の学習環境については、日本人留学生が教室のほとんどを占めているため授業中にも日本語での会話が聞こえてくるため時折学習環境に不満を抱いていました。自習室は図書館の設備が整っているのもとても快適に使わせていただきました。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

留学を通じて得た成果としては、授業を受けることにより授業を通じてアメリカの社会情勢や文化、伝統についても学ぶ機会があったのでニュースやネットを用いて得ることのできる情報と比べ、より詳しく理解することができたと感じています。また、日常生活を通じてアメリカの特色に触れることもできました。寮生活をしていたのですが、まず寮には日本語で話すことのできる人がいなかったのも、日本語が全く使用できない状況に身を置くことによって、自身の英会話力を鍛えることが大いにできたと感じています。そして、寮には多くの他国籍の学生が住んでいるので、彼らと友達になることで自分の知らなかった国の文化や伝統、宗教についての情報を得ることができたので。私自身の見識を広げることができたと感じています。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	カリフォルニア州立大学モントレイ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

まず履修登録は **NUFS** と同様オンラインのポータルサイトでおこなわれました。前期はスペイン語初級、日本文化、**Writing** の三科目を履修しました。クラスはスペイン語以外アジア人留学生がたくさんおり、現地のアメリカ人の学生と一緒に受けていました。一クラス大体 30 人ほどですべて講義形式で行われ、それぞれ週二回です。日本文化のクラスでは日本人は私と **NUFS** からの先輩との 2 人でした。日本に興味のある学生がとても多かったので友達も作りやすくてとても和気あいあいとした雰囲気の中楽しみながら受けていました。**Writing** のクラスは留学生向けだったので全員世界各国からの留学生でした。エッセイの提出や毎日の **Reading** や小テストでとても忙しかったのですがやりがいはありました。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

前期同様、履修もオンラインで簡単にできました。後期はスペイン語初級、ヒューマンコミュニケーション、環境の三科目を履修しました。ヒューマンコミュニケーションと環境のクラスは 20 人ほどの少人数で発言などもディスカッションもしやすかったです。ヒューマンコミュニケーションは比較的アジアからの留学生（日本人 3 人）が多く、それとは反対に環境のクラスでは日本人 2 人と韓国の留学生 1 人とアジア人合計 3 人でした。スペイン語は留学生は私一人で残りはアメリカ人の学生でした。すべて講義形式の週 2 回です。

### III. 留学で得た学習成果

日本のクラスとは雰囲気も違い、アメリカ人の学生の発言力、しっかり自分の意見を持っているところ、思ったことはすぐ発言することなどに感銘を受けました。その環境に自分もおかれたことで自然と言葉を発するようになっていきました。日本ではひたすら先生の話聞き発言など全くしませんでした。また何事にも自分から行動しないと結局孤独になったり誰も助けくれなかったりとずっと分からないままになってしまうので、海外では積極的に行動することが大切です。アジア人の友達と比較的作りやすい上、気も合いやすく英語も通じやすいのですが、いざアメリカ人と話すとなると会話のスピードだったりネイティブスピーカーならではの特征があるので、アジア人の友達と話す英語に慣れすぎないようにすることも自分の英語の成長には重要になっていきます。

### IV. その他気づいたこと

学部と英語コースがあり、やはり学部を受けるには一定の語学力が必要だと言われてますが実際英語を学びに行くよりも英語で学ぶ方が語学そのものの身に付き方が圧倒的に効果的だと思います。学部では最初は辛いかもしれませんが、語学コースでは日本人もたくさんいて結局友達も日本人という風になってしまうような気がします。自分を大きく変える周りの環境は自分で作るもので、その最初の段階の友達作りを含めた環境作りがとても大切になっていきます。

留学種別	TESS II
留学先大学	カリフォルニア州立大学モントレイ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

日本についての授業を2つ、論文やスピーチについての授業を1つ履修していました。履修登録方については、ネットから行うもので、クラス構成は、日本の授業は主に20～30人、後者の授業は15人程度、アメリカ人が基本でした。授業時間割は、一授業110分で週2回ありました。授業形式は講義形式が基本で、それにグループでのディスカッションやグループワークが付随してきます。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

後期は日本についての授業を3つ履修していました。履修登録方は同じくネットでやるもので、クラス構成は、どの授業も20～30人、アメリカ人が基本でした。一週間の授業時間割、授業形式は主に前と述べたものと同じでしたが、一つ日本のフィルムについての授業を履修していて、その授業に関しては、毎週映画を視聴し、それについて深くディスカッションをするという授業形式でした。

### III. 留学で得た学習成果

現地の学生や他の留学生は、主体的に、能動的に授業に参加していると感じました。分からない事があったら周りを気にせずすぐ声を上げて質問をしていたので、自然にそれが普通となり、渡米前と比べ、授業中に発言することへの抵抗感が減ったように感じます。そもそも、皆自分が取りたいものを、取りたい数だけ履修しているので、授業中に寝るなどもってのほか、言葉にすると当たり前ですが、しっかりと教授の話聞く、という授業を受ける上で基盤となるものを改めて気づけたように感じました。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	認定
留学先大学	カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

Course name: English Language Program  
 Class name: Reading(R)/Writing(W)/Grammar(G)  
 Listening(L)/Speaking(S)/Communication(C)  
 Life Skills(elective/optional)

The number of students in level 5 & 6 (level5 & 6 students attend the class together)

In total, there are 16 students in level 5 & 6 (Chinese: 4, Taiwanese: 2, Japanese:3, Saudi Arabia: 1, Qatar: 1, Hong Kong:1, South Korea: 1, Vietnam: 1, Mongolia: 1, Iran:1).

Schedule: Monday: R/W/G 9:00-10:50 L/S/C 11:05-12:25

Tuesday: R/W/G 9:00-10:20 L/S/C 10:35-12:25 Life Skills 1:15-2:35

Wednesday: R/W/G 9:00-10:50 L/S/C 11:05-12:25

Thursday: R/W/G 9:00-10:20 L/S/C 10:35-12:25 Life Skills 1:15-2:35

Friday: R/W/G 9:00-10:50 L/S/C 11:05-12:25

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

I think I did brush up all my English skills—including Reading, Writing, Speaking and Listening through this program, also I learned how to communicate by talking with attendants at the ELP office in my university and students from other countries; moreover, I have learned many things about American culture because I have been doing a homestay nearby my university. In addition, although I am extremely good at grammar, I learned new grammar; therefore, what I noticed through this study abroad is that studying abroad can learn something new rather than learning in Japan. Furthermore, I experienced lots of presentation in Session A & B, so I think this experience will be exploited well when I get a job or work as an employee in the future.

### IV. その他気づいたこと

I realized if I spent all my time without communicating, I would not grow my English abilities at all. So what I'd like to tell students who are going to study abroad in the near future is that they do not be introverted, be active; making mistakes absolu

留学種別	TESS II
留学先大学	カンザス州立大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018 年度 2 期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1 学期目の学習状況

【コース名称】 ELP : English Language Program

【授業科目名】 Speaking, Writing, Listening, Reading

【履修登録方法】 履修登録を行う数日前に事前に実力テストを受けます。その点数によって ELP の履修内容が変わります。点数が高いと全て学部授業を最初からとることになり、部分的に高いと 1 科目、学部の授業と ELP の授業を並行して履修します。低い場合は全て ELP の授業を受けることとなります。履修登録自体は、指定された日にアドバイザーのところへ行き、アドバイザーの指導の下行います。一人ではできないと思います。

【クラス構成】 日本、中国、サウジアラビア、クウェート、サウジアラビアの生徒から構成される 15 人ほどのクラスです。

【一週間の時間割】 月水金は一時間が 50 分ずつで、授業が 4 つありました。 火木は一つの授業が 75 分で、授業が 1 日に 2 つありました。

【授業形式】 生徒が多く発言するような授業形式で、講義を聞くだけのような授業はありませんでした。

### II. 2 学期目以降の学習状況 (1 年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

はじめ、日本人は他の国と生徒たちと比べても、授業がとても受け身の姿勢だと感じました。他の国の人たちはわからないことがあったらすぐに先生に質問したり、自分の意見を大きな声で発言する姿が印象的でした。そのため、その環境に身を置いて学習をすることによって、自分も少しずつ積極的な姿勢で授業に取り組めたと思います。また、スピーキングも弱点だと感じていましたが、前よりも間違いを恐れず発言しようとする姿勢を作ることができました。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	カンザス州立大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

ELP を 4 科目 (Writing, Reading, Listening, Speaking) 履修しました。事前にテストを受け、その結果に応じて受ける授業のレベルが決まります。クラスメイトはほぼ同じで、中国人が多かったです。ほかにはパラグアイ、サウジアラビア、韓国、ベトナム、トルクメニスタンなどの国からの学生がいました。Writing, Reading はレベルによって週 3 回と 5 回の授業がありました。Listening, Speaking はレベルに関係なく、週 3 回でした。授業形式はレクチャー形式でした。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

ELP を 2 科目 (Reading, Listening) と学部の授業 2 科目 (Spanish, Chinese) を履修しました。学部授業は自分で授業を探し、時間を選び登録しました。ELP は上記の内容とほぼ同じで、Spanish, Chinese は僕以外アメリカ人でした。Reading, Listening 月、水、金の週 3 回、Spanish, Chinese は月、火、水、木の週 4 回でした。授業形式はすべてレクチャー形式でした。

### III. 留学で得た学習成果

英語の能力は全体的に行く前に比べて上がったような気がします。ほかの 2 つの言語に関しても同じだと思います。ほかには、体調管理に細心の注意を払っていたため、些細な変化にも気づくことができるようになりました。

### IV. その他気づいたこと



留学種別	TESS II
留学先大学	カンザス州立大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

留学生向けの英語の授業である ELP (English Language Program) の授業のみを履修していました。

具体的な科目は **Writing, Listening, Reading, Speaking** の4科目です。

到着後に行われたプレイスメントテストの結果をもとにクラス分けされ、上から2つのレベルのクラスは後期にプレイスメントテストなしで学部授業がとれます。テスト結果で自動的に時間割が決まるので学部授業と違い、自分で科目を決めて登録する、という必要はありませんでした。

クラス構成はだいたい15人くらいの規模で中国、サウジアラビアからの留学生が特に多かったです。他にも、パラグアイ、ベトナム、インドからの留学生がいました。日本人は私を含め3人でした。

**Writing** と **Reading** は毎日あって月水金は50分授業、火木は75分授業でした。他の2つは月水金に50分授業だけでした。

授業形式は講義のものもありますがほとんど全てがディスカッションの時間を多くとるものでした。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

前期に受けたプレイスメントテストで **Exit** レベルだったので特別なテストなどは必要なく自動的に学部授業をとることができました。

私が履修していた科目は **Sociology 211, American Ethnic Studies 160, Anthropology 204, English 100** の4科目です。

履修登録はアドバイザーの方と相談して決めました。

**Sociology, American Ethnic Studies** の2つは200人弱の大きなクラスでした。**Anthropology** は **Lecture** と **Recitation** に分かれていて、**Lecture** は200人弱の大きな講義のクラスで **Recitation** は15人ほどのディスカッションクラスでした。ほとんどの学生がアメリカ人でアジア人は私以外全然いませんでした。

基本的に50分授業のクラスは週に3回、75分授業は週に2回でした。

### III. 留学で得た学習成果

前期の授業で英語を使う能力を高めて、学部授業の英語についていけるレベルになりました。学部授業ではアメリカ国内における人種問題の歴史や今後の課題などを主に学習しました。講義やディスカッションを通してアメリカで生活している人々の人種に対する意識も垣間見ることができました。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	サザンオレゴン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

一学期目は Intensive English Program (IEP) というプログラムを受けていました。授業は Reading, Writing, Grammar, Communication があり、月曜に Reading, Writing 火曜に Communication, Grammar 水曜は月曜を同じ、木曜は火曜と同じ、金曜は月曜と水曜と同じ授業でした。履修登録は必要ありませんでした。クラスは自分を合わせて4人で日本から3人、サウジアラビアから一人でした。ゼミ形式でした。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

二期目になりコース変更がありました。コースを変更するには IEP で Level 6 で尚且つ最後に試験を受けて合格することで学部授業に入ることができます。履修方法は自分で好きな授業を選び、International Office の担当者に履修をお願いします。

### III. 留学で得た学習成果

この留学を経験して英語力だけでなく、専門的な知識も学ぶことができました。異文化で生活することで物事に対しての視野も広がりましたし、なによりも家族、友人の大切さにも改めて気づかされました。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	ジョージアサザン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

授業形式は講義形式で ESL の授業が 2 つと学部授業が 2 つでした。ESL 0095 Speaking and Listening と Composition 1 という授業が ESL ではほかの学部授業は Global Sociology と Introduction to International Studies でした。履修登録はついてから GSU での英語能力試験を受けて、3 日目に留学生のアドバイザーと希望の授業と試験の結果を元に相談して、アドバイザーの方が登録してくれました。授業変更期間の間に変更したい授業はアドバイザーにメールを送り、変更してもらっていました。ESL は 15 人から 20 人でした。Introduction to International Studies は約 30 人で、Global Sociology は 40 人から 50 人の規模でした。ESL0095 は月曜日と水曜日の 17:30 から 18:45 まで。Composition 1 は火曜日と木曜日の 15:30 から 16:45 まで。Introduction to International Studies は月曜日と水曜日と金曜日の 10:10 から 11:00 まで。Global Sociology は火曜日と木曜日の 11:00 から 12:15 までです。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

授業形式は講義形式で私はすべて学部授業を取りました。ESL の授業は取れないみたいでした。授業は 4 つとっていて、Public Speaking, Health Communication, Introduction to Anthropology、それと Global Issues でした。履修登録はメールで希望の授業を留学生についてアドバイザーの方に送り、その方がやってくれました。変更もアドバイザーを通じてやりました。クラス構成は授業によってさまざま、Public Speaking と Health Communication は 20 人くらいで、Introduction to Anthropology と Global Issues は 30-40 人でした。Public Speaking は月曜日と水曜日の 17:30 から 18:45 までで Introduction to Anthropology は月曜日と水曜日と金曜日の 11:15 から 12:05 までで Health Communication は火曜日と木曜日の 14:00 から 15:15 まで、Global Issues は火曜日と木曜日の 11:00 から 12:15 まででした。

### III. 留学で得た学習成果

この留学からはアメリカの文化と社会、宗教について少し学ぶことができました。授業の違いとして、講義という形の授業でも、教授が一方向的に話すのではなく、多くの学生が積極的に質問したり、意見したりしていました。そして教授からも生徒の発言を求めることが多かったです。Health communication ではアメリカの医療提供者と患者の間のコミュニケーション問題があること、多くの広告が患者の医療の知識、どの薬を選択するのかなどに影響していることも学びました。ESL の授業では、アメリカ英語が文章や単語をどう発音するのかについて学びました。他の授業では、国際問題など、他の国の事について、英語で学んだことにより、語彙力とリスニング能力、ライティング能力が上がったと思います。私はジョージア州以外にも、休みを使って他の州や市に少し足を運びました。そして、他の州ではジョージア州ほど、教会の数は見ることができませんでした。知識とは知っていましたが、身を持って、アメリカの南地方が宗教の影響が強いと感じました。私の周りには、やはり多くの人々がキリスト教で、International Extended Family というクラブに入り、アメリカの一つの家族と関わる中で多くの教会に連れて行ってくれて、多くの人と触れることができました。やはりキリスト教徒の方は年配の人が多く、そして、自分が思っていたキリスト教とは少し違いました。多くのキリスト教に関するオリジナルの歌を歌い、牧師がわかりやすく、自分の経験も交えつつ、教えを伝えていました。コミュニケーションの点では、教会では多くの年代の人とかわることができるためか、フレンドリーな人が多

かったです。キリスト教ではないアメリカの友人が数名いましたが、コミュニケーションを取ることが苦手という風に思えたときがあったので、宗教も人と人とのコミュニケーションに与えることを実感しました。GSUでの授業だけでなく、アメリカで生活することで多くのことを学び、経験できたと思います、それらが私の日本や世界を見る視点と自分の価値観をいい方向に変えたと思います。

#### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	ジョージアサザン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

ESL×2 (ライティング&リーディング、スピーキング&リスニング) 中国人、韓国人、南米、アフリカ系/20人

Composition 中国、韓国、南米、北欧/20人程度

中国語 アメリカ、フランス/5人

登録方法：語学テスト後、アドバイザーと相談しスペースのある授業をとってもらう。

月 12:20-13:10 17:30-18:45

火 12:30-13:45 15:30-16:45

水 月曜と同様

木 火曜と同様

金 12:20-13:10

すべてゼミ形式

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

コース変更への手続きは特になし。1学期目に次のセメスターの履修期間があるのでそれに準じて履修を行う。

International Studies 週3×50分 (月水金) 25人程度 (アメリカ人) 講義式

Human Communication 週2×75分 (火木) 40人程度 (アメリカ人) 講義式

Intermediate Chinese 週3×50分 (月水金) 5人 (アメリカ人、フランス人等) ゼミ形式

Sociology 週3×50分 (月水金) 40人程度 (アメリカ人) 講義式

### III. 留学で得た学習成果

授業で得た知識に加え、ネイティブの中に混ざって講義を受けたため、ESLの時の外国人に向けたゆっくりめに話す英語ではなく、本物の英語を聞きながらリスニング能力を伸ばすことができた。自分の持っているボキャブラリーで伝えたいことをうまく伝える方法や文脈から意味を察する能力なども身についた。

### IV. その他気づいたこと

一期から学部もとることができたため、一つくらいは受ける余裕があったなと思うので、もし受けられるなら受けたほうがいいと感じた。

留学種別	TESS II
留学先大学	ジョージアサザン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

ESL x 2 (reading & writing, speaking & listening)

English Composition class

Spanish class

75分/中国、韓国、南米、北欧 20人程度

学期が始まる前に **replacement exam** をしてどのレベルの ESL か学部の授業を取るべきなのかなどアドバイザーと相談して履修します。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

2期では学部だけのコースを履修しました。テストなどはなかったです。

introduction to international studies

introduction to human communication

public speaking

Spanish intermediate 2002

履修登録方は前期の終わり頃にアドバイザーに希望コースをメールします。

どのクラスも自分だけが留学生でそのほかはアメリカ人でした。

各授業 75分で週に2回です。

講義形式の授業、グループディスカッションが多いです。

### III. 留学で得た学習成果

後期に向けて前期でしっかり英語力をアップすることができました。

学部の授業ではあまり慣れてない勉強環境にびっくりしました。グループディスカッションが多く、あと授業内容に対して自分の意見を授業中に言ったりしてました。

私も少しそれを体験できて、自信持って自分の意見を言えました。

スペイン語の授業では、日本語ではなく英語で学ぶことで英語の勉強にもなったりしました。

エッセイを書くことが多かったので書く力を伸ばすことができたと思います。

### IV. その他気づいたこと

授業が全体に少なく、キャンパス内より自分の寮にいる時間の方が長くなってしまいました。

それを避けるためにはいろんなクラブ活動を見に行くことをお勧めします。

留学種別	TESS II
留学先大学	ジョージアサザン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

ESL Listening&Speaking      アフリカ人3人とアジア人9人 毎週月、水の17:30～18:45  
ESL Writing&Reading      アフリカ人3人とアジア人8人 毎週火、木の12:30～13:45  
Anthropology                      アメリカ人約50人アジア人2人 毎週火、木の9:30～10:45  
World History 1                      アメリカ人約30人 毎週火、木の14:00～15:15  
以上 四科目12単位取得 すべて講義形式  
履修はアドバイザーにメールで申告

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

ESL writing                      ヨーロッパ人4人アラブ人1人  
Biology                          アメリカ人130人  
World History2      アメリカ人30人  
Music                              アメリカ人50人  
Sociology                      アメリカ人40人  
以上 五科目15単位 すべて講義形式  
履修はアドバイザーにメールにて申告

### III. 留学で得た学習成果

専門的な英語力が身についた  
一般知識としてのアメリカの政治事情、経済事情などを知った  
苦手としていた発話力が身についた

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	ジョージアサザン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

**ESL95(Speaking and Listening) : Placement test** によるクラス分け。テストの結果によってアドバイザーが履修を組んでくれる。一クラス 10 人程度。国籍は日本や中国、韓国、南アフリカ。月曜と水曜 5 : 30pm から 6 : 45pm。ゼミ形式。

**ESL94(Writing and Reading) : Placement test** によるクラス分け。テストの結果によってアドバイザーが履修を組んでくれる。一クラス 10 人程度。国籍は日本や中国、韓国、南アフリカ、ドイツ。火曜と木曜 12 : 30pm から 1 : 45pm。ゼミ形式。

**Sociology** : 留学前の希望と **Placement test** の結果によってアドバイザーが決めてくれる。一クラス 100 人程度。ほぼアメリカ人。月曜と水曜、金曜 12 : 20pm から 1 : 10pm。講義形式。

**Anthropology** : 留学前の希望と **Placement test** の結果によってアドバイザーが決めてくれる。一クラス 100 人程度。ほぼアメリカ人。火曜と木曜 9 : 30am から 10 : 45am。講義形式。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

**ESL95** では英語を使った議論やスピーチの仕方を学び、英語で発信する力を得た。さらに、授業内でアメリカや世界のニュースが取り上げられ、リスニング力とともに各地の問題を把握し、多国籍の意見も考慮しながら柔軟に考えることができた。

**ESL94** では説得力のあるレポートの書き方や英字でのレポートの形式を学んだ。そして、ほぼ毎週ある宿題(**Freewriting**)で、学んだことを自分の言葉で表現する機会が設けられ、英語で正しく表現することができるようになった。

**Sociology** では個人と集団の関係について学んだ。この授業は社会学のイントロダクションであったため、人種や性別、家族、教育などを全般的に浅く広く学習した。どのセクションでも述べられることは各個人が社会を創っており、その社会は変容していくことである。どの問題も客観的に考えることが対応できることにつながると考える。

**Anthropology** では人類の進化と社会、宗教などやそれらの調査方法を学んだ。上記と同じくイントロダクションであったため、人類学の全般を浅く広く学習した。人類の進化を述べる際には多種類の猿の習慣や特徴が紹介され、人間を客観的に考えることができた。人間が創る民族の社会には独自の文化や儀式が存在しており、世界中で考え方が異なる理由が理解できた。

### IV. その他気づいたこと



留学種別	TESS II
留学先大学	ジョージアサザン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

- ・ESL(語学留学プログラム)
- ・ESL0094(Writing class),ESL0095(Listening & speaking class),ENGL1101 composition(Writing class),Global Sociology(academic subject)
- ・最初に英語の実力チェックのためのテスト(Reading,writing,speaking)を受け、実力に応じて履修しなくてはならない授業と履修したほうがいい授業を教えてもらえるので、それに加えて興味のある授業を自分で探して **International adviser** の方に登録していただく。学科授業に関してはよくわからなかったら **adviser** の方がオススメを教えてくれる。
- ・English program(ESL0094,ESL0095,ENGL1101)は **International students** のための授業なので日本、中国、韓国、ホンジュラス、コロンビア、アフリカなど多国籍の生徒がいるが、学科授業はほとんどアメリカ人。学科授業は大人数だったが **English program** は基本的には15人くらいの少人数制
- ・月、水は授業は一コマで、5時半から6時45分。火、木は3コマで、9時半～10時45分、12時半～13時45分、15時半～16時45分。金は授業なし。
- ・English program は少人数のクラスなので、**discussion** や **presentation** が多い。みんなが授業に参加している感じ。学科授業は講義形式。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

初めの頃は英語を間違えてしまうのが怖くてあまり積極的に話そうとしなかったが、**English program** のクラスではみんな母国語が英語ではないので間違えてもいいやと思って積極的に話せるようになった。また、何度かの **Presentation** を通してどうにか伝えようとするのが大切なんだと感じた。初めの頃はなかなか自分の言いたいことが英語で出てこなくてつまりつまりで話していたけど、だんだんと自分の言いたいことを忠実な言葉で表さなくてもいいやと思うようになり、似たような表現などで表すようになって会話が前よりスムーズになっていった。結論としては今回の留学を通して英語が上手くなるための近道は恐れずにとにかく話してみることもなんだと学んだ。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	ジョージアサザン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

履修登録は出国前に学校に提出した希望調査をもとに履修登録がすでにされている状態でしたが、一度授業に出席すれば履修変更できました。0095、1101のESLのクラスを二つと、中国語のクラスを一つ、**American Government** という学部の授業を一つ取りました。ESLのクラスは週に75分の授業が二回あり、それぞれ約半分がNUFSの生徒で他は中国人や韓国人でした。授業内容は**Core** や **Writing** のようなものです。中国語は生徒がフランス人などの五人のみでとてもアットホームで、一番楽しいクラスでした。授業内容はリスニングやスピーキングが中心な授業でとてもためになりました。**American Government** は40人くらいの生徒がいて、生徒の発言が中心の講義形式でした。板書も少なくパワーポイントも使わない先生だったのでとても大変でした。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

ESLの授業ではプレゼンテーションやスピーチを通して自分の発音の弱いところを知り、また語彙力やリスニング能力を高めることができました。また日本人以外の生徒とグループディスカッションをすることの難しさ、アクセントの違いなど、日本では経験できないことを経験することができました。また学部の授業をとることで現地の授業の内容や雰囲気を知ることができました。日本とは違い、すべての生徒が積極的に自由に発言する授業に最初は戸惑いましたが、次第に慣れ一度だけですが発言することができました。中国語の授業では自分が全くリスニングが出来ないということに気づき、先生の発言を注意深く聞くよう心がけました。その結果リスニング能力だけでなく語彙力も高めることが出来たように感じます。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	テキサス大学サンアントニオ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

私は IEP という留学生を対象としたクラスを受講しました。Reading, Writing, Oral Communication, TOEFL の4つの授業を受講しました。IEP のクラスは時間割が固定であったため自動で履修登録は行われました。人数は15人ほどでメキシコやサウジアラビア、韓国、中国など色々な国から英語を学びに来ている生徒と一緒に受講していました。月・水・金に Reading と Writing を受け、火・木に TOEFL と Oral Communication の授業を受けました。時間は TOEFL が1時間半、その他は2時間のクラスでした。授業形式はディスカッションを中心とした参加型のクラスで、プレゼンテーションなどの発表もありました。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

前期に引き続き IEP のクラスを受講しました。

### III. 留学で得た学習成果

### IV. その他気づいたこと

ディスカッションが多かったので英語を話す機会を得ることができました。また、他の生徒も英語学習者であったためお互いに切磋琢磨しながら積極的に話すことができました。また休み時間には多国籍な生徒たちとの関わりを通じてアメリカの文化だけでなく色々な国に触れ合うことができました。また日本ではプレゼンテーションを行う機会が少なかったため、留学先で初めてプレゼンテーションを行ったときはなかなかうまくできませんでしたが、回数を重ねていくうちにできるようになっていっていると実感しました。

留学種別	TESS II
留学先大学	テキサス大学サンアントニオ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

外国人留学生向けの IEP クラスで Reading, Writing and Grammar, Oral communication, TOEFL の 4 クラスがありました。IEP の時間割やクラス登録は自分でする必要はありませんでした。前者二つが月水金、後者が火木、という時間割で受けていました。1～5までのレベルがあり、私は3でした。私の印象としては、クラスメイトはスペイン語話者が大半を占めていたと思います。特にメキシコ人が多かったです。アラビア語話者が次を占めていました。授業は講義形式でしたが、生徒の発言をもとに授業が成り立っているのも、とても参加しやすい雰囲気でした。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

私は2学期も一学期と同じ IEP クラスを履修していました。授業も時間割も同じですが、クラスのレベルが5に上がりました。また、国籍も増え、メキシコ人、アラビア人、韓国人、中国人、台湾人、日本人が多かったです。レベル5の授業は大学の学部授業を受けるための練習になるので、oral communication のクラスが一番難しかったです。

### III. 留学で得た学習成果

私はリスニング力とスピーキング力が上がったと実感しています。放課後に友人と会話をしたり、授業中のリスニングの仕方を工夫したりするなどして、成長できたと思っています。特に、2学期目のリスニングはラジオや講義から抜き取られた音源をそのまま授業で使用していたこともあり、自分の力を伸ばすのにとても有効的なトレーニングだったと思っています。

### IV. その他気づいたこと

2学期が始まる少し前に、IEP のクラスがなくなる、と大学から言われ、レベル5に移動しなければなりませんでした。しかし、その環境が私にとっても合っており、有意義な時間を過ごすことができました。

留学種別	TESS II
留学先大学	デッキンソン州立大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

ASC68: High Intermediate ELL  
3 (Japanese 2, Ukraine 1)  
Monday and Wednesday 7:30-8:45  
lecture

Political Science 115: Introduction to American Government  
20 ( America 19, Japan 1)  
Monday, Wednesday, and Friday 10-10:50 am  
lecture

ASC87: College Writing  
10 ( Japan 2, Nigeria 1, America 7)  
Monday, Wednesday, and Friday 2-2:50 pm  
lecture

UNIV109: International Student Orientation Seminar  
7 (Japan 2, Canada 1, Russia 1, Ukraine 1, Ghana 1, Zimbabwe 1)  
Thursday 5-6:30 pm  
Lecture

COMM 216: Intercultural Communication  
15 ( Japan 1, Philippines 1, Kenya 1, America 12)  
Tuesday and Thursday 1-2:15  
Lecture

MUSC 241: Concert Band  
15 ( Japan 1, Russia 1, America 13)  
Monday and Wednesday 3-3:50, Thursday 6-7:30  
perform

MUSC163: Flute  
1  
Tuesday 11:30-12  
Perform

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

MATH103: College Algebra  
20 ( Japan 1, America 19)  
Monday, Tuesday, Wednesday, and Friday 9-9:50  
lecture

ENGL110: Composition 1  
20(Japan 2, Zimbabwe 1, America 17)  
Monday, Wednesday, Friday 1-1:50  
Lecture

PSYC111: Introduction to Psychology  
20 (Japan 1, America 19)  
Tuesday, Thursday 10-11:45 am  
Lecture

ENGL382: Adolescent Literature

9 (Japan 1, America 8)  
Tuesday, Thursday 4-5:15 pm  
MUSC 241: Concert Band  
15 ( Japan 1, Russia 1, America 13)  
Monday and Wednesday 3-3:50, Thursday 6-7:30  
perform

MUSC163: Flute  
1  
Monday 12-12:30  
Perform

### III. 留学で得た学習成果

ほとんどのクラスでエッセイが課題としてあったため、ライティングのスキルが向上した。2期での **literature** のクラスでは1 **semester** で10冊の本を読んだため、以前より本を読むスピードが上がった。この授業では読むだけでなく、考えることが多く、授業中発言を多々できるようになった。分からないことがあったら質問を教授やクラスメイトに積極的にするようになった。

### IV. その他気づいたこと

2期留学生用の英語の授業は私しか希望者がいなかったため廃止となった。近くに **Dickinson Adult Learning Center** という場所があり1 **semester** 30ドルで英語の **grammar** など基礎を学べる

留学種別	TESS II
留学先大学	テネシー大学チャタヌーガ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

- ・ Cultural Geography

月水金 / 講義形式 / 約 80 人

- ・ World History 1400-present

月水 / 講義形式 / 約 40 人

- ・ Psychology

火木 / 講義形式 / 約 40 人

- ・ Rhetoric Composition I

月水金 / 講義&オンラインのハイブリッド / 約 30 人

- ・ クラスメイトは全て現地生

- ・ 履修登録方法は先着

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

- ・ Intro to Women's and Gender Studies

月水 / 講義形式 / 約 30 人

- ・ Sociology of the Family

火 / 講義形式 / 約 30 人

- ・ Conservation of Biodiversity

火木 / 講義形式 / 約 60 人

- ・ Mysteries of Human Journey

月水金 / 講義形式 / 約 60 人

- ・ クラスメイトは全て現地生

- ・ 履修登録は先着

### III. 留学で得た学習成果

少人数クラスでは、クラスメイトとの交流が多く、ディスカッションや意見交換の場が多くありました。現地生の中でディスカッションに参加することは難しかったですが、自分の意見を主張することの大切さを学びました。また、女性・ジェンダー学クラスでは、国や文化の違いで、一つの問題に対する見方や状況が大きく変わることが衝撃でした。男女平等という点に関してあまり進展のない日本の現状を比較し、考えることが出来ました。各授業内では、口頭のみのもものもあり、最初はノートを取るのが大変でしたが、徐々に慣れて重要なポイントを自分なりにまとめることが出来るようになりました。毎日の膨大なリーディング、ライティング課題で、ボキャブラリーや表現力も向上し、スピードも上がったように感じます。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	テネシー大学チャタヌーガ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### 1. コース名称

ESL

#### 2. 授業科目名

- Reading and Writing Skills L4
- Listening and Speaking L4
- Test Prep & Integrated Skills L4
- Functional English L4

#### 3. 履修登録方法

事前にテストを受け、自分のレベルにあったクラスが指定される。

#### 4. クラス構成（人数、国籍）

中国、ベネズエラ、ベトナム、インド、メキシコ、ブラジル、スペイン、日本  
午前 11 人、午後 7 人

#### 5. 一週間の授業時間割

月～金（午前 9:00～12:00、午後 13:00～15:00）

#### 6. 授業形式（講義形式）

午前は文法とリーディング、ライティングの授業。ワードに先生が打ち込み、それをノートにとる。

午後は3つのタイプの授業を日替わりで行う。リスニングの場合、意見の発信を重点的に行いつつ、テキストを進めていく。基礎英語の場合、母音の開拓から始まり、人前で正しい英語を話す練習を行う。Test prep

& Integrated skills L4 の場合、テキストに従順に進めてゆき、少しコアな内容を英語で学んでいく。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

授業から得たものより、日常生活から感じたことが多くあった。

わたしは基礎英語ですら怪しい状態で留学に挑んだため、最初は ESL の先生でさえ話すのもままならない状態だった。2 か月ほどたっても授業内だけでは成長を感じられなく、焦り始めていた。そんなとき、ルームメイトが4日間の帰省に誘ってくれ、同行した。すると、4日間みっちり、なまった英語に囲まれることで、通常英語が楽に感じるようになり、英語が聞ける、話せるようになった。同時に今まで引け目に感じていた家族のことも解決し、この帰省は自分の考え方を大きく変える機会となった。

この日以降、授業でも発言することが多くなり、英語でプレゼンすることの楽しさを知った。授業内では自作のポスターを使ったプレゼンや、テーマに沿った5分ほどのプレゼンの機会があり、人前で英語を話すいい練習となった。

また ESL にはいろんな発音の仕方をする国の人が集まっているため、中途半端な英語では伝わらないことが助かり、自分の英語の発音の開拓にもつながった。



#### IV. その他気づいたこと

日本人の中でのトラブルがあり、できるだけかわらないことが最善策かなと思いました。

留学種別	TESS II
留学先大学	テネシー大学チャタヌーガ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

学部学生

授業科目→英語、世界史、心理学、地理学

履修登録方法は先着順で、ネットから各自行う。

時間割→ 月曜日 地理学 9:00 - 9:50 英語 11:00-11:50 世界史 3:25-4:49

火曜日 心理学 3:05-4:20

水曜日 地理学 9:00 - 9:50 英語 11:00-11:50 世界史 3:25-4:49

木曜日 心理学 3:05-4:20

金曜日 地理学 9:00 - 9:50 世界史 3:25-4:49

授業形式は全て講義形式

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

学部学生

授業科目→英語、女性学、刑法、人類学

履修登録方法は先着順で、ネットから各自行う。

時間割→ 月曜日 女性学 9:00 -9:50 人類学 11:00-11:50

火曜日 刑法 8:00-9:15

水曜日 女性学 9:00 - 9:50 人類学 11:00-11:50 英語 2:00-3:15

木曜日 刑法 8:00-9:15

金曜日 女性学 9:00 - 9:50 人類学 11:00-11:50

授業形式は女性学のみディスカッション形式で、その他は講義形式

### III. 留学で得た学習成果

留学で、全ての英語力を身につけることができたが、特にライティングリよく上がったと思います。英語の授業だけでなく、どの授業を受けてもエッセイの課題がでたので、文章を書く機会が日本での授業より多かったため身に付けることができました。また、ディスカッション形式の授業を受講したため、積極的に授業に参加する力も養うことができました。最初は授業についていくのが精一杯でしたが、少しでも自分の意見が思いついたら発言するようにすることで発言をするという行為に戸惑いがなくなり、授業へしっかり参加することができるようになった。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	ニューメキシコ州立大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

コース名称 : Center for English Language Programs (CELP)  
 授業名と時間割 : 1) Reading & Vocabulary (月水金) 2) Listening & Speaking (月水金) 3) Grammar (火木) 4) Writing (火木) 5) American Culture (火木)  
 履修登録はすべて CELP により行われた  
 クラス構成 : すべて 6 人のクラス (日本人、中国人、メキシコ人 2 人ずつ)  
 授業形式 : 少人数制クラス

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

テストなどは特に必要なし  
 授業名 : 1) Introduction to Sociology 2) Introduction to Psychology 3) International Political Issues 4) International Business  
 履修登録方法 : すべてオンライン、自分のパソコンから  
 クラス構成 : 1) 120 人ほど 2) 70 人ほど 3) 50 人ほど 4) 20 人ほど 国籍はすべてアメリカ人メキシコ人が多数  
 時間割 : 1) 火木 2) 月水金 3) 月水 4) 月水  
 授業形式 : すべて講義

### III. 留学で得た学習成果

アカデミック英語 (読む 書く) プレゼンテーションのスキル アメリカ文化  
 基礎的かつ日常に生かせる心理学と社会学 アジア経済とその特徴 国際問題

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	ニューメキシコ州立大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

1学期は英語学習プログラムに参加したため英語のみの履修となりました。コース名は CELP の Advanced English Course です。授業科目は Contemporary Topics 3, Grammar 3, Listening and Speaking 3, Reading and Vocabulary 3, Writing 3 の5つです。クラス構成は6人、NUFS 生2人、中国人2人、メキシコ人2人。1週間の時間割は月・水・金は 1:00 PM- 2:20 PM Reading and Vocabulary 3, 3:00 PM- 4:20 PM Listening and Speaking 3。火・木は 8:00 AM-9:50 AM Writing 3, 10:00 AM- 11:50 AM, Grammar 3 10:00 AM- 11:50 AM, Contemporary Topics 3 1:00 PM- 2:50 PM になりました。授業形式は基本的には話を聞いてアクティビティーをするゼミ形式になりました。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

基本的には自由に講義を選ぶことができ、学部へ切り替わったがコース変更のための手続きは行ってもらったので特にしたことはないです。コース名は特にないです。授業科目は BUSA-111-M03-INTRO TO BUSINESS, FIN-303V-M02-PRSNL FIN PLN/INVST GLBL, FIN-341-M01-FIN ANALYSIS & MKTS, MGT-332-M02-HUMAN RESOURCES MGT 履修登録方法は留学先の国際交流部の担当者に受けた科目を申し出て登録してもらう。クラス構成はおおよそ45人程度でアメリカ人が多かったです。1週間の時間割は月・水が 12:00 PM- 1:15 PM FIN-303V と 1:30 PM- 2:45 PM FIN341、火・水が 10:30 AM- 11:45 AM BUSA111 と 1:30 PM- 2:45 PM MGT332 でした。授業形式は基本的にすべて講義形式でした。

### III. 留学で得た学習成果

BUSA 以外は上級生クラスだったので英語を抜きにしても難しかったので勉強についていくのに必死でした。特に1日に2時間や3時間は勉強したためなかなか忙しく毎週末に60P や多い時には100P 近くの教科書を読むこともありました。特にリーディングの力は英語の観点からみても身に付いたと思います。二期はビジネス科目しかとっていないのでビジネスに関する知識が増えました。成長した点は勉強に励む習慣がさらについたこと、多文化との交流を通して英語だけでなくスペイン語にも多く触れられたこと、自分の意見を積極的に伝えることでコミュニケーションをしっかりとることができたことが成長した点と身に着けた点です。

### IV. その他気づいたこと

コミュニケーションをとる文化なので Thank you と声に出して言うことが当たり前でした。日本ではお辞儀の文化ですがその違いに最初は戸惑ったりうまく言えなかったのですがコミュニケーションをとることが大切だと感じました。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースアラバマ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

1期はESLを受けていたので、ESLの授業について報告します。ESLは半年で2セメスターに分かれています。

ESLのクラスは5教科(リーディング、ライティング、グラマー、リスニング、スピーキング)が5レベルに分かれています。最初にレベル分けテストを受けますが、ほぼ確実に日本人留学生はレベル4か5に振り分けられます。ここでレベル5に振り分けられ、1セメスター目で合格しても、2セメスター目にもう一度受ける必要がありました。これで授業料の変更が起き色々大変だったので、授業料をとクラスの数に最初にきちんと確認するといいいと思います。

授業時間は朝9時からお昼を挟んで2時50分までです。毎日5クラスずつあります。

授業内容は、外大生にとっては簡単だと思います。中学高校の内容を復習しているような感じでした。が、基礎力を確実に身につけるといいう意味でも、真剣に取り組めばためになる授業だと思います。多くの日本人は、簡単でつまらないと発言していましたが、次の方たちには流されずに頑張ってもらいたいです。セメスターの最後にTOEFLのITPを受けることができたのですが、スコアが大幅に上がっていて嬉しかったです。ESLのアドバイザーの先生が私よりも喜んでくださって、ESLを受けてよかったなと思いました。

教科書は1クラス1冊ごと購入する必要があります。新品をそろえると1セメスターで350ドルほどかかります。なので2セメスター目はルームメイトに全て貸してもらいました。全て新品を購入すると奨学金をESLで使い切ってしまうことになるので、せめて2セメスター目は誰かに借りるのがいいと思います。

クラス人数はセメスターによって大きく変わります。夏の間はとても少なかったそうです。

私が受けていた間は、日本人が半分を占めていました。コンゴ共和国、中国、韓国、サウジアラビアの子たちと一緒に授業を受けました。

### II. 2学期目以降の学習状況(1年以上の留学の場合)

2期は学部授業を履修しました。テストや語学試験のスコアは必要ありませんでしたが、ESLの授業を全て80%以上で通過する必要がありました。

履修登録はオンライン上でできます。授業の内容も全てオンラインで確認できますが、international officeの人に何がどのような授業なのかは何度も質問しました。取りたいと思った授業は基本的にどの学部のものでも取れますが、番号が大きいものはpre-requirementも多いです。International office またはそのクラスの教授に連絡をすると特別に取れる場合もあるので、取りたいクラスが取れなさそうでもあきらめないでください!

私が履修したクラスは、15人前後のものばかりでした。国籍はアメリカ人ばかりですが、日本人留学生に人気があるクラスは固まっているので、4つ中3つのクラスに1人は日本人がいました。月水金は50分授業を3つ、火曜木曜は75分授業を1つ受けていました。日本にいた1年、2年次と比べるとかなり時間に余裕がありました。

US History from 1877, Geography introduction, World Politics, Sociology introduction の4クラスを受講しました。全て講義形式で、試験が1期につき4回ありました。300番台でも真面目に取り組めばパスできないことはないと思うので受講しても問題はないと思います。全て興味があった事柄なので、想像と少し違うような授業もありましたが私は勉強が楽しかったです。

### Ⅲ. 留学で得た学習成果

勉学については、毎日英語の授業を受講していたので、リスニングやリーディングの能力は特に向上したと思います。歴史と地理学のクラスでは、アメリカから世界を見つめるという点がとても興味深く、勉学への熱意がとても向上しました。日本にいた時と比べて、特に世界で起きている物事に対しての視野が広がったように感じます。

### Ⅳ. その他気づいたこと

10 か月間、日本を離れてアメリカに滞在してよかったです。環境ががらりと変わり、家族も友達もない場所で辛く感じることもありましたが、アメリカで学んだことや感じた事を日本に持ち帰って勉強をできるのはすごく有益なことののように思います。テレビの向こうからみるだけでは体験できなかったことや考えられなかったことを知ることができました。勉学の面もちろんですが、精神面や考え方の面で成長できた期間でした。

ノースアラバマ大学はアメリカの南部に位置しています。これから留学する方には、南部特有の雰囲気や訛りをぜひ楽しんでほ

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースアラバマ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

前期は **ESL** を中心に講義を受けました。**ESL** は1日5コマで月曜から金曜まで9時から3時まで英語を学びます。教科は、文法、スピーキング、リスニング、リーディング、そしてライティングです。毎日同じ授業なので宿題が出るとその日に済ませるのが必須となります。また、1日に3つなどテストの日がちが被るのも珍しくありませんでした。また、**ESL** は前期で2つに分かれており、レベル1からレベル5までクラス分けされていました。日本人留学生のほとんどはレベル4から始めレベル5を前期の後半で受けるパターンが多かったです。クラスメイトはレベルによりますが、今季は人数が多かったらしく、20人ほどいました。また、国籍は日本人を始め、韓国人、中国人、サウジアラビア人やコンゴ人など多国籍でした。授業形式は先生によりますが、クラスメイトとディスカッションするクラスやパソコンを使うクラスや、先生の話聞く講義式のクラスなど様々な形式がありました。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

2期になり **ESL** から学部へ切り替わりました。**ESL** から学部の授業を受けるためには、前期最後に受ける **TOEFL ITP** の点数500点以上を取得するか、**ESL** のレベル5を最終的に成績 **B** 以上で通るかの2択です。しかし、もしレベル5の単位を取得できなかったとしても、**TOEFL** 500点以上取ればどのレベルからでも次期学部の授業を取得することが可能です。私が今学期学部の授業で取った科目はアメリカ史、アメリカ政治、哲学、そして、社会学です。各授業講義型ですが、教室はそれほど大きくなく、一番人数が多いアメリカ史のクラスでも50人ほどしかいません。1週間の時間割は月水金9時から9時50分まで社会学、11時から11時50分まで哲学、1時から1時50分までアメリカ史、そして火木9時30分から10時45分までアメリカ政治となっています。まだ後期が始まって3日目とかですが、アメリカで現地の生徒と学べることがとても嬉しく思い、毎日がとても刺激的です。

### III. 留学で得た学習成果

**ESL** ではスピーキングではスピーチの練習や語彙などを学び、日本でスピーチの仕方など学んだことがなかったのでとても勉強になりました。また、アメリカのスピーチは日本のプレゼンとは少し異なり、聞き手に問いかける要素や笑いを誘う要素などが含まれており、肩の力を少し抜いたような形式が多かったです。また、文法やリーディングでは講義系の教科にも関わらず、より理解を深めるためにディスカッションを取り入れていたので、自身の考えを伝える機会が多く、発言の機会も多かった気がします。また、ライティングでは形式から学び、学部の授業を受ける際にとっても役にたつと思います。また、日常生活を通してリスニング能力は上がり、今では日常会話はほとんど聞き取れるようになりました。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースイースタンイリノイ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

履修登録は自分でオンラインで **NEIU PORTAL** を使ってすることができます。履修変更期間が授業開始から大体2週間ほどあるので、気に入らなければ簡単に変更することができます。初めての学期で何もわからない状況だったので、私はアドバイザーの方と相談して決めました。4つの授業の中で、2つはオリエンテーションの次の日にプレースメントテストの申請を自分で受けて **Developmental Workshop III** と **Developmental Reading Workshop I** という英語のコースをとりました。英語の基礎なので留学生が多いのかなと思っていたのですが、基本的に現地のフレッシュマンばかりでした。先生はとても優しく良心的で、質問もとてもしやすいです。ライティングのクラスはエッセイなどがとても多かったです。その他の **Intro to Cinema** では毎週月曜に教科書のチャプターごとのマルチプルチョイスのミニクイズがあったり、**Intro to LGBTQ** はディスカッションが主で、毎回宿題として出されるリーディングについて自由に意見を述べる感じで、テストはなくペーパーやグループプロジェクトが多かったです。とにかくどの授業も基本的に毎回読み物はとても多かったです。金曜はクラスがなかったので（人によりませんが、人が圧倒的に多い）3日間の休みは色々はことをこなすのに丁度いい期間でした。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

2期は **Language and Human Behavior**, **Intro to General Linguistics**, **Intro to Spanish Dance**, **Intro to Japanese Culture** という授業をとりました。今回取ったのはどれも大体15人程度の少人数クラスです。1期と同じく金曜はクラスがなく、**Intro to Japanese Culture** は長い授業で2時間40分あるので、普通1時間15分が週2回あるのに対してこれは週1回のみです。2期の授業に関してはまだ始まったばかりでありあまり情報がありません。

### III. 留学で得た学習成果

人によりませんが、先生たちは基本的にみんな話すのがとても速く時々全く理解できないことがあるので、授業はたびたびスマホのボイスレコーダーを使って録音をして聞き直したりしています。アメリカでは、日本の大学より発言を求められる機会が多く、そして学生はみんな活発に意見を述べます。だから、黙っているだけでは何も成長しないと思い、とにかく間違いは気にせず思ったことを言うようにしていました。授業で発言するようになると、その内容はともかく、他の生徒が自分のことを覚えてくれるきっかけにもなり、友達作りにもつながったと思います。そして、わからないことはわからないと言う素直さの大切さも学びました。

### IV. その他気づいたこと



留学種別	TESS II
留学先大学	ノースイースタンイリノイ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### Fall semester(1期)

- ELP 097 Developmental writing workshop III
- MUS 104 Music Concepts: Introduction
- SOC 105 Social Inequalities & Social Change
- ECON 217 Principles of Microeconomics

#### Spring semester(2期)

- ENG 101 Writing I ()
- ELP 098 Supportive Instruction Writing Skills Workshop
- LING 120 Language and Human Behavior
- JUST 318 Gangs in Chicago

最初に、履修登録はアカデミックアドバイザーと相談しながら選ぶことができる。やり方を自分で理解していれば1期の授業も自分でオンライン、NEIUport(現地大学のPortal)で受講可能である。もしESL以外の英語の授業、数学、経済等の授業がとりたい場合は、別に自分のレベルを駆るテストがあるので、そのテストを受けたいとアドバイザーに伝えて、テストの結果が出た後、自分に合った講義を受講する(Introductionと名前がついてないものはテストなしで受講可能なことがある)。授業内容が詳しく聞きたい場合は、自分で各デパートメントを訪れて、詳しく聞くことができる。クラスの構成はほとんどが15~30人程度で、国籍はバラバラである。1週間の時間割は、一つの科目につき週に3時間弱で、一日3時間の科目もあれば、1時間25分の授業が2回、50分の授業が3回と科目によってバラバラである。ほとんどの授業はゼミ形式で自分の意見や分からないことはその場で手を挙げて聞くのが普通である。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

#### Spring semester(2期)

- ENG 101 Writing I ()
- ELP 098 Supportive Instruction Writing Skills Workshop
- LING 120 Language and Human Behavior
- JUST 318 Gangs in Chicago

受講の仕方は1期の学習状況で説明した通りである。しかし、1期に英語の授業を受けている場合は、その授業を担当していた教授に聞いてどの授業をとるか決める、または、デパートメントを訪れて相談することもできるため、再度テストを受ける必要はない。数学と経済関係の授業は2期では受けていないため説明できない。クラス構成、授業形式等はうえで説明した通りである。

### III. 留学で得た学習成果

教科書や論文などを読む課題なのが多いため、英語の読解力は気づかないうちに上がっている。エッセイやレポート提出も多いため、英語の授業を受けて正しい書き方を覚える必要もある。そのために、英語の授業を受講することはとても効果的である。

### IV. その他気づいたこと

もしレポート関連の授業が授業についていけず、期日までに間に合わない場合、授業を担当

している教授にエクステンションをもらえる可能性がある。もし、間に合わなくてもあせらずに、教授に相談することが大切である。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースカロライナ大学グリーンズボロ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

履修科目：

College Writing I (火木)

Intro to Communication Studies (月水)

Introduction to Sociology (火木)

General Psychology (火木)

履修登録はネットで行います。

クラス構成は授業によって少しずつ違いますが、すべて学部授業です。

前半は TOEFL が 550 以下だと履修できない授業がある。

基本的に同じ授業が週二回あります。(週3のものもある)

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

履修科目：

Sociology of Deviant Behavior (火木)

Intro to Cultural Anthropology (火木)

Intro to Peace and Conflict Studies (月水)

Western Art:Renaissance-Contmp (火木)

Steel Pan (月水)

履修する授業のレベルを少し上げた以外は特に変わらなかった。

### III. 留学で得た学習成果

専門知識や英語でレポートを書く力。

### IV. その他気づいたこと

特になし。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースカロライナ大学グリーンズボロ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

1学期目は①Fundamentals of Drawing (Art), ②Contemporary Non-Western Cultures (Anthropology), ③Introduction to Communication Studies (Communication Studies), ④College Writing 1 (English)の計4科目を履修しました。私の時間割は月曜日と水曜日、火曜日と木曜日に2科目ずつ、週に2回の授業で、金曜日は休みでした。クラス人数は講義形式だと70人ほどで、④の授業の場合は10人でした。現地の学生との授業がほとんどで、唯一④の授業だけ、日本、中国、サウジアラビア、インドの学生がいました。履修登録方法は留学出発前に留学先の担当者に希望を出し、その担当者が履修登録を行なってくれました。履修変更・放棄期間が設けられていて、Web上で変更可能でした。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

2学期目は①Anthropology of Children (Anthropology), ②Introduction to Sociology (Sociology), ③Spanish Conversation (Spanish), ④Introduction to LGBTQI Studies (Women's & Gender Studies)を履修しました。火曜日と木曜日の週2回で月曜日、水曜日、金曜日は休みというスケジュールでした。クラス構成は、少なくとも20人、多くて50人ほどで、ほぼ現地の学生でした。履修登録方法は1学期目とは異なり、自分で登録を行いました。現地の学生は単位取得数によって履修登録期間が異なるようですが、留学生の場合、最後の登録期間に割り当てられていました。そのため、人気の科目は埋まっているということもありました。

### III. 留学で得た学習成果

授業内で発言する機会が多く、自分の意見を共有できるようになったのは成長した点だと思います。また、他の意見にも耳を傾け、物事を異なる視点から考えられるようになりました。多様な科目を履修したことによって、幅広い分野の知識を少しですが、身につけることができ、その学習成果が次のステップへの助けになりました。

### IV. その他気づいたこと

1学期目は留学生向けのための学部授業プログラムということでしたが、履修できる科目に限られているだけで、通常の学部授業と変わらなかったように感じました。教授によって異なりますが、履修登録開始より前にシラバスを確認することはできず、履修登録完了後に教授がアップロード次第、見ることができるという感じでした。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースカロライナ大学シャーロット校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

私は、ELTIに通っていました。授業は、**Reading & Listening**、**Academic Language**、**Listening & Speaking** の3つありました。**Reading & Listening** は、テキストを使って文章題を解いたり、小説を読んで要約したり、クラスの子とグループになって、その小説のトレーラーを作ったりしました。**Academic Language** は、エッセイや要約の書き方を教わりました。それから、週に一度、記事を読んで、その要約と自分の意見を書いて提出しました。**Listening & Speaking** は、リスニング中のノートの取り方や大事なポイントを教わりました。それから、食べ物に関する実験をして、その結果をプレゼンしました。最後のテストはディベートで違うクラスの人とディベートをしました。クラスの人気は、10人程度で、トルコ人、サウジアラビア人、マレーシア人が一人ずつとクウェート人が4人と日本人が3人でした。授業の時間割は、月曜日から木曜日が9:00から10:15、10:30から12:00、1:00から2:30で、金曜日が9:00から10:15、10:30から12:00でした。授業形式は、少人数だったので、ゼミ形式に近かったと思います。大学の学習環境はとてもよく、図書館は平日24時間空いていました。そのほかにも、それぞれの建物にもて机や椅子があってどこでも勉強できます。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

二学期目は、語学コースから学部へ切り替わりましたが、テストや語学試験のスコアは必要ありませんでした。履修登録方法は、日本のものと似ていて、時間になったら自分の受けたい授業を選択して、空いてない場合は空きがでるのを待つことができます。授業は4つ取っていて、**inter-collaborative project**、**spanish**、**women's and gender studies**、日本語の授業のティーチングアシスタントをしました。**inter-collaborative project** は、週2日で1時間15分でした。クラスは日本人6人、アメリカ人5人でペアやグループになってプレゼンテーションやディベートをしたり、ニュースを読んでクラスで発表したり、先生がきめたトピックについて書いた **writing assignment** をお互いに直しあったりしました。**spanish** は、初級のクラスを受けました、週3日で50分の授業でした。人数は15人くらいで私以外はアメリカ人だったと思います。**women's and gender studies** は週1日で2時間半の授業でした。100人以上の生徒がいる講義形式でした。日本語の **TA** は、週4日で50分の授業でした、授業中に教室を回って質問を受けたり、宿題の添削をしたりしました。さらに、2回 **teaching demo** とクラス全員と話す **session** がありました。

### III. 留学で得た学習成果

アメリカの行って見なければわからない文化をたくさん肌で感じました。特に **women's and gender studies** では、アメリカのフェミニズムを勉強しましたが、授業中に先生が投げかけた質問の多くが、アメリカ人にとってのあたりまえなことだったりしたのでとても興味深かったです。さらに、すごく親しくなった友達に差別の話の聞いたり、フェミニズムのイベントに参加していろいろな人(特に黒人の女性)の意見を聞いたりしたので実際に行ってすこしの間でも住んで見なければわからなかったことだと思いました。さらに、日本語のクラスの **TA** をして、学生の学習意欲にも驚きました。さらに、自分も頑張らなければと思って勉強を頑張ることができたし、頑張り方も友達の真似をしてですが身についたと思います。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースカロライナ大学シャーロット校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

履修登録方法:2ヶ月ほど前からインターネットにて登録

Introduction to International Studies:30人、国籍多数、月水金 10:10～11:00、講義形式

Child Literature:100人以上、国籍多数、火木 13:00～14:15、講義形式

LGBT Studies:40人、ほぼアメリカ人、月 17:30～20:15、講義形式

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

Visual Arts:100人、国籍多数、月水金 9:05～9:55、講義形式

Theatre:100人以上、国籍多数、月水金 10:10～11:00、講義形式

Introduction to Women Studies:100人以上、国籍多数、水 18:00～20:45、講義形式

### III. 留学で得た学習成果

英語の理解度が上がった。

日本よりも専門的な知識を得ることができた。

様々な学習方法を知ることができた。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースカロライナ大学シャーロット校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

1学期目は英語コースを受けていました。英語コースは **Reading&Writing, Grammar, Listening&Speaking** の三科目でした。履修登録はする必要なく、毎日三科目ずつ授業を受けました。クラスにはサウジアラビア、クウェート出身の人が大半でそのほかはミャンマー、コロンビアなどの国々から来ていました。クラスは10人くらいで少人数で構成されていました。授業内容は問題を解いたりテストを受けたりスピーキング・リスニングの練習をしたりしていました。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

二学期目から学部授業にうつりました。ポータル上で履修登録をしました。その際、留学生のためのアドバイザーの人がいて履修登録のてだすけをしていただきました。わたしはテロリズム、国際政治、難民についての授業を受けていました。それともう一つ、日本語の授業で先生のアシスタントをする **Teaching Assistant** として働いていました。これは主に学生の宿題の丸付けをしたり、先生のお手伝いをしたり、模擬授業をしたりするものでした。これらの授業は週に何回かありました。授業はすべて講義形式でした。

### III. 留学で得た学習成果

留学では授業も大事だが、それ以上に友達とのかかわりが一番大事だと個人的に思いました。英語を上達させるには勉強だけでなく勉強でインプットしたことを友達との会話で発揮する必要があります。だから、人見知りでも積極的に人と関わらなければいけないと思いました。あと、自分の努力次第で友達はいくらでも作る機会があると思うので、積極的に行動することが大切だと思います。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	認定
留学先大学	ノースカロライナ大学シャーロット校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### ELTI(ESL)

reading・writing,academic language,listening・speaking

授業料を払う

21人、クエート、サウジアラビア、中国、トルコ

月一木:9時~10時15分 RW 10時半~12時 AL 1時から2時半 LS

金:9時~10時15分 RW 10時半~12時 AL

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

英語の基礎を一から学び直すことができた。

日常会話はある程度問題なくできるようになった。

### IV. その他気づいたこと



留学種別	TESS II
留学先大学	パイクビル大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

ライティング、リーディングは留学生のみで形成されていて、台湾人2人、ペルー、オランダから1人ずつ、日本人4人の合計8人のクラスでした。

履修登録は、Web アドバイザーがいるので相談して決めることができました。他の教養科目は現地の学生に混ざって授業を受けました。

月、水、金が同じ科目で50分ずつ、火、木が同じ科目で70分授業でした。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

1期から学部授業が取れていたのが特に変わりはありませんでしたが、必須で取らなきゃいけないライティング、リーディング、1年生必須の授業、留学生は絶対の授業がなくなったので、ゼロから自分がとりたい授業をとることができました。Web アドバイザーが履修を組むのは助けてくれるので一人でやらなくてはいけないことはありませんでした。

1期同様、月、水、金が同じ科目で50分ずつ、火、木が同じ科目で70分ずつです。

授業形式は、授業によって異なります。

### III. 留学で得た学習成果

現地の学生に混ざっての学部授業を1期から受けることができたので、ついていくのに必死だったこともあり、リスニング能力がつけました。また、プレゼンやスピーチの課題も出されるので、人前で発表する際に自信をもって話すスキルを身につけました。

### IV. その他気づいたこと

留学生が少ないので、授業も留学生と被ることも少なかったです。1つの授業の人数が多くないので、先生は学生一人一人を気にかけてくれます。なので、留学生が一人もいない授業も心配せずにとることができました。

留学種別	TESS II
留学先大学	パイクビル大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

ESL の授業と学部授業を受けました。ESL では writing と reading の授業が 2 つあり、今期に一緒に入ってきた留学生たちと一緒に授業を受けます。どちらの授業も週に 3 回あり、どちらかという to writing は講義形式、reading は皆でテーブルを囲み意見を言っていくディスカッション形式でした。

国籍は日本 4 人、中国 1 人、台湾 1 人、オランダ 1 人、ペルー 1 人で合計 8 人の少人数教室です。

writing では最初先生からある小説を渡されそれを毎週 5 チャプター程読んでくるよう課題を出されます。そして毎週 1 人ずつ読んだ部分を要約し、発表し、それについてディスカッションをしました。

それと同時進行で 3 つのエッセイ、personal essay, story analysis essay, argument essay に取り組みました。毎回下書きを提出し、先生に何度かチェックしてもらいながら完成させました。

readig では 3 つの教科書を 1 つずつ使っていました。教科書には 1 チャプターごとに記事や物語が載っていてそれについての質問がいくつか載っています。毎回 1 チャプター課題で取り組み次の授業でそれについてみんなで話し合いました。

また、学部授業では音楽と美術を取っていました。音楽(New Music)は週に 3 回、美術(New Basic Drawing)は週に 2 回ありました。どちらのクラスも学部授業なのでほとんどの人が現地の人たちです。音楽は 30 人ほど、美術は 15 人ほどいました。

音楽は講義形式で楽器を扱うことはなく、主に音楽史について勉強しました。美術では様々な絵を描く方法を実践しました。

Flrst-Year-Seminar という授業は週 2 回ありました。人数は 25 人ほどで、生徒はほぼ現地の人たちです。4,5 人のグループに分かれて毎回トピックについてそのグループの中でディスカッションをしました。

Americana という授業は講義形式で、主にアメリカについての歴史や文化、今話題となっているニュースを学びました。生徒は全員留学生で全員で大体 10 人ほどです。

一週間の時間割は、月、火、水に ESL(writing), 音楽, ESL(reading)があり、火、木に Americana, First Year Seminar, 美術がありました。

履修の登録方法は生徒一人にクラスアドバイザーがついていて、その人と話し合いながら授業を選択しました。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

2 学期からはすべての授業が学部授業になりました。そのためのテストや手続きなどは特になかったです。

私が 2 学期に取ったクラスは、宗教(religion-new testament), 演劇(appreciation of theatre), スピーキング(fundamental public speaking), メディア (Intro to Film and Media Arts), ライティング(English-composition)の 5 つです。

授業の登録方法は 1 学期と同じで自分のクラスアドバイザーと相談しながら取っていきます。どのクラスも大体講義形式ですが、演劇やスピーキングは時々グループになって授業を取り組んだりします。

すべて学部授業なのでどのクラスもほとんどの生徒が現地の人たちです。人数は宗教が 30 人程、演劇が 20 人程、スピーキングとメディアが 15 人程、ライティングが大体 10 人くらいで

す。

一週間の時間割は、月火が宗教、演劇、メディア、スピーキング、火木がライティング、金が宗教、演劇、スピーキングです。

### Ⅲ. 留学で得た学習成果

ESL ではエッセイの書き方を詳しく学ぶことができました。リーディングや学部授業では自分の語彙力のなさを改めて感じました。

特に学部授業や **First Year Seminar** は現地の生徒と一緒になので先生も生徒も話すスピードが速く、最初は何を言っているのかわかりませんでした。

授業についていくために予習復習をしたり、自主学習をすることによってなんとかついていけるようになりました。

### Ⅳ. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	パシフィック大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

-ELI-

- ELITR-103-01
- Academic and Research Writing
- 現地アドバイザーが登録
- 全体で6人の学生（うち5人日本人、1人中国人）
- 火木の週2回、午前9時半から12時20分まで
- ゼミ形式

-学部授業-

- ECON-101-02
- Economic of Social Issues
- 現地アドバイザーが登録
- 全体で40人ほどの学生（うち日本人留学生4人と中国人留学生1人）
- 月水金の週3回、午前10時半から11時35分まで
- パワーポイントを使った講義

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

-ELI-

- ELITR10201
- Amer Persp: Ethnically Spkg
- 現地アドバイザーが登録
- 全体で8人の学生（うち日本人留学生7人とチリ人留学生1人）
- 火木の週2回、午前9時40分から12時30分まで
- ゼミ形式、宿題は主にカルチャーに関わるリーディングで、授業ではその宿題のリーディングについてディスカッションする形でした。

-学部授業-

- POLS 180
- US in World Affairs
- 現地アドバイザーが登録
- 全体で50人ほどの学生（うち日本人留学生6人、

### III. 留学で得た学習成果

講義やディスカッションが多かったなので、リスニング力が上がったと感じました。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	パシフィック大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### ESL 経済

ESL はほぼ日本人、少人数

経済はほぼ現地人、30人ほど

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

#### ESL、政治、フラ

ESL はほぼ日本人、少人数

政治はほぼ現地人、30人ほど

フラはほぼ現地人、少人数

### III. 留学で得た学習成果

積極的に！

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	パシフィック大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

**ESL コース : Advanced Writing and Grammar**

学部授業 : **Economics Social Issues, Chinese Language and Culture**

履修登録は所定の用紙に記入してインターナショナルオフィスのスタッフに提出する形です。

**ESL** コースは6人の少人数、学部授業は30人以上の大人数です。

月水金は学部授業、火木は **ESL** コースの授業を受けました。

学部授業は講義形式でした。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

**ESL コース : American perspectives Ethnically Speaking**

学部授業 : **The US in the world Affairs, Chinese Language and Culture**

履修登録の手続きは同じ方法ですが、一学期めの終わりには提出しなければなりません。

**ESL** コースは10人以下の少人数、学部授業は30人以上の大人数です。

月水金は学部授業、火木は **ESL** コースの授業を受けました。

学部授業は講義形式とグループワークを組み合わせたものでした。

### III. 留学で得た学習成果

レポートやエッセイを書く機会がたくさんあったので英語の **writing** スキル、実際の現地の英語に触れて **speaking** スキルが特に伸びたと思います。他にも積極的に話しかける姿勢、自信を持って自分の意見を述べることなどを学部授業を受けていく中で身につけられたと思います。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	ハワイパシフィック大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

- ・専攻：TESOL (Teaching English to Speakers of Other Languages)
- ・授業科目名：The English Sound System、Teaching Listening & Speaking、Anlyzq & Wrtg Argmts-ESL、Analyzing & Writing Argumt Lab
- ・履修登録方法：6月1日までに履修登録フォームを完成させ、メールに添付、送信。
- ・クラス構成 (人数、国籍)：少人数クラスで、一番少ないクラスで私含め5人でした。国籍は様々。
- ・講義形式が基本。学生は積極的に発言します。少人数クラスのため、学生と教授の距離がとても近く感じました。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

私は英語の教員を目指しているため、海外で TESOL (英語教授法) を学ぶことにずっと憧れていました。このプログラムで英語教育をするうえで押さえておきたい理論や教育法を学んだり、実際に模擬授業もしたりしました。先生方は教室外でもたくさんサポートしてくださり、英語を英語で教える方法を学ぶため、ELS の授業観察もさせてもらいました。この留学を終え、生徒が成長できる教室をつくるために必要なこと、自分に足りていないものがわかりました。

### IV. その他気づいたこと

英語の教員を目指している方、HPU の TESOL の授業をお勧めします。温かく、熱心に指導してくださる先生方がたくさんいます。日本に比べ、たくさんの課題があり忙しい毎日でしたが、課題もやった分、丁寧にフィードバックをもらいました。自作のワークシートや授業プランもよりよいものになるよう、アドバイスをたくさんもらいました。ここで英語教授法を学べば、面白いティーチングアイデアが得られるかもしれません。

留学種別	TESS II
留学先大学	ペンシルバニア州立インディアナ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

一期は ALI の中の **Bridge student** として授業と学部の授業を取っていました。履修登録は限られた期間に PC を通して行いました。ALI の生徒で学部授業も受ける生徒は担当者からアドバイスをもらいながら授業を選択することになります。

授業は ALI が **ACE Tutoring, Writing Across the Curriculum, Advanced Oral Communication, Academic Literacy II** そして学部授業は **Composition I- MLW - ENGL 101** を受講していました。ALI はすべて週二回、各 75 分授業でした。

**ACE Tutoring** の授業では一人一人にチューターが付き、ほかの授業で出た課題のわからないことについて質問をすることができました。クラスは中国人、台湾人、サウジアラビア人などが多く、40 人ほどのクラスでした。

**Writing Across the Curriculum** はライティングのクラスで、英語での小論文の書き方や文法などを中心に勉強しました。クラスは 8 人ほどで、中国人、台湾人、サウジアラビア人がいました。

**Advanced Oral Communication** はプレゼンテーションに力を入れたクラスで、プレゼンテーションの効果的なやり方や、パワーポイントでのスライドの作り方などを勉強しました。大体 2 週間に一回プレゼンテーションの課題がありました。クラスは 20 人程度で、中国人、台湾人、サウジアラビア人がいました。

**Academic Literacy II** の授業はアメリカの文化について学ぶクラスでした。生徒数は 10 人ほどで、中国人、台湾人、サウジアラビア人が多かったです。

学部の **Composition I- MLW - ENGL 101** は、留学生専用の学部授業で、大学レベルの小論文の書き方を学ぶクラスでした。クラスは 25 人程度で、中国人、韓国人、サウジアラビア人、スペイン人がいました。この授業は、週二回、各 75 分授業でした。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

2期からは学部の授業のみを取っていました。ALI から学部に移るにあたっては TOEFL500 点が条件となっていて、学期終わりには TOEFL がありました。留学前に 500 点を取っていれば現地で TOEFL を受けなくても学部授業に移行することができました。

履修登録は決められた期間に PC を使って行いました。前期に ALI の生徒だった私はアドバイザーがいなかったので自分で授業を決めていくことになりました。

2期は、**English, Art history, World religion, and Elementary Korean** という 4 つの授業を受講していました。

**English(English Composition II- MLW)** は、英文で大学レベルの論文の書き方を学ぶためのクラスでした。このクラスは留学生専用のクラスで、人数は 15 人程度、国籍は中国、台湾、韓国、サウジアラビアなどの国からの生徒が受講していました。授業は講義形式ですが、実践も踏まえた練習問題などにも授業中に行いました。このクラスは週に二回、75 分授業でした。

**Introduction to Art** は芸術の基礎や歴史について学ぶものでした。生徒数は 80 人程度で国籍はほぼアメリカ人でした。このクラスは講義形式です。この授業は週に 3 回で、各 50 分授業でした。

**World religion** は世界の諸宗教の特徴や教義について学ぶクラスでした。クラスは 70 人ほどのクラスで、国籍はほぼアメリカ人でした。この授業は講義形式です。この授業は週二回、各 75 分



**Elementary Korean** は韓国語の初歩について学ぶ授業でした。国籍主にアメリカ人、そして台湾人もいました。

クラス人数は 15 人ほどの少人数でした。このクラスの授業時間割は他とは違い、週に四回、各 50 分でした。

### III. 留学で得た学習成果

英語の学習面では特に会話の能力が向上したと感じました。現地のネイティブの英語にじかに触れることで英語が実際どのように使われるのかを学び、そしてほかの留学生との会話で常に刺激を受けることで、自分のスピーキングに何が足りないのかを分析し、スピーキング能力の向上に役立てました。

アメリカを含む世界各国からの生徒と交流することで、自分とは異なった考え方、見方をする人が多いことに気が付きました。相手の考え方を否定せず、お互いに尊重して受け入れて共存していくことが異文化間での円滑なコミュニケーションを築く上で大切だということを知りました。実際に経験すると難しく感じましたが、今回の留学において実践で学ぶことができたのはとても大きかったと思います。

また、異文化に長時間触れることで、どのように異文化に適応していけばよいのかを学びました。なかなか最初はうまくなじめずに苦労しましたが時間をかけコツをつかんでいくうちに、すべてを合わせる必要はなく、自分の個性として違いを認めていくことや、そのためにはどうしたらいいのかと、自分の行動の仕方を考えるようになりました。日本以外の様々な考え方、文化を持つ人たちと親しくなっていく中で、他国の考え方を積極的に取り込むことができました。日本にいただけでは気が付かなかった、新しい考え方に触れていくことは、自分のそれまで持っていた考え方を大きく変化させ、留学前よりも余裕をもって、またしっかりとした意志と発言をもっていくことを重視するようになりました。

### IV. その他気づいたこと

留学が始まったばかりのころは不安でやっていけるのかという思いでいっぱいでしたが、この留学を終えることで、たくさんの方に気づき、そして学ぶことができました。支援をいただき本当にありがとうございました。この留学で得た経験は、いいことも苦いものも含め、すべて私の糧となることを確信しております。

留学種別	TESS II
留学先大学	ペンシルバニア州立インディアナ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

はじめに履修登録については履修登録日に学内の図書館にて他の留学生とともに一斉にパソコンから登録をしました。NUFSの規定と現地の大学の規定を照らし合わせ、半期で12単位ぶん、計4科目を履修しました。はじめに3つ受けていたEnglishコースの授業についてですが、まずEnglish Compositionというクラスは留学生のみが対象の授業で、主にライティングについて学びました。国籍については様々で、自分を含め、日本や韓国、台湾やサウジアラビアやフランスなど各国からの留学生が集まり、約25人のクラスでした。毎週火曜日と木曜日、75分を週2コマで、教授によるスライドやプリントなどをもとにディスカッションや自由発言等も交えた授業形式で、フォーマルな文章のみではなく現地の学生に向けた記事を書くなど、伝えたい文の表し方に焦点を当てて授業が行われました。次にPublic Speakingという授業ですがこの授業は計20人ほどで、私と台湾からの2人の留学生を除いて、全員がアメリカの学生でした。50分間が月曜、水曜、金曜と週3コマで、映画や小説などから学ぶ公共の場でのスピーチの仕方についてディスカッションをしたり、さらに一人ずつ全員の前で短いスピーチを行ったりなど、大勢の前で話すことや自分の意見を述べることなどの積極性を高めることを目的とした授業でした。3つ目はFilm Studyという授業で、これは映画を授業内でも授業外でも鑑賞し、それについて映画の編集や演出など細かいところまでこだわった分析を、クラス内ではディスカッション、クラス外では毎週レポートとしてまとめて提出するという形でした。この授業は150分の毎週木曜日のみで、私と韓国、台湾からの留学生3人以外は全員アメリカの学生でした。映画を母語以外の言語で見ることや、さらにそれらを専門的観点から分析して言葉にするということは非常に難しかったですが、この授業を通して今まで見たことのない側面から映画を見る面白さを知ることができました。

もう一つ履修していたのは中国語の授業です。私はNUFSにて中国語を3年半学習済みだったので、留学中も引き続き勉強したいと思い、初級中級と2クラスある中からレベルの高いほうの授業を選択しました。はじめ履修登録の際には、前のレベルの授業の単位を取った生徒のみしか上のレベルの授業は取れないということだったため、教授のオフィスに直接行き、口頭や読みなどの確認テストを受けたのち、履修が許可されました。授業については教授により指定された教科書を使用して、50分間の授業を毎週月曜、火曜、水曜、金曜の週4コマ、4人のアメリカ人の学生とともに学習しました。授業は教科書を主として進められましたが、教科書のトピックに関連した内容について、教授が付け加えて覚えておくことや、実際に中国で使われている実用的な表現などホワイトボードを使って説明し、さらに読む、書く以外に聞くことや話す機会が多く設けられた授業でした。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

正直はじめはネイティブの英語の速さに全くついていけず、本当に自分が学部の授業についていけるのか不安でいっぱい、ESLに変更しようとも考えました。たくさんの方に相談し、たくさん悩みました。しかしいただいたアドバイスや自分の留学での達成目標をもう一度見つめ、学部で力を伸ばしていくことに決めました。履修した後も不安でいっぱいでしたが、授業で

知り合ったアメリカの学生と友達になれたり、その人達と会話をしていく中で徐々に自信が持てるようになり、前向きに考えることができるようになりました。とは言っても自分の英語力はまだまだ未熟で、自分が伝えたいことを思うように表現出来ない時もあり、悔しくて涙する日はたくさんありました。けれど周りの励ましにも支えられ、積極的に教授のオフィスアワーを尋ねたり、毎日目の前のことに全力で取り組んだり、絶対にあきらめることなく、目標に向かってひたすら努力をすることができました。気づけば最初は全く聞き取れず、何度も聞き返していた自分が、完璧ではなくても相手の言っていることを理解して返答ができるようになりました。当たり前のことですが、授業は遅刻欠席等一度もすることなく、毎日真剣に取り組むことができ、毎回の授業で得た小さなことも積み重なって、今では自分自身でもたくさんのことを吸収でき、成長したと感じています。また、私は将来英語の教員になることが夢なので、それぞれの教授の授業の仕方についても注目していました。言語の学びに関してはやはり話すことを重点的に行うことで力を伸ばしていけると感じたし、そのほか学生たちが自由に発言できるような雰囲気を作ることで伸びのびと学ぶことができるとも感じました。留学中に現地の学生と話したり、一緒に授業を受けたりすることで自分自身が成長できたのと同時に、これら学んだことを将来の自分の生徒にどのように生かしていくかも考えることができ、とても充実した4か月となりました。

#### IV. その他気づいたこと

これはあくまで私個人の意見ですが、学部で授業を受けたことで、現地の学生との交流の機会が増えました。それにより、もちろん英語を使う機会も多くなりました。私をはじめ迷っていた **ESL** のコースだとアメリカ人の学生は一切いません。他国から同じく留学に来ている留学生とは交流できますが、ネイティブではないため、現地の人を使う実用的な英語を学ぶ機会は、学部を受けている留学生よりも少ないと感じました。もちろん他の留学生との会話もすべて英語ですが、英語を母語とする人達以外との会話ばかりになってしまうと限られた範囲の英語力のみで

留学種別	TESSⅢ
留学先大学	ペンシルバニア州立インディアナ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

Hospitality Management 専攻で、Introduction to Art, Basic French, Introduction to Hospitality Industry, Food Service Operations, Critiquing Commercial Restaurants の5科目を履修しました。留学生は、履修する科目に関して特に制限はありませんでした。基本的に、自分の専攻に関わらず、自分の履修したい科目を自由に履修することができます。自分で学校のホームページから履修したい科目を探して時間割を組み、それについて自分のアドバイザーの先生と相談してから実際に履修という流れでした。前期の履修登録は、他の留学生と共に校内のコンピュータで行いました。

1クラスの人数は授業によって変わりますが、多くても100人以下だと思います。大人数編成の授業はあまりなく、先生と生徒の距離も近いです。学部授業を履修した場合、周りは現地の学生ばかりになります。留学生と同じ授業を取ることはあまりありません。多くても1人か2人一緒になるくらいです。ですから、アジア人は圧倒的に少数派です。

時間割は外大と大きく違います。まずコマが、50分です。75分授業や、2時間半の授業もあるそうですが、私が履修していた授業のほとんどが50分授業でした。そのため、同じ授業が週に2、3回あります。言語の授業に関しては、週に4回受けていました。1日に受ける授業は大体3、4つです。外大よりも自由時間が多く取れていた気がします。その自由時間を課題などにあてることができるので、その点は良かったと思います。

授業の形式は外大と同じレクチャー形式です。ただ、先生と生徒の意見交換の場が多く設けられていたように感じました。生徒自ら意見を述べたり、先生が生徒に問いかけたり、ペアワークやグループワークも多いです。そういった部分は外大の授業ではあまり味わえないので、新鮮でした。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

後期も Hospitality Management 専攻で、Cultural Anthropology, Ancient to Medieval (美術の歴史の授業), International Tourism, Elementary Korean の4科目履修しました。履修登録方法は前期と違い、自身のパソコンを使って行いました。履修登録の期間内に、自身で時間割を組み、アドバイザーの先生と相談してから登録という流れは変わりませんでした。

クラス構成、時間割、授業形式は前期と特に変わりません。

### III. 留学で得た学習成果

留学先での学習を通して、自分に自信がついたと思います。初めは、現地の学生に混じって授業を受けることに対して不安しかありませんでした。果たして自分に、現地の学生と同じ授業を受けて課題をこなし、成績をきちんと取るだけの能力があるのかということばかり考えてしまい、プレッシャーに感じていました。しかし実際に取り組んでみると、自分の出来ることと、出来ないことがよく分かり、自己分析にもつながりましたし、自分ができることに対しては自信もついたので、逃げずに取り組んで良かったと思っています。また、現地学生とのペアワークやグループワークは、その課題の内容について理解を深めることができる他、自分のコミュニケーション能力の向上にもつながるいい機会でした。私は授業内で発言ができるほど積極的ではないのですが、ペアワークやグループワークは少人数なので自分の意見も伝えやすいし、自分が何か貢献できると達成感もより得ることができます。ペアワークやグループワークを通して、英語

でコミュニケーションをとることに対して自信ができました。

#### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	ペンシルバニア州立インディアナ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

私は ALI という大学内の語学学校に行っていました。授業が始まる前に英語のテストがあり、クラス分けがありました。授業は **Listening, Writing, Reading, Speaking** それぞれに加えて、アメリカの文化を学べる授業や現地の大学生と課題などをしたり、分からないことを質問したりする授業もあります。語学学校の場合、勝手に授業は登録されていたので、登録の必要はありませんでした。国籍や人数はクラスによってバラバラでしたが、だいたい5～10人くらいで、中国国籍の生徒が多く、日本人は1、2人でした。授業は朝の9時半からお昼休憩を挟んで、夕方4時半まであります。金～日の授業はありません。授業形式は、講義形式のものが多く、数回全員で議論したり、自分の意見を述べたりするような回もありました。課題はほぼ毎回出るので多かったです、プレゼンテーションもたくさんする機会があり、練習になりました。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

2期になり語学学校と学部を半分ずつ受けることができる **Bridge** というプログラムに移行しました。このプログラムに移行するには前の学期の最後にある **TOEFL** のスコアが指定された点数を超えなければいけません。

語学学校半分と学部2授業を受けることができ、履修登録は自分でする必要があります。パソコンで簡単に自分の取りたい授業を検索して登録することができます。語学学校の後期は前期とあまり変わりはなく、人数が前期より減ったので、少人数制にはなりました。一人一人の発言する機会が増えたように思います。学部は **Sociology** と **Writing** の授業を取りました。**Sociology** のクラスは、興味があり取ってみようと思いました。40人くらいの講義形式の授業で先生がパワーポイントを使って授業をしてくださるのをノートを取りながら受けていました。毎週250字程度のレポートや定期的なテストもありましたが、アメリカの社会学がとても面白くてためになりました。**Writing** のクラスは留学生専用のクラスで、ネイティブの人はいませんでした。語学学校では **Writing** の基礎を学び、このクラスではその習ったことをフルに使って自分の経験や社会問題などを取り上げ、意見を書くというものでした。

### III. 留学で得た学習成果

留学前は英語を話すことに対して抵抗や恥ずかしさがありましたが、留学を経験してそれは無くなったと思います。自分がちゃんと話さない当たり前ですがコミュニケーションが取れませんし、授業がうまく回らない感じがしました。間違いや通じないことを恐れなくて、直してもらうためと思って話すくらいが一番モチベーションが上がると思いました。プレゼンテーションなどでも同じで、自分の伝えたいことやメインとなる情報をちゃんと聞き手に伝えないと、という責任感が強くなったと思います。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	リンゼイウィルソン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

1学期は、学部授業3クラスと ESL が2クラスあった。学部授業は、**Rec, Tour, Sport Management, Intro Communication, Reading Fundamentals** の3科目である。ESL は、**Reading & Writing** と **Speaking & Listening** というように分けて開講されている。それぞれ2～30人ほどのクラスであり、様々な国の学生や現地の学生と共に講義を受けており、講義形式であった。履修等登録方法は、アドバイザーと話し合い、自身の英語レベルに合わせて履修する科目を決定し、その後、**Registration Office** にて専用の用紙に履修科目を提出し、登録を行った。時間割は、月、水、金曜に開講される科目と火、木に開講される科目に分かれている。月、水、金曜の科目は50分間。火、木曜の科目は、75分間の授業である。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

2期からは全ての履修科目をテスト等なしに、学部授業で登録することができた。しかし、日本人学生によっては、アドバイザーが ESL が必要と判断した生徒のみ ESL も履修させていた。私が履修した科目は、ビジネス科目3つ、リーディング科目1つ、ライフプランの科目1つである。ビジネス科目は、**Principles of marketing, Intro Management, Compensation & Benefits** である。リーディングは **College Reading II**, ライフプランの科目は、**Strategies for Success** である。履修登録方法は、1期同様アドバイザーと相談して履修を組み、ポータルにて登録した。前期同様、1クラスあたり2～30人ほどの生徒が受講しており、どの講義も多国籍である。授業形式は、前期と変わらず講義形式だ。時間割についても、前期と同様であった。

### III. 留学で得た学習成果

この留学では、新たに多くの事について学べたと感じている。例えば、コミュニケーションの授業では、その国ならではのコミュニケーションの文化や言葉の持つ強さについて学べた。また、ビジネスの授業では、今まで知りえなかった新たな理論や戦略、また、アメリカのビジネスについて学ぶことができた。課題や講義中でも考える時間が多く、様々な物事に対して考える習慣が身についた。

### IV. その他気づいたこと

居眠りしている学生が全くと言っていいほどおらず、それぞれ真剣に講義を受けていたことに感銘を受けた。また、授業中や授業後に質問や自身の意見を述べる学生も多く見受けられ、他の学生の熱心な姿勢に私も大きく影響を受けた。

留学種別	認定
留学先大学	南カリフォルニア大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

私は **intensive english program** というコースに参加し、英語を主に勉強してきました。リーディングとライティング、文法の3つを軸にしている **RWG** クラスと、リスニングやスピーキングを軸にした **OS** クラス、そして2つのクラスに加えビジネス英語を軸としたフォーカスクラスで勉強してきました。履修は **RWG** と **OS** は事前にクラス分けテストを行い、その結果により1～7に振り分けられます。フォーカスは様々なレベルがあり、自分が該当するレベルのものしか受講できないシステムとなっていました。どのクラスも大体20人程度の学生がおり、国籍も様々ではありものの、中国人とクエート人が多かったです。授業は基本的に午後 **12:45** から始まり、**17** 時に終わります。ほとんどの授業が参加型の授業であり、グループワークやゲームなどもありとても身になる習い方であったと思います。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

日本では聞かないような、本場の英語であったり、表現を学べました。それに加え、四六時中英語での会話により、今までよりも格段と英語が出やすくなったと思います。

### IV. その他気づいたこと



留学種別	TESS II
留学先大学	ウィンチェスター大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

コース名 : International Foundation Program

授業科目 : English for Academic Purposes(EAP), General English(GE), Group Tutorial(GT), Introduction to Business Studies(Business).

履修登録方法 : 最後のものは選択で、その他はプログラムとして組み込まれている。

クラス構成 : 15人の少人数生。パキスタン1、インド1、フィリピン1、香港1、日本10、不明1。

一週間の時間割 : EAP9時間、GE3時間、GT3時間、Business3時間。

授業形式 : 参加方で、先生と生徒の距離が近い。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

コース名 : International Foundation Program

授業科目 : English for Academic Purposes(EAP), General English(GE), Group Tutorial(GT), Introduction to Business Studies(Business).

履修登録方法 : 最後のものは選択で、その他はプログラムとして組み込まれている。

クラス構成 : 15人の少人数生。パキスタン1、インド1、フィリピン1、香港1、日本8、不明1。

一週間の時間割 : EAP9時間、GE3時間、GT3時間、Business3時間。

授業形式 : 参加方で、先生と生徒の距離が近い。

### III. 留学で得た学習成果

リスニング力。英語での文章作成力。クリティカルシンキング。

### IV. その他気づいたこと

リーディング力・スピーキング力はある程度勉強してから、授業に臨んだ方が伸びる。

留学種別	TESS II
留学先大学	ウィンチェスター大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

- ・ International Foundation Programme
- ・ English for Academic Purposes, General English, Group Tutorial, Art
- ・ 15人（日本10人、香港1人、フィリピン1人、インド1人、パキスタン1人、イエメン1人）
- ・ EAP 90分×6コマ、General English 90分×2コマ、Group Tutorial 90分×2コマ、Art 90分×2コマ
- ・ ゼミ形式

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

- ・ 積極的にグループワークに取り込む意欲の向上
- ・ プレゼンテーションのスキルの向上
- ・ 英語を話すことの躊躇いがなくなったこと
- ・ 柔軟に英語を話せるようになったこと
- ・ アカデミックで実践的な英単語や表現を学習したこと
- ・ 英語コースのみでなく、イギリスの歴史や文化についても学習できたこと

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	ウィンチェスター大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

コース内容 (4科目):

1. English Academic Purposes (EAP)
2. General English (GE)
3. Arts in Britain (選択授業)
4. Tutorial (TUT)

履修登録方法

基本的に決まっており、ビジネスかアートの授業だけは選択し、オリエンテーションで紙に書いて提出

クラス人数、国籍:

15人 (香港人1人、フィリピン人1人、パキスタン人1人、インド人1人、イエメン人1人、日本人10人)

一週間の授業時間割:

月曜日

9:00~10:30 EAP

11:00~12:30 GE

15:00~16:30 ARTS

火曜日

9:00~10:30 EAP

10:30~12:00 TUT

13:00~14:30 EAP

15:30~17:00 GE

水曜日

9:00~10:30 EAP

11:00~12:30 ARTS

木曜日

11:00~12:30 EAP

13:30~15:00 TUT

16:00~17:30 EAP

金曜日 全休

授業形式: ゼミ形式

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

私の留学の目標は、ゼミの延長線上での留学でした。ゼミはメディアのゼミに所属していますが、イギリスのことについて学ぶことがよくあったり、メディアを学ぶだけでなくクリティカルシンキングで物事を考えたりするなどがありました。今回の留学ではゼミの延長線上として本当にたくさんの吸収があったと思っています。例えば、EAPの授業では、プレゼンテーションが自由テーマであったので、イギリスと日本のジャーナリズムについて比較するテーマにし

たり、tutorial の授業では、ディスカッションとして、Euthanasia についてやったのですが、2年生の頃にゼミの先生が行う ASE の授業で安楽死について肯定か否定かのディスカッションをした経験があったため、知識が他の人よりも多い状態から準備始めることができましたし、ディスカッション本番の内容も、国際色豊かなクラスのみならずとディスカッションしたので、日本で日本人のみでやった時では得られない意見を聞くことができ、本当に新鮮でした。Art in Britain の授業では、実際にイギリスの知識を深めることができる授業で、あらゆる分野について理解が深まりましたし、絵画の勉強したときは、学んだことを目からも記憶ために、課外学習としてクラスでロンドンの美術館に行き、学んだ絵画を鑑賞し、教養をつけることができました。また、同じ授業での個人プレゼンテーションでは、イギリス出身の人のイギリスにした貢献を取り上げる

プレゼンテーションをしなければならなかったもので、私はゼミで触れたことのあるルイスキャロルの不思議の国のアリスにテーマを決め、元ある知識から深めながら、自分なりのプレゼンテーションをすることができました。また、土日に自分自身で、ルイスキャロルのゆかりのある街であるオックスフォードに訪れ、実際に見て学ぶことができ、教養をつけることができたと思っています。このように、目的通りの留学をできたと思うので、とてもいい留学であったと思います。

#### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	ウィンチェスター大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

- ・ IFP(International Foundation Programme)
- ・ EAP (English for Academic Purposes), Art, Tutorial
- ・ Art は選択制 (Media・Business も含まれる)、時間割はすでに学校側から決められています。最初の授業で選択授業のアンケートをとり、先生が決めます。
- ・ 15人 (日本人 10人、インド、イエメン、パキスタン、ネパール、フィリピン出身の生徒がそれぞれ1人)
- ・ 金曜休み、月曜から木曜日は一日 2 コマから 3 コマほど
- ・ 少人数制、ゼミ形式、数回学部授業に参加

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

- ・ IFP(International Foundation Programme)
- ・ EAP (English for Academic Purposes), Art, Tutorial
- ・ Business は選択制 (Media・Art も含まれる)、時間割はすでに学校側から決められています。最初の授業で選択授業のアンケートをとり、先生が決めます。
- ・ 12人 (日本人 8人、インド、イエメン、パキスタン、ネパール、フィリピン出身の生徒がそれぞれ1人)
- ・ 金曜休み、月曜から木曜日は一日 2 コマから 3 コマほど
- ・ 少人数制、ゼミ形式、数回学部授業に参加

### III. 留学で得た学習成果

想像以上に高いレベルの授業から基礎的なことまでしっかりと学ぶことが出来、総合的な英語の力を身につけることが出来ました。授業を通してコミュニケーション能力、グループ活動でのリーダーシップや協調性、国際的な価値観の違いや英語による様々な問題を解決する力もつきます。課題は1年を通してたくさん出され、学部授業に比べると授業数も多いですが、その分本当にみっちり英語を学ぶことが出来ます。学部授業に参加できないのが少し残念だと思っていましたが、授業のレベルは2期になれば学部授業、もしくはその上のレベルにまで上がる気がします。理由は、実際に犯罪学やスポーツの授業を受けた時に(授業の一環で)普段の授業よりも簡単に思えたからです。決められたコースだから簡単に合格がもらえるのではないかと心のどこかで思っていましたが、最後の試験はとても難しく、くじけそうになりました。1年の日々の積み重ねによって、合格した時にはC1レベルの評定をいただくことが出来ました。とにかく、日ごろから課題が多く出されるので、課題をこなせば絶対に力がつくコースだと思いました。

### IV. その他気づいたこと

授業や日々の生活を通して、英語力だけでなく、様々な力を得ることが出来る環境です。サークルやアルバイトもできる環境だったのですが、勉強に追われてなかなかそちらに力を入れることが出来ませんでした。しかし、学校の支援も厚く、その気になればたくさんのチャンスを得ることが出来ます。

得ることが出来るし、日本の大学では体験できないような多くの経験を積むことが出来ると思います。英語を極めたい人、イギリスの歴史的文化を肌で感じたい人、安全な場所で勉強したい方、英語以外にも新しいことにチャレンジしてみたい方にはとってもおすすめの学校です！！

留学種別	TESSⅢ
留学先大学	オックスフォードブルックス大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### University English level 3

履修登録不要

クラス人数 20 人ほど（日本、中国、フランス、シリア、アルジェリア、サウジアラビア）

Monday: Academic research 9am-1pm

Tuesday: Academic listening & speaking 9am-1pm

Wednesday: Academic writing 9am-1pm

Thursday: Academic reading 9am-1pm

全てグループワーク込みの、教科書を使った講義形式

金曜日のみ 9 時から 11 時で、毎週さまざまな分野の先生たちが講義を行う

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

#### 学部授業

University English からコース変更のためには、全科目をパス（40%以上）が必要

履修登録は冬休み中にネットで行う

Monday: The Faith of the West 1pm-2pm lecture, 4pm-5pm seminar

Headington campus

大学1年生向けの授業、30人ほど（私以外は全員ネイティブ）

Headington campus

Wednesday: Essential Academic Writing 1pm-4pm

大学1年生向けの授業、6人（日本、アイルランド、イタリア、エジプト）

Headington campus

Thursday: Understanding Culture 5pm-7pm lecture & group discussion

Harcourt hill campus

大学1年生向けの授業、100人ほどが登録しているが出席率は低かった

Friday: Language Acquisition 10am-11am lecture, 11am-12am seminar

Harcourt hill campus

大学1年生向けの授業、50人ほど

### III. 留学で得た学習成果

1学期目では主に英語のアカデミックスタイルについて学びました。私は NUFFS で日本語学科に在籍しているため英語の授業が少なく知識が不足していたため、University English は非常にためになりました。また、授業中にこのコースが力を入れていたのは、適切な資料を探す方法と盗作を避ける方法です。膨大なデータベースの中から、自分のテーマにぴったりの資料を探すために注目すべきポイントを知ることができました。日本ではウェブサイト等をコピー&ペーストして提出する生徒を見つけるのが大変ですが、留学先大学では Turnitin というシステムを使って類似点の多さを調べることができるので、非常に盗作に厳しいと言えます。どのように自分の言葉で言い換えるかについて繰り返し練習し、身につけることができたことに満足しています。授業の内容以外で成長したことは、時間管理能力です。毎日、午前中に授業があり午後が空くという生活だったため、その日に出た宿題をなるべくその日に終わらせる習慣をつけること

ができました。

2 学期目は学部授業にコース変更しました。水曜日の授業は英語非母語話者向けの授業でしたが、その他はネイティブと同じように受講しました。毎週資料を読んできた予習があったため、さまざまなトピックに英語で触れる良い機会になりました。金曜日の授業は言語学だったので **NUFS** で学んだ予備知識がありましたが、月曜日のキリスト教の歴史と木曜日の文化についての授業は専門ではなかったため、新しい価値観を知ることができ成長したのではないかと考えています。

#### IV. その他気づいたこと

全体的には、教育の質の高さと生徒の意識の高さが印象的でした。**24 時間利用可能な図書館**、分野ごとに推奨されている豊富なデータベースを使って効率的に学習することができました。特に図書館は **quiet space** といういつでも静かに勉強できる部屋、ディスカッションができる大きな机のある部屋、プレゼンテーションの準備ができる大きなスクリーン付きの予約制の部屋など目的に合わせて勉強する場所を選ぶことができたので助かりました。



留学種別	認定
留学先大学	オックスフォードブルックス大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### ・ University English

- ・ **week 0 (歓迎 week)**にて履修登録がされているか、確認する。履修は大学側がしてくれてる。
- ・ クラスはレベル別で0-3。レベルが上がるにつれ難易度が上がる。私は、レベル 2 に在籍し、中国人2、日本人1、タイ人1、トルコ人1、スペイン人1、アルジェリア人1、サウジアラビア人1
- ・ 月から金曜日、毎日9-13時まで授業
- ・ 中学や高校の授業に似た形式。聞いて、考えて、答える。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

- ・ 前期のテストで60%を超えると **under graduate** というコースにあがれる。
- ・ **undergraduate**
- ・ 自分で **moodle** を使い履修する。最大 4 つまで授業をとることが可能。それ以外に一つ言語も学ぶことができる。
- ・ 多くの授業が抗議型でクラスは20-40人程度
- ・ 履修によるが、一授業3時間程度
- ・ 抗議型

### III. 留学で得た学習成果

留学中、外大では学ぶことのできない **subject** を履修することで、新しいことにチャレンジできた。また、課題は **essay** が多く、文章を書くことになれた。

### IV. その他気づいたこと

じぶんが何をしたか、そこに留学する意味があると思う。今留学したいと思っている人は、英語力を上げたいという理由かもしれないが、それ以外の理由もあったほうがいいと思う。

留学種別	TESS II
留学先大学	オックスフォードブルックス大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

- ・ University English Level2
- ・ Writing, Listening and Speaking, Language Development(文法) , Reading, Lecture。全て Academic English です。
- ・履修登録は自動でされており、ポータル上での手続きだけ、先生に教えてもらう時間が授業開始前に設けられていました。
- ・計18人です。10人サウジアラビア人、2人日本人、2人中国人、1人アルジェリア人、1人イラン人、1人タイ人、1人スペイン人。
- ・月曜から木曜まで9時から13時。金曜は11時までです。1日1科目上記にかいた順番で習います。
- ・Lecture 以外はゼミ形式でした。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

・2期に語学コースから学部へ切り替わりました。語学コースの授業それぞれ60%以上の成績をとることが条件でした。/

- ・ Modular Associate
- ・ essential Academic Writing。5人ほどで、3人日本人、1人アイルランド人、1人イタリア人水曜13時から16時まで。講義形式という名のゼミ形式。

Introduction to Japanese Society and Culture,  
140人ほど。国籍は日本人10人未満、イギリス人など。金曜11時から13時まで。講義形式。

Spanish A(2)1,  
35人ほど。国籍は様々で、イギリス人やイタリア人など。木曜9時から12時まで。ゼミ形式。

Understanding Culture  
100人ほど。国籍は日本人が10人未満とイギリス人など。木曜17時から19時まで。講義形式。

### III. 留学で得た学習成果

1期では Understanding Culture Level2 のクラスで1番の成績を取りました。毎日勉強は欠かさなかったのですが、アカデミックな英語は成長したように感じます。Writing や文法のクラスで、それぞれ毎週200文字から300文字程度の課題を提出したり、4週目と8週目、12週目に約1000文字程度のエッセイやレポートを書くなどかなりの量をかきました。文法のクラスも内容は簡単でしたが、一通り復習できたので、しっかりと確実に基礎を固められたと思います。Listening と Speaking のクラスでも、3回ほど5分ぐらいのプレゼンをするという初めての挑戦をし、場慣れしたとともに必要なスキルを身につけられました。また、クラスメート18人中私ともう1人のみ日本人だったので、休憩時間やディスカッションの時間でも英語を話せて、よかったです。

2期の学部授業は、1週間に3日だったので、自由な時間が増えて、より充実した時間を過ごすことができました。1000文字や2000文字のエッセイを書くために難しい単語の文献をたくさん読む必要があったので、英語の長文は怯むことがなくなりました。私は、講義を中心に取

り、プレゼンやディスカッションをしなかったので、比較的ついていきやすかったです。どの講義でも日本に比べて発言する人が多く、これから発言をする自信ができました。

#### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	オックスフォードブルックス大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

#### University English

授業科目

Research study

Speaking and Listening

Writing

Reading

Lecture Study

事前に自動登録済み

クラス構成

20人クラス(サウジアラビア 8人, 日本 6人, 中国 3人, タイ 2人, トルコ, イスラエル 各1人)

月 9:00-13:00 Research Study

火 9:00-13:00 Speaking and Listening

水 9:00-13:00 Writing

木 9:00-13:00 Reading

金 9:00-11:00 Lecture

講義形式 日本の大学と同様

### III. 留学で得た学習成果

留學生活での授業を通して、基本的なアカデミックイングリッシュの知識だけでなく、英語での論文の書き方、加えてプレゼンテーションの仕方を学びました。

また、国際的なクラスであったため、文化的な違いや習慣、価値観の違いも学ぶことができました。

### IV. その他気づいたこと

授業形式は、日本の大学ととても似ていました。

留学種別	TESS II
留学先大学	オックスフォードブルックス大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### ・コース内容

授業は単位変換できるようなもの（日本の講義と似ているもの）をこちらで履修しています。

**Understanding Media (メディア論)**

**Social Differences and Divisions (ジェンダー論)**

**Europe and the World 1450-1750 (ヨーロッパ研究)**

**Investigating Communication, Media and Culture (国際コミュニケーション)等**

#### ・クラス人数、国籍

クラスによって様々ですが、小さな教室で行われる7人程度のものから大ホールで行われる100人単位のものまで

国籍は全世界から集まっています

#### ・一週間の時間割

月曜日：メディア論

火曜日：国際コミュニケーション

水曜日：ジェンダー論・ヨーロッパ研究

木曜日：自学自習

金曜日：自学自習

・使用教科者は主に **amazon** で本を購入するか、図書館のものを借りる（教授によってはスライド形式のものも有）

・講義形式・ゼミ形式 両方有り、大講義の後にグループに分かれセミナーを行うことでより理解を深めたり、質問・発言する場を設ける

・学習環境 図書館が24時間体制でとても整っている

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

#### ・コース内容

授業は単位変換できるようなもの（日本の講義と似ているもの）をこちらで履修しています。

**Management in International Hospitality and Tourism (ツーリズム論)**

**Essential Academic Writing (英書購読)**

**Global Governance and Civil Society (ASE/Governance)**

**Introduction to Japanese Society and Culture (カルチュラル・スタディーズ)等**

#### ・クラス人数、国籍

クラスによって様々ですが、小さな教室で行われる7人程度のものから大ホールで行われる100人単位のものまで

国籍は全世界から集まっています

#### ・一週間の時間割

月曜日：ツーリズム論

火曜日：自学自習

水曜日：英書購読

木曜日：自学自習

金曜日：**Governance**/カルチュラル・スタディーズ

・使用教科者は主に **amazon** で本を購入するか、図書館のものを借りる（教授によってはスライ

ド形式のものも有)

- ・講義形式・ゼミ形式 両方有り、大講義の後にグループに分かれセミナーを行うことでより理解を深めたり、質問・発言する場を設ける
- ・学習環境 図書館が24時間体制でとても整っている

### Ⅲ. 留学で得た学習成果

オックスフォード・ブルックスは、大多数が留学生といったこともあり、様々な視点からの意見を聞けること、またディスカッションへの積極性の違いを感じることができてとても面白いです。課題がとても多いので、計画的に進めていく力が自然と身につきました。成長した点としては、異文化理解において自分がどういった姿勢で相手と向き合うかについてです。自分の意見を聞いてもらう・伝える以前に相手を受け入れる・相手の話を聞く。そういった点で自分の考え方が変わりました。

### Ⅳ. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	オックスフォードブルックス大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### University English

出国前に決定する。

約20名、日本人、中国人、タイ人、サウジアラビア人、トルコ人、イスラエル人

月：Academic research (4時間、ゼミ形式)

火：Academic listening and speaking (4時間、ゼミ形式)

水：Academic writing (4時間、ゼミ形式)

木：Academic reading (4時間、ゼミ形式)

金：lecture (2時間、講義形式)

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

#### Undergraduate course

自分が決めた科目を PIP という自分の個人情報があるページの module に書き込んで提出する。

①contemporary composition (水 13:00-16:00)

20名ほど。イギリス人、その他正規生

ゼミ形式

②Modern British Art (木 13:00-16:00)

40名ほど。イギリス人、その他正規生徒

講義形式

③Understanding Culture (木 17:00-19:00)

100名ほど。イギリス人、その他正規生徒

講義形式

④French A-2 (金 9:00-12:00)

15名ほど。イギリス人、その他正規生徒

ゼミ形式

### III. 留学で得た学習成果

- ・英語でなんとかコミュニケーションを取ろうとする姿勢と勇気
- ・レポートやエッセイの英語での書き方
- ・イギリス人などが持つ日本人とは異なる感覚のちがい
- ・授業参加姿勢のちがい

### IV. その他気づいたこと

学部授業は、現地の輪に入りにくい。日本人と違って、声をかけてくれるわけでもなく、それが、故意的に行っているわけでもないの、自分で話しかけに行くしかない。

また、1st semester で UE を履修すると、2nd semester での学部授業の時に、クラスが出

来上がっていることがおおいので、そこで、あせって落ち込まないこと。無理に馴染む必要はないので、学外でコミュニティを見つけるのも手だと思う。



留学種別	TESSⅢ
留学先大学	オックスフォードブルックス大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### ・ University English

- ・ Academic writing, Academic reading, Academic research, Academic listening & speaking
- ・ UE は自動的に履修が組まれます
- ・ 20人（日本6人、中国3人、タイ2人、サウジアラビア7人、トルコ1人、イスラエル1人）
- ・ 月 research、火 L&S、水 writing、木 reading、金 lectura
- ・ 月~木講義形式（9~13時）、金レクチャー（9~11時）

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

UE のクラスでは、大学で使うアカデミック英語を基礎から学習しました。エッセイの書き方や論文の読み方、ネットや図書館のシステムを使ってのリサーチの仕方、レポートの作成方法などを身につけました。特に、リサーチのクラスでは、自分でトピックを決め、データを集め、レポートを完成させました。初めてのレポートだったので、英語の記事からデータやソースを探したり、トピックについて細かく調べていくことは大変だったけれど、自分の興味のあるトピックについての知識を深めることができましたと感じます。また、すべてのクラスを通じて引用や盗用について、何度も厳しく注意され、引用や参考文献などを正しく使うことができるようになりました。クラス内では年齢も国籍も異なるクラスメイトと毎日英語で会話するので、ディスカッション力や聞く力がついたと思います。

### IV. その他気づいたこと

特に引用や参考について厳しく感じました。

留学種別	TESS II
留学先大学	キール大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018 年度 2 期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1 学期目の学習状況

1.1.psychology-introduction of developmental and social psychology

2.psychology-natural,unnatural,supernatural

3.language- British cultural studies

4.language-English for academic purpose

#### 2.履修登録方法

送られてくるフォームに記入し PDF 化し、メールに添付して送る。その際ゼミ担当もしくは担当の先生の署名

が必要。または、留学先の担当の人に変更を申し出れば変更手続きができる。変更期間あり。

3.1.1 では 20 人前後のセミナーと 150 人近くのレクチャーがある週三回一時間。1.2 では 200 人規模のレクチャーで

週一回 2 時間。1.3 は 20 人前後で週一回二時間。1.4 は 10 人前後で週一回 2 時間

4.月-午後四時から二時間。火-午前九時から 11 時、午後 1 時から二時間。水-授業なし。木-午後四時から二時間。

金-午前 9 時から一時間。

1.1 以外基本的に講義形式で、1.1 は週に一回ゼミ形式の授業あり

### II. 2 学期目以降の学習状況 (1 年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

授業全体を通して、高度な英語力が必要とされていたので、学術的な英語やそれに準ずる文章の作成能力は向上した。また、授業態度において、留学前は授業に集中していたとは言えなかったが、留学先の授業内でのほかの生徒の授業態度などから自身のそういった態度が改善され一つ一つの授業に集中できるようになった。また、授業内容だけではなく、それに関連する知識などに興味を持ち、自ら進んでそれらについて調べるようになった。留学全体を通して、自主性、自立心など学業のみでなく、精神的にも成長することができた。

### IV. その他気づいたこと

学校図書が大規模で 24 時間であった。日本では見たことのないもので学校自体が生徒たちの学習環境に大きく貢献していて、日本においてももう少し学術的なサポートが充実しているのもいいのではと思った。また、日本において大学院に上がる人はごくわずかだが、留学先の大学で色々な人に話を聞くと、多くの人が大学院に上がりたい、他国で働きたいと言っていた。生徒自身の精神面での成熟が日本とは比べ物にならないものだった。

留学種別	TESS II
留学先大学	キール大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### Marketing Principles

週に一時間の講義（履修者全員 80 から 100 人程）とチュートリアル（10 人弱）が一回ずつ。講義はスライドをメインにマーケティングの基礎を学んだ。チュートリアルでは、講義で得た知識を使ってディスカッションを行いながら理解を深めた。

#### Families and House Holds: Diversity and Change

週に一時間の講義（履修者全員 50 人程度）とチュートリアル（10 弱）が一回ずつ。講義はスライドをメインに多様化する家族のスタイルを統計学を用いながら学んだ。チュートリアルでは、毎回事前に記事を読み、その内容をもとにディスカッションを行った。

#### Social Inequalities in the Contemporary World

週に一時間の講義（履修者全員 60 から 80 人程度）とチュートリアル（10 人弱）が一回ずつ。講義はスライドをメインに、現代社会に存在する様々な不平等・不公平、またそこから起きる問題などを学んだ。チュートリアルでは、ディスカッションを通じて、講義の内容を用いながら理解をさらに深めた。

#### English for Academic Purposes 4

週に二時間のクラス（ディスカッションや講義を含む）が一回（10 人弱）。留学生在がイギリス流のアカデミックスキルを身につけるための授業。プレゼンやエッセイの提出により、スピーキング、リスニング、ライティング、リーディングの四技能の向上に努めた。また、アカデミック語彙テストなどもあり、どのような場面で使用するのが適切かを学んだ。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

#### Consumer Behaviour 1

週に二時間の講義（履修者全員（留学生は数人）60 人程度）と一時間のチュートリアル（10 人弱）が一回ずつ。講義は主に前半と後半に分かれており、前半では、アカデミックスキルを向上させるための内容であった。主に、ライティングのスキルを中心に、正確で説得力のあるエッセイの書き方などを学んだ。後半は消費者行動についてスライドをメインに学んだ。スライドだけではなく、動画やクイズアプリなどを使うこともあった。チュートリアルでは、与えられた質問をもとに、ディスカッションを行いながら理解を深めた。

#### British Cultural Studies

週に二時間の講義（20 人程度）が一回。留学生在がイギリス文化や情勢、政治などを学ぶ。今回は大半がアメリカ人留学生であった。講義形式で、スライドを使った説明が大半を占めるが、グループワークとして動画制作なども行った。また、週に一回ジャーナルを書いて、復習を行った。

#### Intercultural Communications

週に一時間の講義（履修者全員（留学生は自分のみ）30 人程度）とチュートリアル（10 人程度）が一回ずつ。異文化間でのコミュニケーションを様々な視点から分析していく。その中には、文化的要素以外にも、環境問題や政治など、さまざまな事柄が関係している。グループプレゼンテーションを通じてチームワーク力も身につけた。

#### Spanish2

週に二時間のクラスが一回。（15 人程度）教科書、スライド、動画などを使用しながらライティング、スピーキング、リスニング、リーディングの四技能の向上に努めた。英語でスペイン語を学ぶことに抵抗は感じなかった。教員と一対一でのスピーキングテストでは、約五分間の間、プ

レゼント質疑応答を行った。

### English for Academic Purposes for postgraduate

週に二時間のクラスが一回。(15人程度)単位には換算されないが、自分の英語力を高める必要性を感じ、自ら交渉して参加した。四技能を向上させ、適切な論文の書き方や、意見の提示の仕方など。よりレベルの高い学術を学んだ。

### Ⅲ. 留学で得た学習成果

一学期は、毎日が試行錯誤であった。慣れないイギリス英語を聞き取ることにも精一杯で、授業になんとかついていくことは出来たが、ディスカッションに参加することが難しかった。また、効率の良い勉強方法を見つけるまでに時間がかかり、それまでは朝方まで勉強、睡眠をあまりとらずに過ごしていたため、体調にも影響した。また、日本とイギリスの学術は全く違うことを痛感し、エッセイの書き方には苦労した。

二学期は一学期の反省を含め、大学院生の講座に参加することにより、学術の差を縮めた。この授業は参加して本当によかったと思っている。記事の速読や、エッセイを書くことにも慣れ、段々と内容の質に集中できるようになり、最終課題のエッセイではクラス60人中(イギリス人学生)一桁の順位、高得点を取ることができた。一年間の成果が実際の結果となり、ここまで頑張ってきてよかったと心から思った。試験も二時間、エッセイスタイルで不安はあったが、十分な復習を行い、自信を持って終えることができ、安堵している。

キール大学の図書館は24時間開いており、他の施設も充実している。

図書館で朝方まで半泣きで勉強し、毎朝来る掃除のおばさんに心配されたことも、今ではよい経験である。辛かったことも多いが、学ぶことがとにかく楽しかった。

学業でも、連絡、報告、相談は留学成功の鍵となると思う。友人や教授に何でも話すと必ず力になってくれる。キール大学で一年間勉強できたことを光栄に思う。

### Ⅳ. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	セントラルランカシャー大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

コース名は **international business communication** で、授業科目名は、必須科目の **international business communication 3**、**managing international business for ibc**、**research methods** と、選択科目の **principles of hrm for ibc** がありました。必須科目は初めから決まっていて、選択科目だけを自分で選択し、専用の用紙に記入して履修登録しました。クラス構成は科目によって異なりますが、人数は 20 人程度で、ほとんど中国、日本、ドイツとフランスからの留学生で構成されていました。1 週間の時間割は、月曜日は **hrm** の **lecturer** が 1 時間と **seminar** が 2 時間で、火曜日は **managing** の **seminar** が 2 時間と **research methods** の **seminar** が 2 時間、水曜日は **communication** の **seminar** が 3 時間で、金曜日は **communication** の **lecturer** が 1 時間でした。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

2 期からは、選択科目の **principles of hrm for ibc** が **principles of hrd for ibc** に変わっただけであとはほとんど変わりませんでした。

### III. 留学で得た学習成果

**International business communication course** に入ったことで **global** な範囲で **business** をするための基本的な知識を学んだことと、科目によって課される **assignment** タイプが異なるので、**report** の書き方や、**dissertation** の書き方、**presentation** の仕方を学びました。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	セントラルランカシャー大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

- ・コース名称 : ELA (English Language Acedemy) course
- ・授業科目名 : Listening and Speaking, Writing and Reading
- ・履修登録方法 : 自動、先生が時間割、クラス分けを決める。
- ・クラス構成 (人数、国籍) : 日本人6名程度、中国人15名程度。
- ・一週間の授業時間割 : 計20時間程度
- ・授業形式 (講義形式、ゼミ形式など) : 教科書をもとに、解説とディスカッション。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

- ・コース名称 : ELA (English Language Acedemy) course
- ・授業科目名 : Listening and Speaking, Writing and Reading
- ・履修登録方法 : 自動、先生が時間割、クラス分けを決める。
- ・クラス構成 (人数、国籍) : 日本人6名程度、中国人15名程度。フランス人6名程度が一時的に参加。
- ・一週間の授業時間割 : 計20時間程度
- ・授業形式 (講義形式、ゼミ形式など) : 先生の作ったスライドやテーマをもとに、解説とディスカッション。

### III. 留学で得た学習成果

英語力、特にスピーキングとリスニングは大きく改善された。ライティングも改善されたが、リーディングに関しては、語彙力を除いて、そこまで改善されなかった。エッセイ、プレゼンテーションの基本的な構成をしっかりと理解できた。英語、そしてその考え方に携わることで考え方が深まった。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	トリノ大学
留学先国・地域名	イタリア
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

前期は学部授業のアメリカ史と語学コースの外国人向けのイタリア語講座を受講した。アメリカ史は1コマ2時間、週2回、生徒数は約40人。ほとんどがイタリア人で、アメリカ、オーストラリア、アジア圏、ヨーロッパ圏からの留学生も数人いた。テストはなかったが、単位認定として約30分間のプレゼンをした。イタリア語講座は1コマ2時間、週2回で生徒は約30人。講師はイタリア人だったが、私をはじめ様々な国籍の生徒が受講していたため、共通言語として英語で授業は行われた。

履修方法：トリノ大学のページから自分のアカウントにログインし、キャリアプランというページにアクセスし、自分の取りたい授業を選択する。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

後期は都市のグローバル化、映画とマルチメディア、アフリカの歴史と発展を受講した。都市とグローバル化では1コマ2時間、週3回。講義形式で、生徒は60人から70人。毎週メールで添付されてくる都市問題に関する論文を読まなければならない、それを基に授業が行われる。映画とマルチメディアは1コマ2時間、週3回で講義形式。近代映画史についてスライドを基に授業が行われた。アフリカの歴史と発展は1コマ2時間、週3回で生徒は約10人。近代アフリカ史に関する本をベースに講義形式の授業が行われたが、ディスカッションやプレゼンなど参加型の授業もあった。

### III. 留学で得た学習成果

2期に取った授業は全て大学院生向けのものだったので、難しい内容の論文や本を読む機会が非常に多く最初は苦戦した。しかし、数をこなしていくうちに読むスピードや理解力が増し、英語力向上に繋がった。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	認定
留学先大学	グリフィス大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### ・ESL

- ・14人 (コロンビア、中国、ベトナム、フランス、オマーン、ドバイ)
- ・週五、一日四時間授業、(Writing,Listening,Reading,Speaking)
- ・ゼミ形式

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

学習成果としては、留学前に伸び悩んでいた **Reading** と **Writing** を伸ばすことが出来ました。また授業の中で発言する機会が多くあり、**Speaking** と **Listening** の力を伸ばすことも出来ました。留学で自分が成長したと思うところは、自分に自信を付けることが出来たことと、積極的に物事に取り組む力がついた所です。

### IV. その他気づいたこと



留学種別	認定
留学先大学	グリフィス大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

Griffith University の大学付属機関である Griffith English Language Institute(GELI)では、Direct English Program(DEP)と English Test Preparation(ETP)の2つのコースを受講しました。5週間で1学期とされており、15週間の3学期間を現地で受講しました。DEPにはレベル1から7まで開講されており、入学前にレベル分けテストがオリエンテーション日に行われました。私はIELTSのスコアを持っていたので、その日にテストを受けずに、最初の学期はDEP6に振り分けられました。履修登録などはなく、月曜から金曜までの午前授業で週20時間の授業時間となっていました。DEP6では、1クラス17人でベトナム人、コロンビア人、中国人、日本人の4国籍の授業で、中国人の生徒が多めの割合です。授業は講義形式で先生が黒板の前で進めていく形式です。アカデミックライティングとリーディングを中心に学ぶので、授業でのスピーキングはあまりなかったです。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

2学期目はDEP6の終了テストをパスした際にDEP6にこのまま滞在するか、それともコースを変えてETPというコースに移るかを先生から尋ねられました。GELIのDEP7は現地大学へ進学する生徒しか進めない決まりがあるためです。NUFSの先生方にメールで相談をしたところ、今後はETPを受講することとなりました。ETPを受講するために、新たな語学試験や履修登録などはなく、DEP6同様に月曜から金曜までの午前授業で週20時間の授業時間となっています。ETPでは、1クラス8人で韓国人、コロンビア人、中国人、日本人、ブラジル人の5国籍の授業でそれぞれ1~2人のバランスが良い割合でした。少人数のため、先生を中心にした席の形で授業はディスカッション形式で進めていく形式です。IELTSのテスト対策を中心に学ぶので、4技能をバランスよく学ぶことができます。ディスカッション形式のため、スピーキングの練習をする機会に恵まれていました。

### III. 留学で得た学習成果

私が、留学で一番成長したと思うのが、自分の意見を伝える大切さを学んだことです。日本にいた時は、周りの意見に自分の意見があっても合わせてしまっていました。しかし、GELIではグループワークが授業内で多かったので、相手の国はこうだけど日本ではどうかなどの意見を述べて、比較するというのをよく行われました。その中のグループ課題の1つに、プレゼンテーションをパワーポイントを使用してペアで作成するというものがありました。異なる国籍の人となるようにペアを先生が決めて、私は中国人のクラスメートと行う事になりました。なかなか思うように授業内でパワーポイントを進められず、土日を使って一緒に構成を考えました。ペアの子はなかなか自分から自分の意見を話さなかったため、代わりに私の意見を言うかどうか、賛成か反対かを尋ねてどうすれば良いかを時間は他のグループよりかかりましたが、納得いくまで話し合いました。発表の日では、練習の成果もあり、良い評価をいただきました。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	認定
留学先大学	グリフィス大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

- ・ ELICOS
- ・ English
- ・ 履修登録無
- ・ 16人 中国 韓国 エクワドル 日本
- ・ 月曜～金曜 4時間×5
- ・ グループワーク

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

積極的に授業中に発言、行動する  
スピーキング、リスニング力

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	サザンクロス大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

- ・コース名称

#### Study Abroad

- ・ Language and learning in your Discipline

大学の授業で必要なアカデミックリーディングやライティングについて。

クラス人数は20人ほど。ほとんどが中国人留学生。

指定教科書はなく、授業内容のシラバスやスライドは学校のサイトからダウンロード。チュートリアル形式。

- ・ Tourism in Pacific Asia

アジア圏の観光業について。観光業が経済や環境に与える影響についても学んだ。

クラス人数は8人ほど。日本人と中国人。

指定教科書はなく、授業内容のシラバスやスライドは学校のサイトからダウンロード。

チュートリアル形式ではあったが、この授業はどちらかというと講義のように話を聞いている方が多かった。

- ・ Facility and Risk Management for Hospitality Operations

ホテルやレストランなどのサービス業で起こりうるリスクの把握の仕方、それに対応する方法についての授業。

クラス人数は8人ほど。ほとんど中国人留学生。

指定教科書はなく、授業内容のシラバスやスライドは学校のサイトからダウンロード。

チュートリアル形式。オンラインの学生ではないので、録音されたレクチャーを見て、翌日の授業に備える。

- ・ Australia, Asia and the World

オーストラリアから見るアジアについて。オーストラリアにおける multiculturalism や cosmopolitanism の定義について考えるという内容。

クラス人数25人ほど。自分含め3人以外オーストラリア人。

指定教科書はなく、授業内容のシラバスやスライドは学校のサイトからダウンロード。毎週授業内容に関する本を読むよう言われたが、その本もサイトからダウンロードできるようになっていた。

チュートリアルとレクチャー。レクチャーも学校で受けることができた。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

- ・コース名称

#### Study Abroad Program

- ・ Tourism Theories and Practices

20人くらい。オーストラリア人、中国人、日本人がバランスよくいた印象。

グローバル化が進む世界で、観光業が抱える問題について考えたり、観光業が国の経済や環境に与える影響について学んだ。

学校にて2時間のチュートリアル形式(週1)

授業前にその日のトピックをまとめた10分ほどのビデオを見る必要があった。

教科書はあったがオンラインから無料でダウンロードできた。

#### ・ Food and Beverage Management

20 人くらい。ほとんど現地学生。5 人ほど留学生がいた。

レストランやカフェなど食べ物やドリンクを扱うにあたり必要な知識について学んだ。食の安全についてや効率よくビジネスを成功させる方法について。

学校にて 2 時間のチュートリアル形式(週 1)

予習として 1 時間ほどのビデオを授業前に見る必要があった。

教科書あったがこちらも無料でダウンロードできた。

#### ・ Effective Communication

10 人。オーストラリア 6 人、日本人 4 人。

日常生活や職場など様々なシチュエーションで効率的にコミュニケーションを図る方法について学んだ。

学校にて 2 時間のチュートリアル形式(週 1)

授業前に 1 時間ほどのビデオを見る必要があった。

#### ・ Space, Place and Travel

7 人。自分以外は現地学生で留学生も自分 1 人だった。

ショッピングセンターやコミュニティなどのスペースが人にどのような影響があるかについての授業。

学校にて 2 時間のチュートリアル(週 1)

授業前に 1 時間ほどのビデオを見る必要があった。

指定の教科書はなかったが、週ごとに本の抜粋など事前に読んでくるものが用意されていた。

### III. 留学で得た学習成果

特にライティングが苦手だったが、各科目 1500 文字ほどのエッセイやレポートを何度か提出したことでライティング力が増したと思う。ライティング力を向上するにはどうすれば良いか考え、文法や構成などを添削してくれる学校のサービスを使い積極的に目標に向かって行動したことでかなり成長できたと感じる。また、授業前にトピックに関する記事や教科書のページを読んだり、課題のために沢山の本や記事を読んだことで、スピーディーかつより正確に内容を把握できるようになった。学校での授業がチュートリアル形式ということで自分の意見を自由に発言できる機会が多くスピーキング向上にも役立った。自分の発言した内容が深く授業内で掘り下げてもらえることで、自信がつき、より積極的に勉強に励めるようになった。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	サザンクロス大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### Career Start

#### EAP1

15 students(2 Japanese, 1 Indian, chinese)

from Monday to Friday 13:30-18:00

group work, lecture

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	サザンクロス大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### English for Academic Purposes (EAP)

語学コース+学部授業を受ける場合 10週間の EAP 受講が必要

履修登録の必要はなし

クラスによって異なるが僕の場合は 17人構成 中国、台湾、インド、インドネシア

午前クラス 午後クラスがあり 月～金曜日まで毎日、1週間で合計 22.5時間

ゼミ形式の授業

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

EAP 卒業にあたってリスニング、リーディング、ライティング、スピーキングのテストあり  
コース名: Career Start

履修科目: Australia, Asia and the World (AAW), Doing Cultural Studies (DCS), Effective Communication (EC), Language and Learning in your Discipline (LLD)

火曜日 AAW (Lecture) 12:00-13:00, LLD 14:00-17:00

水曜日 DCS 10:00-11:30, EC 12:00-14:00, LLD (Workshop) 16:00-17:00

木曜日 AAW (Workshop) 14:00-16:00

学部授業はオーストラリア人が大半、LLD は EAP 卒業した場合必修なので多国籍、AAW は 1時間のレクチャーは 40人ほどが受講、ワークショップは複数クラスあり 1クラス約 15人、DCS は約 13人、EC は約 15人

AAW(Lecture)以外はゼミ形式、グループワークも多々

### III. 留学で得た学習成果

EAP ではリファレンスを徹底的に身に付けることができ、学部授業で取り組むエッセイ、レポート、プレゼン、Annotated Bibliography などの基礎を学びました。学部に入ってから英語スキルが現地学生より劣るのでリーディングにかかる多くの時間など苦労します。「やらないといけない」状況だったので勉強する癖がついて知識はかなり得られました。豪州が多文化社会だからなのか、先生も学生も留学生に対して積極的に発言するチャンスを作ってくれたりサポートしてくれたりします。英語力は足りなくても持っているアイデアや知識には自信のある分野もあったので伝えようとする力は確実につきました。

海外で挑戦してみて日本での自分がいろいろな面で(言葉も通じる、勉強も特に必死にならなくてもついていける)満足片足突っ込んでいた状態に気が付けました。常に何かを学習しようと必死で、留学を終えた今は語学力よりも大きな成果がいくつもあったなと感じます。

そもそも大学は研究機関であることも再認識できたので帰国した今、とにかく学びをしようと思います。

### IV. その他気づいたこと

後期の学部では最大 4科目履修できるのですが、デフォルトで 2科目が勝手に登録されているかもしれません。(自分の場合はそうでした) もしそうであれば片方はインターナショナルオフィスのスタッフに伝えれば自分の希望の科目に変更できるので、送られてくるメールをしっかり確認してほしいです。

留学種別	TESS II
留学先大学	サンシャインコースト大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

- ・コース名 **English for Academic Purposes**
- ・IELTS の授業と **Academic Skills** の授業があった
- ・クラスは2つあり、1つのクラスは大体 11 人で国籍がほとんど中国人と日本人だった。
- ・月から金曜日 8時40分から15時まで授業がありました。(授業が6時間で休憩が1時間20分)
- ・授業の形式はゼミ形式な感じでした。教科書を読んでそれを皆で問題を一緒に解いたり、話し合う事が機会がたくさんありました。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

- ・学部に移り変わ기するためには **EAP** を合格する条件がありました。もしくは **IELTS** のテストで一定の点数を獲得しなければなりませんでした。
- ・たくさんのコースから選択できます。私が選択した科目は、**Acting 1: The actor's craft**, **Communication and Thought**, **Italian A**, **Introduction to Music Production** の4つでした。
- ・履修の方法は大学先の **Blackboard** からやります。コースアウトライン (シラバス) が大学のホームページで見れるのでそれを参考にして選びました。
- ・クラスは授業によって人数がことなります。国籍はオーストラリア人がほとんどでした。留学生は一人か二人ぐらいでした。
- ・一週間に授業が5回ありました。授業により、**Tutorial** (講義) と **Workshop** (実技) が分かれている授業があるのでそれぞれ行かないといけません。私は **Tutorial** なしで **Workshop** だけの授業が2つあり、一コマ3時間でした。他は **Tutorial** 何時間で **Workshop** 何時間で分けられていました。

### III. 留学で得た学習成果

私が一番留学で身についた事は、アカデミックスキルです。サンシャインコースト大学はアカデミックレポートにとっても厳しく、引用のやり方などしっかりしなかったら大変なことになります。それを **EAP** の授業でとても厳しく教えられました。**Reference List** の書き方や **Paraphrase**、**Citation** の仕方とても勉強しました。アカデミックレポートはとても難しかったけれど、とても勉強になったと思います。

私のスピーキングも向上したと感じます。日本にいたときは英語を喋る自信がなく、いつも苦労していました。だが、オーストラリアで生活するときは必ず英語を話さないといけないので毎日頑張って英語を話すことにより自分の英語により自身をもてたと思います。初めての海外経験で誰も知らないところに行っであっちで頑張って一人で生活することは本当に難しいことで、それを出来た自分にとっても誇りを持っています。問題もいくつかあったけどそれを乗り越えることが出来てとても良い経験になりました。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	セントラルクイーンズランド大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

- ・コース名称  
EAP (English for Academic Purposes) 1 & 2 in ELICOS Course
- ・授業科目名  
writing, speaking, reading, listening
- ・履修登録方法  
大学申請時の IELTS のスコアによって自動的に EAP 1 か 2 か決まる。  
IELTS 5.0- EAP 1, IELTS 5.5- EAP 2
- ・クラス構成 (人数・国籍)  
5~10 人 (各クラス上限約 15 人と規定されている)、国籍は、中国・コロンビア・タイ・ベトナム・台湾・インド・スリランカ・ブラジル
- ・一週間の授業時間割  
午前 8 : 30 ~ 午後 12 : 45 まで授業 (間 15 分休憩あり)  
午後クラス (13 : 00 から) もあるが、午前クラスが定員オーバーあるいは仕事上午前クラスの出席が不可能な場合のみ選択可能
- ・授業形式 (講義形式・ゼミ形式など)  
生徒参加型講義、発言する機会が多い

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

EAP2 を終えたと同時に IELTS 6.0 を得たとみなされるため、学部授業に変更する際に IELTS を受けなくても良い。また、学部授業に変更する際に必要なテストもない。

- ・コース名称  
Exchange program
- ・授業科目名  
Conservation in Australia  
Personality  
Japan and its Culture
- ・履修登録方法  
Exchange program に参加する生徒全員にサポート教員が付き、履修登録をオンライン上で一緒に行う。CoE 発行申請の際に選択し登録した科目の中から 3~4 科目を選択し、履修登録をする。
- ・クラス構成 (人数・国籍)  
Conservation in Australia: 3 人、アメリカ人  
Personality: ロックハンプトンキャンパスには約 15 人、オーストラリア人、アメリカ人、他キャンパスとの遠隔授業のため、合計は 30 人以上  
Japan and its Culture: 3 人
- ・一週間の授業時間割  
火曜日 12 : 00 ~ 14 : 00  
木曜日 13 : 00 ~ 14 : 30  
オンライン
- ・授業形式 (講義形式・ゼミ形式など)  
Conservation in Australia: 講義形式、授業以前に Moodle 上に公開される PP に基づいて行われ



る。

**Personality: Tutorial** といって、教員の問いに対して生徒が回答したりディスカッションをしたりする。

**Japan and its Culture:** オンライン授業、**Lecture audio** と **PP** と **Lecture Note** で勉強する。

**Discussion** をする場も設けられている。

### Ⅲ. 留学で得た学習成果

タイムマネジメントが向上された。授業数は少ないが、課題が多く、また、授業の予習・復習に時間がかかるため。上手い時間の管理は重要な点であった。

授業中に発言する機会が多い科目では、教員に突如名前を呼ばれて発言を求められることが多かったので、その対策として、聞かれるであろうことを授業前にメモし、発言する内容をある程度考えていた。

### Ⅳ. その他気づいたこと

**CoE** 提出時に登録した学部授業の科目は変更不可なので注意すること。メインキャンパスであるロックハンプトンで **EAP** を受けるよりもブリスベンキャンパスで受ける方が日本人が全くいないので良いと感じた。

留学種別	TESSⅢ
留学先大学	セントラルクイーンズランド大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

最初の5週間；

#### General English 4

人数8 国籍日本3、中国4、ラオス1

その後の10週間；

#### English for Academic Purpose2

人数8 国籍日本3、中国1、ドイツ1、コロンビア2、パプアニューギニア1

事前に提出した TOFEL、TOEIC の結果や初日に受けるテストの結果、授業の開始時期、期間などを加味しどのコースを履修するのか提案されます。

どちらのコースも時間割はなく、朝 9 時から昼 2 時まで、休憩が一時間です。先生によって何に一番時間をかけるか等かなり違います。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

EAP 2は学部に行きたい人達のコースなので、内容はとてもハードでした。クラスにはネイティブスピーカーレベルの生徒もいる中、私は最初先生の指示やテキストの宿題の指示すらもわかりませんでした。このコースでは 2 時間のリスニング、リーディングテストに加え、1200語のエッセイと 10 分間のプレゼン、オンラインでの Independent learning(Listening,Reading,Discussion form,Vocaburary quize)、授業中での態度すべてに成績つけられる、という話を聞いて私には絶対に無理だ、とまで思いましたが無事合格することができました。これをと通しての英語力はもちろんですが、学部授業でのノートの取り方、エッセイの書き方（引用や書き換え等）、プレゼンでの話し方、また授業内での積極的な姿勢がどれほど大切を学ぶことができました。私は、オーストラリアで学部授業は受けることなく二か国目のフランスに行ってしまうのですが、これは今後必ず役に立つと思います。

### IV. その他気づいたこと

私が頑張れた理由の一つは先生が先生も生徒のためにととても頑張ってくれていたからだと思います。セントラルクイーンズランド大学ロックハンプトンは一クラスの人数がとても少ないので、サポートが手厚く、勉強面の相談に親身にのってくれます。授業の質はとても高かったです。

留学種別	TESS II
留学先大学	タスマニア大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

私が受けていたのは、大学に入る前の準備語学コースである、**ELC** コースでした。このコースではリーディング、スピーキング、ライティング、リスニングのスキルを磨くコースとなっていて、大学で不利なく勉強が出来るよう練習をするコースでした。テストは **IELLTS** がベースとなっていました。クラスは大多数が中国人でその他は日本人、エジプト人、台湾人、ベトナム人などで構成されており、人数はクラスやレベルによって異なりますが、大体8人から15人程度でした。毎日4時間授業があり、朝9時から途中で25分間の休憩を挟み、1時25分に授業が終了するというのが1週間に月から金まで五日間ありました。授業形式は基本的に参加型で、1人ずつ教科書を朗読させられたり、質問に答えたりと、生徒が積極的に授業に参加できる形式になっていました。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

今回留学を通して成長したことの一目としてあげられるのは、もちろん語学力です。私は高校生の頃、半年間カナダへ留学をしました。しかし留学していた期間、自分の英語力の低さと、失敗を恐れ、常に日本人の友達と日本語で生活をしていました。今回の留学ではその失敗をバネに、英語力、特にスピーキング力をあげるという強い意志を持ち、オーストラリアへ足を運びました。自分のホームステイ先にはもう1人、**NUFS** からの日本人留学生がいましたが、私たちは常に英語で会話し、英語でコミュニケーションを取るよう努力しました。また、学校でも極力他の国からの留学生とたくさん話し、最後には現地の学生とも友達になることが出来ました。この留学を通して気づいたことは、留学というのはただの実戦の場であり、自分が持っている能力を発揮する場であること、また、留学へ行ったからと行って努力をしなければ全く語学力は上がらないということです。今回の留学は約5ヶ月間と短い間でしたが、その分この短い期間の間で自分が出来ることを精一杯できた、とても充実した5ヶ月間でした。

### IV. その他気づいたこと

ありません。

留学種別	TESS II
留学先大学	タスマニア大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

コース名は、**level4,level5,level6** があり、ひとつの授業が2時間ある中で **writing、reading、speaking、discussion、listening** がありました。クラスは大体15人ほどで、中国人が大多数、4人ほどの日本人、エジプト人1人、ベトナム人3人でした。一日2時間の授業が二コマあり、月曜から金曜までありました。そして先ほど言った4つの技能が2時間にそれぞれ二つずつ学習する感じでした。形式的には少人数制のゼミの感じでした。**Nufs** だと **core english** に似た感じでした。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

学部に行くためには3つそれぞれのレベルを合格する必要があります、そしてそれを留学留學生を担当しているオフィスに届けます。またその合格ラインはレベルが上がるにつれて高くなります。私が受講したのは、ジェンダー学、**Queering japan、Translation**、中国語でした。ジェンダー学は講義式でほとんどがネイティブスピーカー、週に1時間の授業を3つとっていました。**queering Japan** は35人ほどで、多数がネイティブ、4人ほど中国人と日本人3人でした。こちらは人数の関係もあってゼミの形式に近いと思いました。そしてジェンダーと同じく1時間の授業を3回です。**Translation** も小さいクラスで、15人ほど3人日本人、2人中国人、他ネイティブ、こちらと同じく1時間を3回授業でした。このクラスは少し特殊で、少し離れたロンセストンにあるタスマニア大学と同時中継で一緒に授業を受けます。中国語は40人くらいでほとんどネイティブでした。こちらは週に5回授業がありました。

### III. 留学で得た学習成果

日本の大学とはまた違わず話すのも、聞くのも言語が英語という環境はめったになかったもので、初めはすぐに理解は難しかったです、英語学部を通して、まず基礎的なウォームアップができたと思います。学部では、毎週毎週課題に追われ、言葉も専門的な言葉になったことにより、精神的に追い詰められることもありましたが、そのうえで、自分が、どのように切り抜けて、自分と向き合うかということを考えれたときに自分の精神面で成長を感じました。やはり、英語力も上達することができたと思いますが、私の中では、いろんな面からの思考力を学部の授業内で養うことができたと思っています。

### IV. その他気づいたこと

タスマニアは田舎なので、まだ白人至上主義がまだ残っていると感じました。何回か嫌がらせをされることもありましたが、それを悪いととらえて、逃げるのではなく、どうしたら、理解しあえるのかを考えることが必要だと思いました。また若い子で、マナーが悪い子がシティーにはよくいるので、そういうところには気を付けたほうがいいと思いました。

留学種別	TESS II
留学先大学	ニューカッスル大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

コース名称 : ELICOS course

授業科目名 : English for upper intermediate / English for academic purpose

履修登録方法 : 不明

クラス構成 ; 約20名 中国人4割 日本人3割 サウジアラビア人2割 その他1割

授業時間割 : 平日午前9時ー11時 午後1時ー3時

授業形式 : 講義形式、グループワーク形式

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

英語を使用する際に、日本語を介さずに英語を英語のまま考えることが以前より可能になった。

臨機応変に環境に適応し、ストレスを最小限に抑えるコツがつかめた。

英語で会話する際は頭で考えるだけでなく、相手に伝えようとする姿勢が大切なのだと気づいた。

### IV. その他気づいたこと

食費、交通費が想定より高かったため金銭的な負担を親にかけてしまうのでホームステイからシェアハウスへの移行を余儀なくされました。

留学種別	TESS II
留学先大学	ニューカッスル大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

ELICOS というコース名で、reading writing speaking writing メインの授業でした。15週の中で、初めの5週は upper intermediate、最後の10週は English Academic purpose...(EAP)というレベルを受講しました。クラスは20人構成で、約5割中国人、2割日本人、残りの3割が韓国人、サウジアラビア人、ネパール人などでした。授業は毎日9:00~11:00の午前2時間で、2時間のランチタイムと自主勉強時間、そして13:00~15:00の午後2時間編成でした。upper intermediateの授業はゲームやアクティビティ中心とした参加型の授業がメインでした。EAPに上がってからは、レクチャーを聞いてノートテイキングの練習、アカデミックな内容の記事を読むなど、学部に進むために必要な知識をつけるための授業でした。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

日本の授業に比べ、個人の意見を積極的に言うということが大切になっていると学びました。特に他の国の生徒は、生徒が問題の答えを積極的に発言するので、受動的になっていると置いてかれてしまうなど感じました。他の国の生徒に負けないように発言したり、授業中でもわからないところは聞くことが大切だと感じました。EAPに上がってからは、globalization や health の話題が多く取り上げられ、詳しく追求することで、世界的な問題などを知ることができました。

### IV. その他気づいたこと

私は4ヶ月間ずっとホームステイをしていたので、ホストファミリーとの会話を大事にしました。文法の間違いを気にせずとにかく話すことで、自然と自分でも間違いに気づき、直すことができるようになったので、失敗を恐れずとにかくやってみるという心が大切だと感じました。

留学種別	TESS II
留学先大学	ニューカッスル大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

私が1期に受講していたコースは **ELCOS** という、英語を学ぶコースでした。このコースは主に 4 つのレベルに分かれていて、初日に受けたテストの結果によって自分がどのレベルから始まるのかが決まります。私は上から 2 つ目の **Upper Intermediate** を 5 週、**EAP** を 10 週受講しました。クラスはどちらも 20 人ほどで、中国人が多く、他には韓国人、インド人、バングラディッシュ人がいるという印象です。1 日の流れは、9 時から 2 時間クラスに行き、2 時間のお昼休憩を終えたら、また 2 時間の午後のクラスに行き、3 時に帰宅という形です。これを平日 5 日間繰り返します。授業は主に、教科書に沿って進められていくため、日本の授業形式とさほど変わりはありません。唯一違う点は、アクティビティを通してより話す機会が設けられていることです。ここでは楽しく英語を学ぶことが出来ます。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

2 期からは学部の授業に移りました。学部の授業を受講するには、語学学校の一番上のクラスの試験を合格する必要があります。もし合格できなければ、学部の授業でも 1 つ決められた英語の科目を取るようになります。私は無事合格したので、現地の学生と同じぐらいの 3 つのクラスを取りました。履修登録を進めるにあたっては、大学のホームページからスバ手の手続きが行われるため非常に簡単です。私は、**Linguistic to Introduction, Japanese society, sociology** を受講しました。言語学と社会学の授業は 1 年生レベル、日本社会は 2 年生のレベルのものを選びました。授業はほとんど現地の方が多く、数人留学生がいる印象です。日本社会のクラスには多くのアジア人が見受けられました。基本的に、1 つの科目でレクチャーとチュートリアルの二つのクラスがあります。レクチャーは 1 つ 2 時間、大きな教室で教授の話聞きノートを取ります。チュートリアルは、レクチャーを踏まえてより具体手的な内容を少人数のクラスで、ディスカッション形式で行われます。言語学の授業では練習問題を解くことが多かったです。

### III. 留学で得た学習成果

約 1 年にわたるニューカッスルでの学びを経て、自己管理の大切さを学びました。私が選んだクラスの教授はクラスで課題の提出日や試験の日などにちなどを言いませんでした。そのような場合、ただクラスに行っているだけで、注意していないと見過ごすことが多々あります。1 つの科目なら簡単かもしれませんが 3 つとなると混乱することもあります。こまめにコースのページを開くことで日にちの変更や課題細かな変更にも気づくことが出来、慌てずに済みます。自分のすべきことを明確にすることで、スムーズに勉強が進みます。さらに、質問を積極的にすることも大切だと思います。質問するときは恥ずかしい時もありますが、聞いたことにより、役立つ情報やプラスアルファのサポートを提案して頂ける場合もあります。時間を有効に使うためにも、疑問に思い、自分では解決できなさそうならすぐに誰かに聞くことが効率のいいやり方だと思います。このような成長の甲斐もあり、学部授業では各提出物を余裕を持ち、仕上げた状態で出すことが出来ました。特に言語学の音韻論の課題や、社会学の研究レポートでは高い評価を得ることが出来ました。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	ニューカッスル大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

一学期目は語学学校に通っており、ERICOS コースという英語を母国語としない生徒の授業を受けていました。最初は Upper Intermediate(以下 UI)というレベルからスタートし、5週間後にその上のレベルである EAP という最終レベルのところで10週間学びました。UI ではアジア系の生徒がほとんどでした。日本人の生徒が6人ほどいたので全員で協力しながら授業を受けました。一人ボツワナというアフリカ系の国からきた学生がいました。全部で約20名ほどいたと思われます。その後の EAP では前半の5週間は日本人が約7名ほどと中国人の生徒のみでした。全部で25名ほどいたと思われます。2週間の長期休暇を挟むと帰国する日本人がほとんどでしたので2名のみ残りました。他は中国人です。全部で15名ほどになりました。一週間の授業時間割は UI のときは月曜から金曜 10時から15時で EAP からは大学の工事の関係で教室が減ってしまったので他のクラスと交代制になり、11時から17時のグループで通っていました。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

大学では Faculty of Education and Arts というコースの Academic Language Skills for International Students (以下 ESLA), Introduction to Linguistics 1(以下 LING1111), Japanese and Society and The World(以下 JAPN)という3つの授業を取っていました。履修登録方法は大学のポータルサイトのような場所から簡単に登録できました。ESLA ではアジア系の国からきた生徒からヨーロッパ、インドなど様々な国籍の生徒と一緒に助け合いながら学習しました。人数は約30名ほどいましたが午前と午後の部に分けられます。その二つは選択可能でした。この授業は講義というよりはゼミに近い雰囲気での授業でした。LING の授業の中にはヨーロッパなどから来た生徒もいたかもしれせんがほとんどが英語圏の学生だと思います。この授業は地元の学生と混ざって授業を受ける現地の大学ならではの経験をしました。この授業は完全講義制では約200人ほどの生徒が授業を聞いていました。講義のほかに、違う先生が講義の内容を実践問題などを通して教える授業も別で用意されたおり、そこには約30名ほどの生徒と一緒に授業を受けました。JAPN も講義に近い形で授業が行われていましたが、オンラインで授業を取っている学生もいるので人数は多くありませんでした。約20人ほどだったと思います。授業を受けていた学生に関してはアジア系数名、英語圏の生徒数名、日本人数名といった形です。一週間の授業の時間割は月曜日の朝10時からお昼を挟んで14時まで ESLA があり、水曜日は16時から18時まで LING の講義、木曜日に LING の別の授業が10時からと11時から JAPN の授業がありました。

### III. 留学で得た学習成果

語学学校に通っていた時はほかの学生と英語で話す機会がたくさんあったのでそこでスピーキング力が上がったように感じます。授業内容としては大学に行くための準備といったような形でレポートやプレゼンテーションをたくさん作りました。大学では録画された講義をたくさん聞いたのでリスニング力が向上したように感じます。また、LING では過去に習った内容を英語でもう一度復習するような形で忘れていた内容を思い出すことができました。ESLA では語学学校で学習してきたことをもう一度細かく習う授業でしたのでそこでもプレゼンやレポートの書き方、ルールなどを学びました。JAPN ではドラマを通して日本文化に触れたり講義を通して改めて日本の歴史や地理、文化などが学びました。



#### IV. その他気づいたこと

特にありません。

留学種別	TESS II
留学先大学	アルゴマ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

- ・アカデミックコース
- ・CESD 1006A / FILM 1606A18F / PSYC 1006A 18F
- ・オンラインより履修登録、または担当の教員と相談して登録する
- ・それぞれ約30名～、国籍：カナダ、韓国、日本、中国、ドイツ、フランス、バングラデシュ、インド、コロンビア
- ・それぞれ1週間に2回90分の授業
- ・講義形式

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

スピーキング力、リスニング力、わからない点があったら質問しに行き自主性を身につけた。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	認定
留学先大学	アルゴマ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

コース名称

English for Academic Purposes Program

科目名

Reading & Writing, Speaking & Listening, Grammar, Game time, Studyhall

履修登録方法

大学側が組みます。

クラス構成

15人、アジア人中心に他ブラジル、メキシコなどの方がいました。

授業時間割

月曜 2 Grammar

3 Speaking & Listening

4 Grammar

火曜 1 Speaking & Listening

2 Grammar

3 Reading & Writing

4 Study hall

水曜 1 Reading & Writing

2 Speaking & Listening

3 Reading & Writing

木曜 1 Studyhall

2 Reading & Writing

3 Grammar

4 Game time

金曜 1 Reading & Writing

2 Speaking & Listening

授業形式

ゼミ形式

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

勉学では語彙力、リスニング、スピーキングの向上と文法の基礎的なところ。

その他は他国の国の人と交流することで

自分の中で常識だったことがまったく違って物事の捉え方を学ぶことができた。また自己責任能力が留学に行く前よりかなり付いたと思う。

### IV. その他気づいたこと

他人に縛られず自由でいることは良くも悪くも大事だと思った。

留学種別	TESS II
留学先大学	アルゴマ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

1学期目はESLのlevel4のコースでlistening and note taking, writing, research skills, reading, speaking and oral presentation skills, grammarを受講していました。履修登録方法はレベル別テストを受けて自分がどのレベルのESLクラスに入れるのかを計りました。クラス構成は10数名で半数以上を日本人が占め、他に中国人、シリア人が数名いました。一週間の時間割は朝の8時から夕方4時まで4限の授業が詰まっていた。授業形式は講義形式でしたが、少人数であったため、生徒と先生の距離は比較的近かったです。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

2学期目からは学部授業の受講手続きに関してはオフィスに行って実際に自分の受けた科目を申告して登録する仕組みでした。

コースはESLのbridging program (level5)を受講しながら3つの学部授業(psychology, Canadian Business, Commercial Law)を受けていました。クラス構成はカナダ人が9割ほどを占めており、留学生比率はとても低かったです。時間割はpsychologyが週2回あり、残りの2つの学部授業は週1回ながらも1回のクラスが3時間ありました。level5は週に4回の授業がありました。学部授業は大人数の講義形式で、ESLはインド人がほぼ占めて大人数であったため、講義形式の形がとられました。

### III. 留学で得た学習成果

8ヶ月間の留学を経て、多方面からの英語力を身に付けることが出来ました。最初の4ヶ月は英語を学ぶ授業であったため、今まで日本で習ってきたことの総復習ができ、最終的な結果にもすごく満足することが出来ました。その後の学部授業では英語が出来ることが当たり前という厳しい環境の中でさらに自分の英語力を格段と伸ばすことが出来ました。成長した点は、英語力はもちろんのこと、人間力も身に付いたところだと思います。人間関係や自分の行動に責任を持ち、家事などの手伝いを積極的に行うことの大切さを知ることができ、また人との関わりに恐れず、自分をしっかりと持つことの重要性も身に付けることが出来ました。

### IV. その他気づいたこと

留学生活は楽しいこともたくさんありましたが、やりきれない気持ちを持ったこともたくさんありました。この気持ちを踏まえてこれからの大学生活をより充実したものになりたいです。

留学種別	認定
留学先大学	アルゴマ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

授業期間前にアルゴマ大学で試験を受けました。試験結果によってクラス編成が行われ、履修登録は自分で行う必要がありませんでした。ESLの授業期間は9月4日から12月14日までの15週間でした。一週間の時間割は、平日8:30から16:00まで、Grammar 4コマ、Speaking & Listening 4コマ、Reading & Writing 5コマ、Study Hall 2コマ、Game Time 1コマの計16コマでした。Grammarは宿題用の教材として「FUNDAMENTALS OF ENGLISH GRAMMAR」を使いパワーポイントの講義式でした。頻繁にグループを作って黒板に回答する参加型の授業でもありました。Speaking & Listeningは「Q: Skills for Success SPEAKING AND LISTENING」をもとに講義の後、生徒同士が意見交換する時間がありました。Reading & Writingの教材は「Q: Skills for Success READING AND WRITING」とプリントです。ディスカッションする機会が多かったです。Study Hallは、他の授業でわからないところを克服するためと質問するための時間でした。Game Timeは、北米のポピュラーなゲームを経験する息抜きの時間でした。クラスは日本人6人、韓国人2人、中国人6人、メキシコ人1人、ブラジル人1人の計15人でした。日本人と中国人が大半を占めていましたが日本人同士でも、私のまわりは英語で会話していました。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

ESLの授業期間は1月8日から4月19日までの15週間でした。一週間の時間割は、平日8:30から16:00まで、Writing 5コマ、Grammar 4コマ、Listening 2コマ、Oral Presentation Skills 2コマ、Reading 2コマ、Research Skills 2コマ、で計17コマで構成されていました。Level4の授業は全て講義式です。Writingの教材は「Academic Inquiry」とプリントでした。Grammarは課題用に「UNDERSTANDING AND USING ENGLISH GRAMMAR」を使用しました。Oral Presentation Skillsはプリントとパワーポイントを使って学び、生徒が毎週プレゼンテーションをしました。Readingもプリントを使いCritical thinkingする力を磨きました。Research Skillsはessayや教授へのEmail書き方など、正規授業をうける上で必要なスキルをまなびました。クラスは日本人2人、中国人5人、エジプト人1人、サウジアラビア人1人で計9人の少人数だったので、生徒が先生から個々にアドバイスをもらえることができました。

### III. 留学で得た学習成果

私は一学期二学期をESLで過ごし、正規授業をとることができませんでした。留学当初そのことにとっても落ち込みましたが、明確な実力不足や自分の至らない点を認め、見直す期間を得られて良かったと思いました。留学後も自分の不出来なところを受け入れて成長し続けたいと思います。学校行事や地域活動に参加し、たくさんの人と交流することができました。積極的になればなるほど、自分の活動範囲が広げられることに気づき、地域のスポーツクラブを調べて参加しに行きました。幼い子供たちから高齢の方までたくさんの友人をつくることができ有意義な時間を過ごせました。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	アルゴマ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

私が受講したコース名は **English for Academic Purposes Program** で、授業は、文法、リスニング、リーディング、プレゼン、ライティング、リサーチスキルの6つで構成されており、これらの授業は、**ESL** であれば初めのオリエンテーションで行う実力テストの結果で振り分けられたクラスによって履修が決まります。履修の登録は、結果によって学校側が行ってくれます。**ESL** のクラス編成は、**Level 2~5** までの4クラスで、自分のクラスは日本人が7人、中国人が5人、シリア人が1人の13人クラスでした。1週間の時間割は、月曜日に、文法、リスニング、リサーチスキルズ、リーディングの4コマ、火曜日は、文法、プレゼンテーション、リーディング、リサーチスキルズの4コマ、水曜日は、文法、リスニング、ライティングの3コマ、木曜日は、プレゼンテーション、文法、ライティングが2コマの4コマ、金曜日はライティング、文法の2コマで、全て **NUFS** のような、少人数の授業形式で行われました。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

私は、アルゴマ大学での半年間の留学を経て多くのことを学びました。学習面に関しては、英語の基本、そしてアカデミックな文章の書き方をもう一度学ぶことが出来ました。大学3年になり、英語を実践的に使うことがメインになっていたのですが、自分の中で、基本がわからない中で文章を書いているような違和感をずっと感じていました。しかし、留学を通じて、もう一度間違いやすい基本の部分を確認し、勉強し直すことが出来ました。また、学び直した英語の基本を用いて、さらにアカデミックな文章を作る、実践的な授業もあり、単語の使い方や、細かいルールなど、覚えることが多く、自分の未熟な部分を感じるが多かったのですが、今では、その困難に立ち向かい乗り越えられた達成感を感じています。

### IV. その他気づいたこと

アルゴマ大学の **ESL** コースの授業は、朝の8:30から16:00まであります。先生方はフレンドリーな方が多かったです。授業を担当してくださる先生方のほかに、**ESL** の生徒のサポートをしてくれる方もおり、毎月、大変なことはないか、困っていることはないかを聞いてくれたり、親身になって様々な話を聞いてくれて、とてもありがたかったです。

留学種別	認定
留学先大学	カルガリー大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### ・授業内容

**Grammar**、**Reading&Writing**、**Speaking&Listening** の3種類の科目を受けました。

・クラス人数 約15人

・国籍 日本人の学生が大学単位で来ていたので、ほとんどのクラスの5～8割が日本人でした。

他に人数が多かったのは、台湾、韓国、コロンビアからの留学生でした。

・一週間の時間割

月・水曜日 **Grammar** 9:00～10:20、**Reading&Writing** 10:30～12:00、**Speaking&Listening** 13:00～15:00

火・木曜日 **Grammar** 9:15～10:50、**Reading&Writing** 11:00～12:00、**Speaking&Listening** 14:00～16:00

金曜日 **Grammar** 9:00～10:20、**Reading&Writing** 10:30～12:00

・授業形式 講義形式 先生の説明を聞くほかに、グループやペアでディスカッションや色々なアクティビティ（クイズやゲームなど）をしていました。また週に1日、コンピューター（主に **My english lab** というサイト）を

使って授業の内容に沿って自主学習を行う日がありました。

・大学の学習環境、自習室、教室の設備

**ESL** の学生が使う建物には仕切りがある机やグループで勉強するためのスペースがあります。

また、学部生と同じように図書館を使うことができ、自習しやすい環境が整っていると感じました。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

授業内容、クラス人数、時間割、授業形式は特に変更はなかったです。

ただこの1月から4月のセメスターでは日本の学生が少なく、様々な国籍の生徒がいました。

### III. 留学で得た学習成果

自分の英語力は帰国前に比べると上がったと感じています。**NUFS** の授業では基本的に **Reading** と **Writing** を中心に学んでいたのですが、**Speaking** が自分の苦手分野だと感じていたのですが、この留学でホームステイ先の家族や友達と話したり授業を受けることによってスムーズにコミュニケーションが取れるようになりました。

**Reading** の授業では小説を読む機会が多くあり、英語で文章を読む力も向上したように感じます。

また、授業でディスカッションをする時には、他の国の文化、考え方などを知ることができ、英語以外の面でも多くのことを学ぶことができました。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	認定
留学先大学	キャピラノ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

コース名称 : English for Academic Purposes

授業科目名 : Reading(Vocabulary), Writing(grammar), Listening, Speaking

履修登録方法 : 学生専用サイトから登録、オフィスに行く

クラス構成 : 1クラス15~20人 国籍は中国、イラン、ベトナムが多い。私のクラスにはロシア、日本、サウジアラビア、ブラジル、インドの生徒もいた。

授業は週に4日。2日が8時から16時までの丸1日、残りの2日は半日授業だった。

授業は3人の先生によって行われ、生徒が答えたり、グループワークすることもあれば、講義形式の日もあった。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

カナダでの授業を通して最も伸びた力はリーディングだと思う。外大のリーディングの授業の5倍くらいのスピードで教科書を読み進めていくので、常に予習復習が必要だった。授業にきちんとついていけるよう、単語や成句の意味、分からない文法などは毎回きちんと準備していく癖がついた。毎週単語とリーディングのテストがあったので、長文を読むことにも慣れて、読むスピードが速くなった。これは今後TOEICなどに役立つと思う。

また、グループワークではほかの国の生徒の意見の主張の強さにはじめは戸惑っていたが。しかし回数を重ねずにつれて、間違ってもいいので自分の意見をしっかり伝えられるようになった。

### IV. その他気づいたこと



留学種別	認定
留学先大学	キャピラノ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### EAP-070

##### listening,speaking/writing,grammer/reading

レジスターオフィスに行き、登録をしてから、キャッシャーズオフィスで支払う。

だいたい 15~20人 中国人、イラン人、などアジア系が多い

朝8時半から授業があり、午後4時に終わる

少人数のクラスなので、気軽に質問できる。グループワークも多い

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

#### EAP-080

##### listening,speaking/writing,grammer/reading

レジスターオフィスに行き、登録をしてから、キャッシャーズオフィスで支払う。

だいたい 15~20人 中国人、イラン人、韓国人などアジア系が多い

朝8時半から授業があり、午後4時に終わる

少人数のクラスなので、気軽に質問できる。グループワークも多い

### III. 留学で得た学習成果

リスニングの力は確実に伸びたと思う

初対面の人とのコミュニケーションがあまり得意ではなかったけど、留学を通してどのようにコミュニケーションをとったらよいかを学び、積極的に話しかけられるようになった。

自分がよくわかっていなかった文法を確認できた。

日常で使われる言い回しも学んだ。

自分の身の回りの事を面倒くさがらずできている。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	認定
留学先大学	クイーンズ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

- ・コース名称 : English for Academic Purposes Program
- ・授業科目名 :  
Core・Lab/Spoken・Vocabulary・Discussion・Elective
- ・履修登録方法 : 全クラスが決まっていました・
- ・クラス編成 : 8人クラス、国籍は日本・中国・台湾
- ・一週間の時間割 :  
月 1・2 Core Class  
火 1・2 Lab/Spoken 3・4 Core  
水 1・2 Core 3 Vocabulary 4 Discussion  
木 1・2 Core 3 Elective  
金 1・2 Core

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

クラスでは日本と同じように教科書を用いて reading や writing、grammar を学びましたが、加えて先生が生徒に毎度意見を聞くため、説明力・会話力が特に身に付きました。文法は大事ですが、文法や難しい単語にとらわれてしまうと、説明が分かりにくくなり、クラス全体が理解できなくなります。そのため、どんな人でも理解できるように説明するように心がけることができ、いい練習になりました。毎週のようにプレゼンテーションを行ったため、それらもこの説明力・会話力を高められる練習となりました。

Lab のクラスでは、自分のスピーキングを録音して聞き直し、発音をよりよくする練習などをして発音強化につとめました。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESSIV
留学先大学	セネカカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

コース名称 : Flight Services

授業科目内容 : Service Leadership, Flight Attendant Aircraft Safety, Flight Attendant Policies, Ground Operations Airline Destinations, Communicating Across Contexts

履修登録方法 : セネカカレッジから自動で決定された

クラス構成 : 約 20 名、大半がカナダ国籍

授業時間割 : 月曜日 8 : 00 ~ 10 : 40、火曜日 14 : 25 ~ 17 : 05、木曜日 11 : 40 ~ 14 : 20、16 : 15 ~ 18 : 55、金曜日 8 : 00 ~ 10 : 40、10 : 45 ~ 13 : 25

授業形式 : 講義

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

コース名称 : Flight Services

授業科目名 : Aircraft Type, Creating Customer Experience, Global Distribution Airline System, Aircraft Systems & Emergency Equipments

履修登録方法 : オンライン

クラス構成 : 約 20 名、大半がカナダ国籍

授業時間割 : 木曜日 : 8 : 00 ~ 10 : 40、10 : 45 ~ 13 : 25、金曜日 10 : 45 ~ 13 : 25、13 : 30 ~ 16 : 10

授業形式 : 講義

### III. 留学で得た学習成果

客室乗務員として必要となる知識を学ぶことができた。

英語力が出発前に比べて成長した。

### IV. その他気づいたこと

アジア人は多かったが、そのほとんどの国籍はカナダだったことに驚いた。

日本人は少なかった。所属していた学部では日本人に出会わなかった。

留学種別	認定
留学先大学	セネカカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

コースは ELI のコースでレベルによってレベル 1~5 は朝クラス、6~8 は午後クラスと週 2 だけ朝クラスもあるといった時間割で私の最初のレベルは 5 でした。クラス人数はだいたい 20 人前後で国籍は私のいたクラスは国際色豊かだったので、韓国人、中国人、ベトナム人、ロシア人、ドイツ人、イラン人などがいて、日本人は私を含め二人でした。1 週間の授業時間割は、月曜日から金曜日まであり週 20 時間程度でした。それとは別にパソコンでリスニングとスピーキングをする LAB ワークというものがあり、毎週決められた課題を授業時間外でやらなくてはいけませんでした。授業形式は主に抗議というよりもグループワークが多い時であれば文法やライティングを学ぶ時もありました。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

2 期になりレベル 6.7 で過ごしたので授業は午後からでした・週 2 だけ午前の授業がプラスでありました。履修登録も前期と同じで学校が決めたタイムテーブルに割り当てられるといった形でした。クラス構成も変わりなく 20 人前後のクラスで国際色豊かなクラスでした。レベル 6 からは MLA 方式のライティングについて学び、テストも何回か行いました。

### III. 留学で得た学習成果

私は 6 か月間 3 セメスターをセネカカレッジで過ごして、英語はもちろんですが私の学校はライティングに力を入れていたのでエッセイの書き方を磨くことができました。またグループワークやプレゼンテーションを通してクラスのみなどとの交流を深め友達をたくさん作ることができました。セネカ自体日本人がとても少なく、英語を話す機会がたくさんあり人種の違う人たちとのコミュニケーション能力が上がったと感じました。また、そういった友達やセネカのフルタイムの学生の友達と話をしているうちに、日本にいたときでは想像もしなかったさまざまな人生があって自分の生き方を見直すきっかけになりました。6 か月間カナダで過ごしてみ慣れない土地の極度な寒さや、交通機関の不自由さ（日本と比べて）にとまどいもありましたが、客観的に日本を見るいいきっかけになりました。自分で積極的に話しかけたり笑顔でいることでいろいろなところに誘われたり、友達も増えてとても有意義な時間を過ごすことができました。

### IV. その他気づいたこと

カナダはとても寒い国であられや極度な寒さで 2 回ほど休校になったりしましたが、多国籍国家というだけあり、さまざまな人種の人々が生活しており、差別のほんとに少ない住みやすい国だと感じました。

留学種別	TESSIV
留学先大学	セネカカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### ・ELI

- ・ English Language Institute Level 7&8/Advanced English Skills 2&3
- ・履修登録なし、現地の方からのメール
- ・人数は20人前後 国籍は中国、韓国、ベトナム、イラン、ロシア、ウクライナ、スペイン 日本人はクラスに1、2名
- ・週に2日は午前中からの授業、週に3日は午後からの授業のみ 基本的に13時～17時頃まで休憩ありの授業
- ・講義形式

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

- ・コース変更手続きなし
- ・フライトサービス(FSO)
- ・ Airline Destinations: Domestic and Transborder/Communicating Across Contexts/Flight Attendant Specific-Aircraft General Safety/Flight Attendant Specific- Policies and Procedures/Ground Operations
- ・履修登録なし、現地の方からのメール
- ・人数は30人前後 国籍は圧倒的に多いのが韓国、フィリピン、カナダ人は少数
- ・月水金のみ授業 朝から夕方まで
- ・講義形式（モックアップを使った実践授業もあり）

### III. 留学で得た学習成果

私は前半英語コース、後半学部コースを経験できて本当によかったと感じています。日本人が他の国籍に比べて本当に少ないセネカカレッジだったので、異文化に触れる機会がたくさんありました。考え方が異なる人々と毎日関わることは自分の価値観を広げる貴重な経験になりました。2学期目の学部授業では、キャビンアテンダントになった際の初期訓練を想定した授業が主でしたので、具体的に自分の将来就きたい職をイメージすることができました。それだけではなく、人として社会に出て働く際に大事な考え方なども学ぶことができたので本当に貴重な経験だったと思います。

### IV. その他気づいたこと

現地人（カナダ人）の学生と交流する場が少なく、**Interenational Students**が多いのがセネカの特徴だと感じました。ネイティブスピーカーと関わる機会が全くというほどなかったのではないかと思います。他の国に留学に行っている友達から話を聞くと、現地の学生が日本語を学んでいて、そのコミュニティに入って日本語を教え、英語を教えてもらうという機会を利用しているということでしたので、帰国の際に現地担当者の方にそういう場を設けたらどうかという提案をしてきました。セネカでも日本語の授業があり履修をしている生

留学種別	TESS II
留学先大学	セルカークカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

Reading-world literature  
 Advanced Writing  
 Business communication  
 Volunteer internship  
 Teaching language learning  
 TSOL 101 teaching methodology  
 TSOL 110 teaching grammar  
 Academic language studies in

クラス人数 8人程度

1週間の時間割

月：4コマ

火：2コマ+ボランティア

水：3コマ

木：3コマ

金：ボランティア

授業形式：基本的に少人数クラスです。発言機会が多く与えられるため、充実しています。

学習状況：図書館が7時までなのと、日曜日は閉館なのが少し残念ですが、朝7時から開館しているため使いやすいたとも感じます。また、学校自体は遅くまで入ることができるため便利です。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

約4か月の留学を通して、私は何より自分に自信が持てるようになりました。以前の自分は何事にもあまり前向きではなく失敗したときのことばかり考えたり周りを気にして自分の意見をうまく表現することができませんでした。留学を終えた今、私は様々な国の留学生との交流や学部授業を通して、自分が成長したと感じています。また、それぞれの国の文化や、考え方の違いなど寮生活を通してコミュニケーション能力も身についたと感じています。英語力や知識はもちろんですが日本では体験できなかったであろうことを学べたことが何よりの成果だと感じています。

### IV. その他気づいたこと

日本人は他国では消極的だとみなされることが多いと聞いていましたが、それは本当で自分から進んで発言すると驚かれることが多々ありました。失敗を恐れず、少しネガティブなイメージがあることを逆手に取り、挑戦することが大事だと思いました。

留学種別	TESS II
留学先大学	セルカークカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

Advanced writing, 週二回  
Advanced grammar 週三回  
Business Communication 週二回  
Literature Reading 週二回  
Media Reading 週二回  
Global Discussion 週一回  
Volunteer Internship 週一回

履修登録はテストでレベルごとにクラス分けをされ、リーディング、ライティング、コミュニケーション、グラマーのクラスが決まります。セミナーはいくつかの中から三つ希望を出し、二つ取ります。わたしはどのクラスもレベル5にいたので、人数は10人前後と少なめでした。中国人、ベトナム人、フィリピン人、日本人がいました。授業は聞くとときもあればアクティビティばかりのときもありました。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

まず当たり前ですが人とのコミュニケーション能力が身についたと思います。他国籍の子とどのように接するかを学びました。また授業のなかで、友達のアクセントが強い友達の英語も聞き取れるようになりました。あと当たり前ですが、英語で授業をやらせてもらえるので、英語漬けの日々でたくさんの日常会話や表現が学びました、ライティングの授業では、どのようにエッセイを書くか、リサーチをするかなどを学びました。リーディングでは、世界の文学に触れ、語彙力を身につけられました。コミュニケーションの授業では、仲間と協力する大切さを学びました。ボランティアは、大学敷地内のデイケアに行き、子供達から元気をもらいました。グローバルディスカッションでは、世界の様々な問題について学びました。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	認定
留学先大学	セルカークカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

ELP プログラムで授業はライティング、リーディング、グラマー、コミュニケーション、カナディアンスタディ。

初日のオリエンテーションの日にレベル分けテストをうけて学校側がその結果を元に履修を組む。選択科目は2つ自由に選べる。選択科目の内容はボランティア、カナダの文化、発音などの内容。

ひとクラス 20 人ほどで日本人、韓国人、ケベック、中国人、メキシコ人などの国籍がいた。一コマが 2 時間と長いため一日に三コマで終了する。授業形式はナフスの授業と似ていて先生が生徒を指名することもあるがほとんどは生徒自身から発言することが多い。中間テスト、期末テストと大きなテストは 2 回だが小テストやチャプターテストが 2 週間に一度の頻度である。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

英語圏だけでなく他の国の言語や文化を他の留学生と話すことが多く学ぶことが多くとても興味深いものだった。勉強面ではライティングの構成を学ぶことができたし、プレゼンやディベートでは先生が生徒一人一人に長所短所をみつけ紙に書いて配布してくれるのでとてもためになった。

### IV. その他気づいたこと



留学種別	TESS II
留学先大学	セルカークカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

オリエンテーションで事前に英語力によってクラスわけがされるため、人数は約 10 人程度と少なめです。ベトナム、中国、韓国、ケベックからの留学生と一緒に授業を受けました。esl だったのですが、reading, writing, communication, grammar の 4 つの他に選択で 2 つの授業を選びます。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

esl はレベル 5 が最も高いレベルのクラスですが、そのクラスの単位が取れた場合、学部のコースを受講することができます。自分は次のセメスターはビジネスの学部コースを受講します。レベル 5 の受講が終了した場合コース変更のための試験などは無いですが現地大学の国際交流部のような担当の方と面談をしてどのコースを取るか、来期の目標などについて話をする必要がありました。

### III. 留学で得た学習成果

様々な国からの留学生と一緒に過ごしたので文化や宗教、価値観の違いなどについて学ぶことができたため自分の視野を広げられたり、以前より物事を広く考える能力が身に付きました。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	セルカークカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

授業科目名(レベル分けテストあり Lv1-5)

Grammar, Writing, Literature, Business communication, Business Idioms(セミナー), TESOL(学部)

\*レベルによっては学部コースも取れる

履修登録方法

レベル分けテストによって振り分けられる。

クラス構成

クラスによるが基本的に 10 人程度

時期によるが日本人が多く、次にカナダ (フランス語圏) メキシコ 韓国など

1 週間の授業時間割

一日に多い時で 3 クラス程度。一限目は 8 時からとはやいときもあれば遅い時もある。

授業体系

基本ゼミ形式でディスカッションやペアワークがメイン。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

学部コースへ (特にスコアなどは必要ないが先生と要相談)

コース

Early Child Care Education

TESOL

English

\*少しだけ ELP もとっていた

科目名

ECCE 179, ECCE189

Teaching English to Young Learners

English 60 (prepare for university)

Volunteer(ELP), Leadership(ELP)

履修登録方法

担当の先生と相談し、その後クラスの先生から許可をもらいに行く

クラス構成

ECCE では 15 に程度、国籍はカナダ、韓国、ブラジル、インド

TESOL では 10 人程度で、カナダ、中国、日本、韓国

English では 8 人で、カナダ、インド、日本

1 週間の時間割

ほとんどは一日一クラスという感じだったが、水曜日だけは二クラスあり、8:30 から 4:30 まで授業があったので長かった。学部のクラスによっては一クラス 4 時間以上の授業があった。

授業形式

おもにディスカッション。ECCE の場合は時々幼稚園などに直接言ったりしていた。プレゼンテーションも増えた。

### Ⅲ. 留学で得た学習成果

まず学習面では文法や文学などのクラスを受け、英語力はもちろん上達し、特に非英語話者にとって難しい英語を英語で考えるということが少しでもできたのでそこが一番成功できたところ。また、学部授業では幼児教育や TESOL といったコースをとることができ、カナダにおける日本との幼児教育や教育システムの違いや成長に応じた英語の教え方や学習環境の作り方などを学ぶことができた。

自身が成長できた点はカナダでの学習やそれ以外のことを通じて、楽観主義的な考えを持つことで余裕ができ、たとえ相手が自分と反対の意見を持っていてもその人の意見を冷静に聞くことができなるほどとうなずけるようになった点だと思う。身に着けたことはやはり自分の意見を恐れずに相手に言うことができたことだと思う。これをしなければ授業などには当然ついていけないし、評価も積極性がないと判断されてしまうのでやるしかないという感じだった。

### Ⅳ. その他気づいたこと

セルカークカレッジは驚くほどインターナショナルで様々な国籍を持つ生徒がいて、先生たちもそれを理解していたため、なにか問題があれば非常によく対応してくれていたと思う。

留学種別	認定
留学先大学	センテニアルカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

9月から始まった一学期目は **Hospitality Foundations** コースにて 5つの授業を履修しました。**Introduction to Math 1, Food Safety/Smart Serve/First Aid, Life Skills&Job Readiness1, Developed Communication Skills** と **World Geo for Tourism (Physical)**です。履修登録方法はウェブ上にある **Centennial College** のポータルサイトにて行いました。履修手続きでわからないこともアドバイザーの方に聞きに行ったりしてスムーズに進みました。クラスには現地のカナダ人をはじめ、カナダで育った外国籍の方や中国人、インド人の学生がいました。日本人の学生はクラス内にはいませんでした。私が履修したすべての授業は 25人ほどの少人数でしたので授業形式は講義形式というよりは参加型でした。月曜日から金曜日まで毎日 1-2つの授業があり、授業時間は授業によりますが、2-3時間ほどでした。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

一学期に引き続き **Hospitality Foundations** コースで5つの授業を履修しました。ほとんどの授業が一学期で学んだ知識を生かしてさらに詳しく学ぶ授業でした。二学期では **Introduction to Math 2, Life Skills & Job Readiness 2, Food Theory, Build Communication Skill** と **World Geo for Tourism (Human)**を履修しました。一学期と同じく、ウェブ上で履修登録をし、クラス構成は学生が5人ほど入れ替わりましたが、一学期とほとんど変わりませんでした。授業形式は参加型、月曜日から金曜日まで毎日 1-2つの授業があり、授業時間は授業によりますが、2-3時間ほどでした。

### III. 留学で得た学習成果

私は数学が大の苦手で英語で長めの文章問題の数学を学ぶのにはとても自信がなかったのですが、先生やオンラインの課題など毎日勉強していくことで、英語で学ぶ数学の勉強の仕方のコツをつかみ、4つの大きなテストではすべて満点を取ることができました。このことから、苦手なことを努力して得意なことにすることを学びました。これは人生の中でも大切になっていくと信じています。**Life Skills & Job Readiness** では特にカナダでの就活に役立つ **Resume, Cover Letter etc.**や自己分析、面接の練習をしたりする授業でとてもためになりました。カナダで就活をする時が来ても自信につながると思いました。**Food safety/Smart serve/First aid** の授業で私は3つの資格を取得することができました。アルコール飲料の扱いがとても厳しいオンタリオでアルコール取り扱うための資格、レストランやホテルで食べ物の安全を管理する資格など。

### IV. その他気づいたこと

私が通った **Centennial College** の成績のつけ方がとても分かりやすかったです。1つ1つの課題やテストに 00%と割合が決めており、先生方も学生にどうしたら%が多稼げかなどわかりやすく成績のつけ方を教えてくださいました。また、今自分がどれだけ%をとれているか、成績アップまでどのくらいかウェブ上のポータルで確認することができたのでとても便利でした。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースアイランドカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### Fall Semester

- ESL-052 reading
- ESL-055 writing
- ESL-058 grammar

履修登録方法：NUFS から NIC を通じて

クラス構成：3科目とも 18人ほど。(中国、ベトナム、ブラジル、日本、ドバイ、タイ、韓国)

授業時間割：

	月	火	水	木	金
8:30~11:30	052	052		052	
13:00~16:00	055	058	055	055	

授業形式：講義式。(グループワークやディスカッションもあり。)

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

#### Winter Semester:

※学部切り替えるには、IELTS 各セクション 5.5 以上、オーバーオール 6.0 を取得、もしくは ESL-090 を合格するかのどちらか。

- ESL-089 reading
- ESL-090 writing

履修登録方法：Student Service に行き自分で行う。

クラス構成：089→11人(中国、ベトナム、ブラジル、日本)

090→6人(日本、韓国、ベトナム、ブラジル)

授業時間割：

	月	火	水	木	金
8:30~11:30	090	089	090	089	
13:00~16:00					

授業形式：講義式。(グループワークやディスカッションもあり。)

### III. 留学で得た学習成果

8か月間の語学コースを通して、かなり自分の英語力は上達したと感じる。授業も少人数だったので、先生が生徒一人の質問に対してかける時間も長く、またそれをクラス全体で共有することが容易だった点良かった。日本には出来ていなかったが、この授業のおかげで先生の質問にも積極的に答える癖がついたと思う。ただ、語学コースを取っているだけでは英語力を向上させるのは難しいと感じた。いかに学外で英語を運用できるかが重要であると思う。

### IV. その他気づいたこと

#### IV

IELTS によって学部切り替えられるかどうかは、前もって知っておくべきだった。知っていたら、日本にいる間に何かしらの準備ができたと思う。

私がいた時点での ESL のコースに関しては、

ESL-055 (Listening) と ESL-052 (Reading) に合格、かつ ESL-052 で成績が 75%以上→ESL-089、ESL-090 の両方を履修可能

ESL-055 (Listening) と ESL-052 (Reading) に合格、しかし ESL-052 で成績が 75%以下→ESL-089 のみ履修可能

とい

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースアイランドカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

履修した授業は以下の3科目

・ **listening & speaking**(1 コマ 90 分・講義)

聞き取り・音読・発音練習・プレゼンテーション等

教材:YouTube 等

授業日:月曜午後・水曜午後・木曜午前

生徒:中国人 7 人・ベトナム人 7 人・日本人 3 人・ブラジル人 1 人・アラブ人 1 人

・ **writing & reading**(1 コマ 90 分・講義)

パラグラフ・エッセイの書き方・読解問題・文法

教材:Focus on vocabulary 2 (Mastering the academic word list)

授業日:月曜午前・水曜午前・金曜午前

生徒:中国人 7 人・ベトナム人 7 人・日本人 3 人・ブラジル人 1 人・アラブ人 1 人・タイ人 1 人

・ **grammar**(1 コマ 90 分・講義)

関係代名詞・仮定法・不定詞/動名詞

教材:Understanding and using English grammar

授業日:火曜午後

生徒:中国人 7 人・ベトナム人 7 人・日本人 3 人・ブラジル人 1 人・アラブ人 1 人・タイ人 1 人

教室や設備等について

学部を履修する生徒とは離れた建物にて。

清潔感もあまりなく、空調設備が良くない。

コンピュータは図書室等に多数そろっているが、書籍は比較的少ない。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

ホームステイ先について

両親と娘の3人暮らしで留学生は私を含め2人でお互いに日本人でした。カレッジからは徒歩30分でしたが、天気の良い日は基本的にホストから借りた自転車で通学をしていました。10分ほどでした。二階建ての一階に留学生が住む形式で、食事の時間は二階へ上がり、それ以外の時間帯は基本的に個人の部屋で生活をしていました。特に干渉されることもありませんでしたが、週に一度ほどハウスキーパーが私の部屋も掃除をしていたので少し気がかりではありましたが、設備としては、一階にもテレビや冷蔵庫があり、自由に使用を許可されており、とても生活しやすいと感じました。食事に関してもホストは基本的に料理が上手で、毎日美味しいご飯をいただけたと思います。白米やラーメンなどの日本食を食べる家庭だったので、それほど食文化に困ることもありませんでした。

休日の過ごし方については、友達とバスでダウンタウンに行き、お喋りをしたりセカンドハンドストアで洋服等を買ったりしていました。私の住む町には電車が通っていないため、移動手段はバス・自転車・徒歩が基本でした。

### III. 留学で得た学習成果

### IV. その他気づいたこと

留学種別	認定
留学先大学	ブリティッシュコロンビア大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

Vancouver English Experience Program, VEEP

400 Intermediate 1 -2

Integrated Skills Course, 16人中日本人12人、韓国人1人、サウジアラビア人1人、中国人2人

Integrated Project Course, 16人中日本人12人、韓国人1人、台湾人1人、中国人1人、サウジアラビア人1人

月曜一木曜

morning class 8:30-12:00

afternoon class 13:00-14:40

金曜

workshop 9:00-12:00

午前中の授業は基本的に座って先生の話聞く形式です。

午後の授業はプレゼンしたり教室を出ていろんなところへ行ってインタビューしたりします。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

Vancouver English Experience Program, VEEP

500 Intermediate 1 -2

Integrated Skills Course, 13人中日本人10人、韓国人1人、イラン人1人、中国人1人

Integrated Project Course, 14人中日本人12人、中国人1人、イラン人1人

月曜一木曜

morning class 8:30-12:00

afternoon class 13:00-14:40

金曜

workshop 9:00-12:00

午前中の授業は基本的に座って先生の話聞く形式です。

午後の授業はプレゼンしたり教室を出ていろんなところへ行ってインタビューしたりします。

### III. 留学で得た学習成果

英語で会話をするに対して緊張感や不安感を感じなくなりました。

年齢の違う、すでに社会人の外国人と同じ授業を受けることで勉強への姿勢やプレゼンの仕方などを学ぶことができました。

積極的に授業中に発言ができるようになりました。

世界のニュースや出来事に興味を持ち調べたりするようになりました。

### IV. その他気づいたこと

とにかく日本人が多いです。日本人は大学生がほとんどですが日本人以外は大学を卒業してから来ている人や社会人で会社を少し休んだり辞めて新しい事をしようとして来ている人がほとんどでした。



留学種別	認定
留学先大学	ヨーク大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

1週間のうちに、Reading Writing Grammer Speaking (プレゼン) を学習した。週に2日(一日二時間)のセミナーがあった。最初の二か月はイディオム、後の二か月はワールドニュースについて。クラスは13人前後で、プレイスメントテストによって決まる。中国人と日本人がほとんど、ウルグアイやイランが1名ずついた。全ての授業がゼミ形式。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

ほぼ毎週、プレゼンがあったので人前で話すことに慣れた。どのように話したら、楽しく聞いてもらえるか考える力がついた。

### IV. その他気づいたこと

私の通っていたところは、大学の語学学校でした。関西の大学が、プログラムで大勢で来ていたので、日本人がとても多かったです。

留学種別	TESS II
留学先大学	レイクヘッド大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

授業名→Reading & Writing、Listening & Speaking

クラス構成→人数は17人で、バングラデシュ人が1人、日本人が1人、その他は全員中国人。  
時間割→15時から3時間 Reading & Writing の授業があり、18時から1時間休みで、19時から21時の2時間は Listening & Speaking の授業。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

特に身に付いたのは文章力とプレゼン力。毎週確認テストがあり、そのテストで毎回エッセイを書く問題が出題されていたので、エッセイの練習をたくさんすることができた。特に、MLA方式のエッセイの書き方を学んだため、引用の方法など、エッセイを書く上で大切なことも学ぶことができた。また、プレゼンも計5回行い、本格的な練習を行うことができた。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESSⅢ
留学先大学	レイクヘッド大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

英米語学科とビジネス学科の授業をまじえながら3科目勉強しました。

1) **Foundation of Literary studies:** 古代の英米文学の話題作を使って、英米文学について **critical analyze** をしました。

2) **Academic Writing:** MLA 法で、半期使って一つの **fianal project** に向けて、文法や MLA の基本、**writing** の組み立て方を学びました。

3) **Introduction to Business:** ビジネスの基本およびオンタリオ地域のビジネス法について学び、エッセイやプレゼンテーションで成果報告しました。

履修登録は到着前にすませますが、履修放棄期間は約1ヶ月あります。クラスは基本30人前後ですが、大ホール(約150人)くらいの授業もあります。基本、週に同じ授業を2回受けるので、週4日は同じ時間割です。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

#### ビジネス科目

1 -**business Analytics:** 数字やグラフなどを使って分析能力を高めていく科目です。2000 word のエッセイが1つあります。

2-**principle of international business:**国際関係、マーケティング、戦略などを学ぶ科目です。1500 word のエッセイが2つあります。

#### 心理学科目

1-**introduction of psychology:**心理学の基礎を学ぶ科目です。オンラインテキストブックと先生のビデオで予習をし、基本的に授業時間内はアクティビティーが多いです。クイズが一学期あたり4つと、1500WORD のエッセイが1つあります。

#### 複言語科目

1 -**Italian A:**イタリア語の基礎を学びます。

履修登録は到着前にすませますが、履修放棄期間は **week 4** まであります。クラスは基本30人前後ですが、大ホール(約300-500人)くらいの授業もあります。基本、各科目、講義+チューターのパターンで、週4日は同じ時間割です。

### III. 留学で得た学習成果

英語力が上がった上に、グループで **discussion** することが少し出来るようになったり、**essay** に対する調べ学習の仕方がもっと大学生らしいものになりました。人としても親元を離れて過ごしたので、色々な面で自分の新しい面を見つけたり、長所や短所がはっきりしました。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	レイクヘッド大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

- ・コース名称

**Academic English Program**

- ・授業科目名

**Reading&Writing, Listening&Speaking**

- ・履修登録方法

提出した TOEFL スコアでレベル分けされる。自分での登録必要なし。

- ・クラス構成（人数、国籍）

11人（中国人8人、イラク人1人、日本人自分のみ）

- ・一週間の授業時間割

月～金：15時～18時 Reading&Writing, 月～木 19時～21時 Listening&Speaking

- ・授業形式（講義形式、ゼミ形式など）

少人数制なので先生が説明をする時間よりもディスカッションが多かった。Level4では3回のプレゼンテーション（最初の2回は個人プレゼン7～8分、最後は2～3人グループでプレゼン15分程）と3回のエッセイ(750words~)の提出があった。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

- ・コース名称 Academic English Program

- ・授業科目名 Reading & Writing、Listening & Speaking

- ・履修登録方法 前期からの繰り上がり

・クラス構成（人数、国籍）13人(中国10人、イラク1人、インド1人、日本人自分のみ（3週間だけメキシコ人1人）)

- ・一週間の授業時間割 月曜～金曜 9?12時 Reading & Writing, 13?15時 Listening & Speaking

- ・授業形式（講義形式、ゼミ形式など）

授業形式は前期と同じ。Level5では2回のプレゼンテーション（最初はグループプレゼン20?25分、最後は個人プレゼン15?20分）と2回のエッセイ(一回目1000words、二回目1500words)の提出があった。

### III. 留学で得た学習成果

クラスに日本人がいなかったこともあり、必然的に英語を話す機会が多く取れたため、スピーキングが一番成長したと思う。11人という少人数クラスなので必ず自分の意見を発表しなければならないことやプレゼンが3度あったため人前で話すことに少し慣れたようにも感じた。

### IV. その他気づいたこと

次の学期からは使うテキストが変わるそうなので、勉強内容は変わると思うが、授業形式や課題などがどうなるのかはわからない。

留学種別	TESS II
留学先大学	レスブリッジ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### ・ Canadian culture management

留学生向けの開講科目でした。他の留学生とともにカナダの文化や法律について学びました。毎回講義形式で動画を見たりなど楽しい授業でした。最終はグループでプレゼンでした。

#### ・ Introductory accounting

基礎会計 外大で開講している英文会計の発展版です。簿記をやっていれば問題ないです。講義形式で複数回の確認テストがありました。先生は親身になってくれたので質問しやすい環境でした。

#### ・ International management

国際経営

講義形式。スライドに基づいて3回のマークテストがありました。最終はグループでプレゼンでした。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

#### ・ Blockchain Fundamentals

今話題のブロックチェーンです。新規開講科目で珍しい授業です。毎回講義参加ではなくあたら得られたマテリアルを読み、テストに備えるという形でした。

#### ・ Growing small business

グループで活動でした。毎回テキストに基づいてレポートとプレゼンがありハードなクラスでした。先生は優しいので一番ためになる授業でした。

#### ・ Small business management

企業をするには何が必要なのか、カナダでのビジネス面についてスライドを元に3回のマークテストあり  
グループでファイナルレポート

#### ・ E commerce management

北米でのオンラインビジネスについて

Google adwords というものを実技で最終課題でした。

全て先生の言うことを聞き、普通に授業を受けていれば問題ないです。

### III. 留学で得た学習成果

やはりグループワークの量が日本とは違いました。

留学生もあまりいないので、現地学生と一緒にグループワークをするには非常に英語力がつきました。

プレゼンも多数あったので度胸がつけました。

### IV. その他気づいたこと

レスブリッジ大学はビジネス学科に留学するので、他大学と比べてビジネス科目の数がたくさんあります。

ビジネスについて学びたければここ一択です。

留学種別	TESS II
留学先大学	レスブリッジ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### English for Academic Purposes Advanced Reading & Writing

パソコンでの履修登録

人数：17人

国籍：日本、韓国、中国、台湾

火木：8:00-10:40 水金：8:00-9:50

授業形態：Lecture, discussion

#### English for Academic Purposes Advanced Communication

パソコンでの履修登録

人数：10人

国籍：日本、韓国、中国、台湾

火木：10:50-13:30 水金：10:00-11:50

授業形態：Lecture, discussion

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

#### Spanish

#### SPAN 1000 A Beginners' Spanish 1

コーディネーターにより履修登録

人数：12人

国籍：カナダ、フィリピン、韓国

月水金：9:00-9:50

授業形態：Lecture, pair activities

#### Religion

#### RELS 1000 A Introduction to World Religions

コーディネーターにより履修登録

人数：約200人

国籍：カナダ

月水金：14:00-14:50

授業形態：Lecture

#### Anthropology

#### ANTH 1000 B Anthropological Perspective

コーディネーターにより履修登録

人数：約150人

国籍：カナダ、スリランカ、日本

火木：13:40-12:55

授業形態：Lecture

### III. 留学で得た学習成果

一期目では学部授業をとるための英語の基礎的な力を伸ばすことができました。**Reading & Writing** のクラスでエッセイの書き方を学んだことは今後非常に役立つと思います。エッセイを書くまでのトピックの絞り方や情報の集め方、それを文字にするときの文章表現を、授業を通して自分で書くことでその力をより身に着けることができました。**Communication** のクラスでは、積極的に発言する勇気と **Discussion** における進行の仕方を学ぶことができました。誰かが話すのではなく率先して話すことで、ほかのクラスメイトも話やすい雰囲気をつくりました。また違う文化的背景を持つ彼らの意見に対して興味をもって理解することができました。

二期目で **3** つの学部授業をとり、英語で聞いて理解する力をつけることができました。**Spanish** では言語の学習をすると同時に、特に中南米の文化を知り、自分の興味を広げることができました。より中南米の国々について知りたいと思い、これからもスペイン語の学習をしながら理解を深めたいと思いました。また、日本で勉強していた時は気づきませんでしたでしたが、スペイン語は英語で勉強するほうが分かりやすかったです。**Religion** では世界の主要な宗教の基本的な概念や慣習を学ぶことで、人々の生活にどれほど宗教感が深く関わっているかを知ることができました。この授業を履修して、周りの人たちの宗教感にとっても興味を持つようになりました。また、カナダには異なる文化を持つ人々がたくさん住んでいるため、その環境の中で服装や食事の様子から宗教の違いに気づき、それぞれの祝い事に対する起源や思いを知ることができました。**Anthropology** では世界中に存在している少数民族や人々のある物事に対する反応といった様々な事例を学びました。表面的に見える文化の違いを感じることは簡単ですが、それにとどまらず、その意味や起源まで追求することで、文化同士のつながりや人々の交流の様子、文化が混ざり変化していった過程を知ることができました。違う文化に属する人々について学ぶことを通して、新たに発見する自分もつ文化にも気づくことができたことは、非常に面白く感じました。

#### IV. その他気づいたこと

カナダの学生はみんな意欲的に日々勉強しています。日本の学生もそうかもしれませんが、どこか業務的で単に卒業するために授業を受ける学生も少なくないと思います。私の大学の学生は授業内ではもちろん、授業外でも熱心に勉強しているように感じました。グループで集まってテストに向けての復習をする姿は毎日のように見られました。私も彼らの姿に触発されたことは何度もありますし、彼らのようになりたいと強く思いました。毎日忙しく難しい勉強をしながら、でもどこか充実感にあふれています。これは私が気づいたカナダの学生の姿であり、私も

留学種別	TESS II
留学先大学	レスブリッジ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

コース名称は、**English for Academic Purpose** で、私は、**Communication** と **Reading & Writing** のクラスを受けていました。

履修登録は、事前にクラス分けのテストを受けていたので、その点数に応じて、あちらからクラスを指定されました。なので自分で履修登録をする必要はないです。

クラスの人数は **15** 人ほどで、半分が日本人です。レスブリッジ大学と協定を結んでいる日本の大学があり、その大学ではレスブリッジ大学に留学することが必須で、常にこのプログラムに生徒を送っているため、クラスにおける日本人の比率はいつでも変わらないと思います。

週 **4** 日授業があり、1日に **2** つ (**Communication** と **Reading & Writing**) の授業を受けました。

月曜日と水曜日の1つの授業の長さは **1** 時間 **50** 分で、火曜日と木曜日は **2** 時間 **40** 分でした。

**Reading & Writing** の授業内容は、**NUFS** の **Reading** と **Writing** の授業を組み合わせたような感じで、

**Communication** の授業も、**NUFS** の **Core English** のクラスとほぼ同じように感じました。どちらの授業も、基本的にディスカッションやペアワークがメインです。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

**Reading & Writing** の授業では、主に **Writing** の方を重点的に勉強しました。授業では、エッセイの基本構造はもちろん、**thesis statement** や、参考文献の書き方など、エッセイにおける重要な点について細かく学習し、繰り返し繰り返し、エッセイを書く練習をしました。そのおかげで、エッセイを書くことに慣れ、留学する以前より、エッセイを書くのが得意になった気がします。また、エッセイの構造について理解が深まったことにより、**Reading** の授業で文章を読むときに、重要な部分をすぐ見つけられるようになりました。それにより、**Reading** のテストにかかる時間は短くなりましたし、点数も上がった気がします。**Communication** のクラスは、クラスメイトとディスカッションや、ディベートをすることが多かったので、自分の意見を英語で言う力がよりついたと思います。また、リスニング試験対策に先生が用意したリスニング教材 (**TED** トークのビデオ) をたくさん聞いたので、リスニング力も上がった気がします。また、プレゼンテーションをする機会が多かったので、プレゼンテーションのスライドの書き方、進め方についても学べましたし、人の前に立って話すことに、以前よりは慣れた気がします。授業を通して、英語を話すこと、人前で意見を言うことへの抵抗が、少なくなった気がします。

### IV. その他気づいたこと



留学種別	TESS II
留学先大学	ウエルバ大学
留学先国・地域名	スペイン
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

- ・コース名称

ビジネス、統計学、経営学、経済学

- ・授業科目名

“Introducción a la microeconomía y la macroeconomía/ Introduction to microeconomics and macroeconomics “

“Seminario de Métodos cuantitativos para la Economía y la Empresa / Seminar for Quantitative Methods for Business & Economics”

“Econometría Financiera / Financial Econometrics”

“Planificación y control estratégico / Planning and Strategic Control “

ESPAÑOL A1

- ・履修登録方法

international office へ履修登録用紙を持っていき、授業に空きがあれば履修することができる

- ・クラス構成（人数、国籍）

20人～80人

アジア人は一人、ヨーロッパからの人がほとんど

- ・一週間の授業時間割

火曜：15:30－21:30

水曜：10:30－14:30

木曜：10:30－21:30

- ・授業形式（講義形式、ゼミ形式など）

全て講義形式

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

学んだことのない分野を学んだため、難しかったが視野を広げるためには良い経験となった。また、アジア人や日本人がいないなかでの授業はとても新鮮なもので、日本が常識と知っていることが常識ではないということなど、授業からでも文化交流をすることができた。また、日本やアジアについて授業中や友人との交流でも聞かれることが多かったので、自国についての学習がもっと必要であると思った。

周りは英語が話せて当たり前という環境なので、そのような環境でいることが良かった。

### IV. その他気づいたこと

アジア人、日本人がいないという環境がとても良かった。そのため自国について知ることは大切である。

英語力はある程度必要である。

自分が今までに学んできた分野を学ぶほうが理解しやすく、テストも受かりやすく、負担は少なくなる。

留学種別	認定
留学先大学	オークランドインスティテュートオブスタディーズ
留学先国・地域名	ニュージーランド
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

コースは文法やリスニング、単語を重点的に行うスキルクラスとスピーキングを重点的に行うアカデミッククラスがありました。

クラス構成は大体15人ほどで国籍は日本人が2～3人その他中国、韓国、タイ、サウジアラビア、ペルー、ブラジル、チリ、カザフスタンなど国籍は様々で偏ってはいませんでした。

一週間の授業時間は午前クラスと午後クラスで毎日同じです。

授業形式は、ゼミ形式で行われていました。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

英語力に関してはスピーキング力とリスニング力が留学前に比べると比較的向上したように感じます。また、日本では関わることのできなかつた、様々な国の生徒たちと交流することで、今までになかつた新しい考え方や文化を知ることが出来ました。また、海外で暮らすことで改めて日本の良さを感じる事が出来ました。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	認定
留学先大学	カーン大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### DUEF

外国人向けフランス語コース

履修内容は決められている

20人ほど

国籍は日本、台湾、イラン、リビア、カナダ、アメリカ

90分授業 12コマ

講義形式のも会話重視なのもある

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

フランス語の言語能力向上。

国際的なマナーの違い。

特にリスニング力は上がった

さまざまな視点から物事を考えられるようになった

### IV. その他気づいたこと

留学種別	認定
留学先大学	カーン大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

カーン大学では前もって大学側に時間割を決められていて、スポーツや音楽の授業は自分で取ることができます。なぜなら、この大学の授業は DUEF のレベルに合わせて作られているからです。私がいた B1 は人数が多いため、一クラス15人の3クラスに分かれています。初めの一週間でレベルが易しいと感じたら上げることもできますし、その逆も可能です。1日2コマから3コマ、授業は日本の授業とよく似ています。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

この留学を通して、話す力と積極性を身に着けることができたと感じます。多くの国籍の人たちと授業を受ける中で、私たち日本人の話す力のなさにショックを受けました。私たちは日本語を音から覚えましたが、フランス語は文法から学びました。だから、私は文法より話すことに苦戦しました。多くの学生が文法に苦戦していたように思います。私は音でフランス語を身につけようと、知らない人たちの輪の中へ突然入っていくなど、以前では考えられないような積極性をみにつけたと感じています。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	認定
留学先大学	カーン大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

コース科目 : DUEF B1

授業科目名 : communication orale et ?crite , grammaire, g?ographie & institution, litt?rature, patrimoines, projet coop?ratif, phon?tique, atelier,

履修登録方法 : 最初から決められた履修を受ける

クラス構成 : 約 15 人程度 (日本人 4 人、韓国人 2 人、中国人 1 人、アメリカ人 2 人、ベトナム人 4 人、インドネシア人 2 人、モンゴル人 1 人、他、アラブ系)

授業時間割 : だいたい一日に 2 コマか 3 コマ。1 コマ 90 分授業。月～金までである。

授業形式 : 講義形式の授業がほとんどだが、中には会話重視の授業やプレゼン発表の授業も多くあった。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

留学を通して、アジア人(特に日本人)のスピーキング力が劣っている点を改めて実感しました。他の国の生徒は文法はあまり得意ではないがフランス語を耳コピしてるように感じ、授業でも積極的な姿勢が見られました。私は自分がどれほどフランス語が話さなかったのかを目の当たりにし、自分に落胆しながらも 1 日に 1 度は授業で自分の意見を発表することを心がけました。すると自然と授業の内容が入ってきやすく理解度も高くなり、自分の発言が理解してもらえた時の達成感は今でも覚えています。

私が留学中に心がけていたこととして、フランス人の友達をたくさん作り極力、その子たちと接することです。ネイティブのフランス語を常日頃から聞くことによって新しい使い方や、新しい単語を学ぶこともできます。さらに自分の文書の間違いを直してもらえるので一石二鳥です。また、さらにフランス語に触れる機会を増やそうと、週末ホストファミリーや大学主催のパーティーにも参加しました。このように、いかに短期間でフランス語を習得できるか自分なりに考え、積極的に行動する力がついたのではないかと思います。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESSⅢ
留学先大学	グルノーブルアルプ大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

1期目はUGA（グルノーブルアルプ大学）から4つ授業を履修しました。Initiation aux méthodes d'analyse littéraire, Culture et expression, Théories des écritures, Economie et politique de la communication という授業です。Initiation-は長文を読んで問題に答えたり、批評の書き方などを勉強しました。これは留学生向けの授業のため、正規の学生は履修していません。授業は当然フランス語で行われます。次に Culture-はフランスの18世紀の歴史について学びました。この授業は正規留学生も履修しています。この授業はスライドを使わず、板書もあまりしない授業であり理解できませんでした。次に Théorie-文字の起源や文字と社会について学びました。教授はバカンス前と後で変わりました。板書はなくスライドはバカンス後の教授のみ使用してくれました。前半の教授は時々動画や写真などを見せながら説明をしてくれました。Economie-は SNS が経済に与える影響などについて学びました。毎回スライドを見ながら解説されました。Théorie-と Economie-は L3 の生徒と一緒に受けていたので難しすぎました。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

2期目もUGA(グルノーブルアルプ大学)から4つの授業を履修しました。Exploration de la langue française, Phonétique articulatoire et phonologie, Représentations phonologiques, Champs médiatiques acteurs et stratégies という授業です。Exploration-は3人の教授が入替わりになって授業をしてくださいました。1人目の教授の時はフランス語のイディオムについて学びました。2人目の教授の時は発音記号について学びました。3人目の教授の時は音韻論と音声学について学びました。課題は1人目2人目の教授はレポート提出で3人目の教授は最後の授業の際にテストを行いました。毎回スライドで授業が行われました。留学生向け授業のため比較的理解しやすい授業でした。Phonétique-は唯一中間テストも行われました。そのおかげで自身の理解度がわかりなんとか授業についていけました。音声学や音韻論について学びました。毎回スライドでの授業でした。教授の解説ばかりではなく一緒に問題を解く時間も設けられました。周りの学生も必ずわからない点を質問しており、自分だけが置いてけぼりでないことに気づけこの授業はとても受けやすかったです。教授も授業後に理解できているか声をかけてくださいました。Représentations-はとても難しい授業でした。ですが友達がテスト前や授業後にわからない点を教えて下さったのでテストも頑張れました。発音記号について学びました。毎回スライドで授業が行われました。こちらの教授もよく気にかけて下さりました。Champs-は大きな講義室で授業が行われました。この授業はL3の学生との授業でかなり難しかったです。メディアについて学びました。Exploration-, Phonétique-と Représentations-は20人程の学生と履修しました。Champs-は50人程の学生と履修しました。

すべての授業はもちろんフランス語で行われました。1期のときよりかはどの授業も理解がしやすかったです。興味のある授業を取るのが1番だと感じました。

### III. 留学で得た学習成果

学習成果は音韻論、音声学について学びましたのでフランス語を話すときに舌の動きや唇の動きを意識するようになりました。当たり前ですが留学前よりリスニング力が向上しました。

成長した点は、何事にも寛容になりました。周りの方たちがとても優しい方だったので1人で考え込まずに周りに助けを求めるようになりました。人に優しくなりました。一つの言語をとっても様々な訛りや違いがあることに気づいたことで、言語に対する考えが変わりました。

身につけたことはオンとオフの切り替えです。フランスでは6週間ごとに1週間のバカンスがありますので勉強ばかりするのではなくしっかり休息を取ることを覚えました。そして挨拶をきちんとするようになりました。会話は必ず **Bonjour** 等の挨拶から始まっていたので帰国後も挨拶を常に心がけています。

#### IV. その他気づいたこと

フランス語能力がある程度無いと躓きます。ですが助けを求めたら皆さん優しいので助けて下さります。

留学種別	TESSⅢ
留学先大学	ジャンムランリヨン第3大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

Facult? Langue

La culture fran?aise

La litt?rature japonaise

FLE

Japonais Langue

5?me Th?me

Japonais expression

3?me Version

3?me Th?me

大学のサイトの個人ページから選択して登録

CM→40~50人

TD→20~30人

日本人 フランス人が主

月曜日 10:00~11:00 La culture fran?aise 14:00~16:00 La litt?rature japonaise

火曜日

水曜日 10:00~12:00 FLE 14:00~15:30 Japonais Langue

木曜日 11:00~12:30 5?me Th?me 15:30~17:00 Japonais expression

金曜日 8:00~9:30 3?me Version 12:00~14:00 3?me Th?me

すべて講義式

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

Facult? Langue

La culture fran?aise

FLE

Approfondissement la culture japonaise

5?me Th?me

La litt?rature japonaise

Japonais Compr?hension

3?me Version

3?me Th?me

大学サイトの個人ページから選択

CM →40 から 50人

TD →20 から 30人

日本人 フランス人が主

月曜日 10:00~11:00 La culture fran?aise 16:00~18:00 FLE

火曜日 14:00~15:00 Approfondissement La culture japonaise

水曜日

木曜日 11:30~12:30 5?me Th?me 14:00~15:00 La litt?rature japonaise

17:00~18:30 Japonais Compr?hension

金曜日 9:30~11:00 3?me Version 12:30~14:00 3?me Th?me



すべて講義式

### Ⅲ. 留学で得た学習成果

フランス語のみを勉強するだけでなくフランス語で日本の文化や日本語自体を学ぶことで相対的に日本を見つめなおすことができた実感しました。

授業は主にフランス人と受けていたので、日本について感じていること、疑問に感じていることを話し合う機会を多く持てたことは貴重だと感じました。

### Ⅳ. その他気づいたこと

留学種別	認定
留学先大学	トゥールーズカトリック大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

授業科目名はフランス語のみ。履修登録方法は、自分で履修登録する必要はなく、既に履修科目が決められている。クラス構成（人数、国籍）は月ごとに変動はあるが7～13人程度である。一週間の授業時間割は、月曜日から木曜日までが8時30分から12時15分、金曜日のみ9時から12時までの時間割である。授業形式（講義形式、ゼミ形式など）は講義式。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

学習成果としては、名古屋外国語大学で既に習ってはいたが、理解が十分に出来ていなかった文法をフランス人講師の丁寧な説明や練習問題によって理解を深めることができた。また文法に関しては、ただ習うだけではなく、その文法を使った会話文を練習したので、日常会話に活かせるようになった。毎月ごとに3つの題材が掲げられ、例えば11月の仕事、法廷、化学技術とフランスにおける常識や価値観を学ぶことが出来た。本を読むのが嫌いな私にとって、そのテーマにあった短い文章を読むことで、効率的に学べたのはもちろん、文章を読むことに対する苦手意識が薄まったように思う。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	認定
留学先大学	トゥールーズジャンジョレス大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### DEFLE

comprehension orale 月曜日 14h~16h

comprehension ecrite 火曜日 8h30~12h30

expression ecrite 水曜日 8h30~12h30

expression orale 木曜日 8h30~12h30

civilization 金曜日 10h30~12H30

登録方法は授業中に配られる履修登録の紙を記入し先生に提出

16人 アメリカ、チリ、ドミニカ共和国、トルコ、スーダン、韓国、中国、バングラデシュ、アルメニア、ノルウェー、アルジェリア、イラク、イラン、シリア、ロシア、コロンビア  
講義形式

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

#### DEFLE

comprehension orale 2月曜日 14h~16h 金曜日 10h30~12h30

expression ecrite 2 火曜日 10h30~12h30

comprehension ecrite 2 火曜日 14h~16h 木曜日 14h~16h

expression orale 木曜日 8h30~12h30

civilization 2 火曜日 8h30~10h30

上記と同じ履修登録方法

上記と同じクラス構成

講義形式

### III. 留学で得た学習成果

フランス語を通して友達と交流したり、現地の人と円滑にコミュニケーションをとれるようになったと感じた。

また異国の地で一人で生き抜く力を養えたと思う。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	認定
留学先大学	パリ第4大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### Langue et civilisation française

週4日2.5時間ずつ grammar の授業、

隔週で5日1時間ずつ発音の授業、

講義2つ(私の場合、パリについての講義とファッションについての講義を受けました)

コースが決まっているので履修登録は必要ありません。

講義もその場での出席とテストで成績がつくので事前登録はありませんでした。

1クラス20人程度、様々な国籍で年齢もいろいろでした。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

フランス語を常に使うので、日本の授業で使わないようなネイティブっぽい日常会話で使うフレーズを自然に覚えることができました。また、発音の授業では自分では気づかない細かいところを指摘してくれるのでとてもためになりました。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	認定
留学先大学	ブルゴーニュ大学附属語学学校
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

クラスは15人で国籍は、日本人が多く5人もいた。ほかの国籍は、アメリカや韓国、中国、ブラジル、コロンビア、メキシコ、ドイツなど多様な国籍の人がいた。授業は、主に言語を学び、週に一コマだけ文明文化の授業があった。言語の授業では、文法や長文読解、リスニングの問題を解き、その後全体で答え合わせをするという形で進められた。基本的には、答え合わせをする前に隣同士ペアになって、自分の回答を説明し合った。この前期のクラスでは、プレゼンテーションやディスカッションはなかったが、度々クラスメイトそれぞれの国の文化や言語について教師から質問されることがあった。2人組でダイアログを考えてそれを発表するという事は2回くらいあった。

文明文化の授業では、フランスの地形や政治、マナーなど基本的なことを学んだ。週末に長文の作文を書く課題が課され、テーマは毎回授業の内容に沿ったものをフランスと母国の文化を比較しながら意見を書くものが多かった。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

クラスは20人で、日本人は自分だけだった。国籍は、アメリカ、カナダ、メキシコ、韓国、香港、中国、インド、ベトナムでアジア圏が多かった。

授業は前期のクラスと同様、言語と文明文化の2種類だった。

両方の授業でフランスと母国を比較したプレゼンテーションやディスカッションをする機会が多かった。自分の意見を発信するだけでなく、クラスメイトの話を聞くことで、より他国への理解が深まったと思う。

また、言語の授業は発音矯正も週に一度行われた。

### III. 留学で得た学習成果

先生は、教科書に載っているような言葉だけではなく、現代のフランス人が使う言葉やスラングなども教えてくれたので、フランス人の友人と会話する時には役立った。

作文の課題が毎週出され、添削も丁寧にして頂けたので、同じ間違いをすることが減った。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	認定
留学先大学	ミッシェルドゥモンテンニュボルドー第3大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

CODES CULT/INTERCULT  
 COMPREHENSION DE L'ORALE  
 PRODCUTION ORALE  
 GRAMMAIRE ORTHOGRAPHE  
 COMPREHENSION DES ECRITS  
 CONN.CULTURELLES OBJECT  
 ECRITURE TEXTES SiMPLES

日本人4 中国人4 トルコ人1 ロシア人1 コロンビア人1 ガーナ人1 ベトナム人1 ブラジル人2  
 月曜 8.5~13/火曜 13.5~15/水曜 13.5~17.5/木曜 11~12.5 13.5~17.5/金曜なし  
 授業は全て講義形式。DEFLE の棟は他の学部とは孤立しており平屋の建物。廊下には机が設けられていて、自主学習できるスペースがある。教室は15個ほど。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

一学期末のテストの結果によって2期のクラスのレベルが変わるが基本は一つ上のレベルに行く。

CODE CUTU/INTERCULT  
 COMPREHENSION DES ECRIT  
 PRODUCTION ORAL  
 GRAMMAIRE ORTHOGRAPHE  
 COMPREHENSION ORAL  
 CONN.CULTURELLES OBJECT  
 ECRITURE TEXTES SiMPLES

日本人4・中国人5・コロンビア人3・ブラジル人1・メキシコ人1・ロシア人1・トルコ人2・  
 ガーナ人4・韓国人1・台湾人1。エジプト人1・イラン人1  
 月曜なし・火曜 11~13/14.5~15.5/16.5~18.5・水曜 15.5~19・木曜なし・金曜 8.5~11.5/13.5~17.5

### III. 留学で得た学習成果

リスニング力が向上し先生が話していることが始めはわからなかったが、今はほとんど理解できるようになった。自らが積極的に発言したり、前に出ようとする事ができた。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	ミッシェルドゥモンテンニュボルドー第3大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

コース : DUEF2 NIVEAU2

授業 : Compr?hension orale, Production orale, Grammaire Orthographe, Code culturels/interculturels, Connaissances culturelles objectives, Compr?hension des ?crites, ecriture des textes simples

履修登録方法 : クラス分けテストのみ

クラス構成 : 約 20 名、日本、韓国、中国、ベトナム、インドネシア、アメリカ、ブラジル、コロンビア、チリ、シリア、ギリシャ、ガーナ、南アフリカ

時間割 : 午前のみ、水曜休み

授業形式 : 講義、グループワーク

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

コース : DUEF3

授業 : Grammaire Orthographe, Compr?hension Orale, Son/orthographe, Production Orale, Civilisation, Production ?crite, Compr?hension ?crite, M?dias, Textes litt?raire

履修登録方法 : 1 基の成績に基づく。選択科目は紙に書いて提出。

クラス構成 : 授業によってクラスが異なる。8 人~30 人。日本、韓国、中国、ベトナム、インドネシア、アメリカ、ブラジル、コロンビア、チリ、シリア、ギリシャ、ガーナ、南アフリカ、メキシコ、イラン、タイ

時間割 : 午前のみ、午後のみ、1 日中

授業形式 : 講義、グループワーク

### III. 留学で得た学習成果

話す、聞く力が特に伸びた。

### IV. その他気づいたこと

ヨーロッパの人はほぼいないが、世界中から生徒が集まっており、国籍、年齢がバラバラな点で刺激が多い。

留学種別	認定
留学先大学	リヨンカトリック大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

フランス語コース(月、火、木、金)

文化科目コース(水)

1コマ2時間半でフランス語コース、文化科目コース1日2コマずつ  
文化科目コースは学期の初めに選択できます。

1クラスは20人程です。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

フランス語コース(月、火、木、金)

文化科目コース(水)

1コマ2時間半でフランス語コース、文化科目コース1日2コマずつ  
文化科目コースは学期の初めに選択できます。

1クラスは20人程です。

### III. 留学で得た学習成果

フランスのことについてよく知ることができました。フランス語について、文を書く力がついたと思います。

### IV. その他気づいたこと



留学種別	TESS II
留学先大学	ブリュッセル自由大学
留学先国・地域名	ベルギー
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### ・授業科目名

- ・英仏翻訳
- ・英文法
- ・フランス言語語学1
- ・フランス言語語学2
- ・論述表現法1～単語と文の研究～
- ・ベルギーのフランス文学
- ・フランス語の音声学
- ・外国語としてのフランス語 中級1
- ・フランス語の口頭表現1
- ・履修登録方法

学期初日にガイダンスがあり、そこで履修登録用紙配られ、履修にあたっての規則の説明が全体であります。

最初の2週間は様々なクラスを見に行けます。

履修登録用紙は授業開始から3週間後に提出だったのでそれまでは履修を組み直すことが出来ません。

#### ・クラス構成（人数、国籍）

取る授業によりますが、フランス語は留学生用の授業を履修していたので、国籍は様々で1クラス約15人程度の少人数クラスでした。

英語は正規授業だったので、ベルギー人と履修していましたが、これも約15人程度でした。

#### ・一週間の授業時間割

月曜日：フランス言語語学1、ベルギーのフランス文学

火曜日：外国語としてのフランス語 中級1

水曜日：フランス語の口頭表現1、論述表現法1～単語と文の研究～、フランス語の音声学

木曜日：外国語としてのフランス語 中級1

金曜日：英仏翻訳、英文法

#### ・授業形式（講義形式、ゼミ形式など

全て講義形式の授業でした。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

#### ・授業科目名

- ・クラス構成（人数、国籍）
- ・一週間の授業時間割
- ・授業形式（講義形式、ゼミ形式など
- ・英仏翻訳
- ・英文法
- ・フランス言語語学2
- ・論述表現法2～文とテキスト（文章）の研究～
- ・ベルギーフランス語圏の文化2

- ・外国語としてのフランス語 中級2
- ・フランス語の口頭表現2
- ・履修登録方法

前期と同様です。

- ・クラス構成（人数、国籍）

英語は正規生と同じ授業であったため、先生や受ける生徒は変わらなかったが、授業の曜日と時間帯が変わった。

フランス語の授業も同じ授業でもレベルが少し高くなったり、メンバーが入れ替わりました。（留学生は1学期だけ留学する人が多く、人の入れ替わりがあった。）

- ・一週間の授業時間割

月曜日：英仏翻訳、論述表現法2～文とテキスト（文章）の研究～、フランス語の口頭表現2、ベルギーフランス語圏の文化2

火曜日：外国語としてのフランス語 中級2

水曜日：全休

木曜日：フランス語言語学2、外国語としてのフランス語 中級2

金曜日：英文法

- ・授業形式（講義形式、ゼミ形式など）

全て講義形式の授業でした。

### Ⅲ. 留学で得た学習成果

私は高校でも休学留学でベルギーへ1年間留学をしていたので、聞く事や話す事は得意でしたが、文法で曖昧な点が渡航する前は多くありました。しかし、この留学を経て条件法や接続法などの中級レベルの文法の用法をしっかりと習得出来たと思います。

またフランス語の発音記号を学べたことでテキストが読みやすくなりましたし、発音も意識しながらフランス語を話す習慣が付きました。まだ話す際に文法や発音の間違ひはあると思いますが、日常生活では問題なくフランス語を話せるレベルに持っていったと思っています。

また **ULB** の留学生用のフランス語の授業の最低レベルは **B1** でした。私にとっては難しい授業や1回の授業の量が多いので必死に勉強しました。回りの留学生もフランス語を流暢に話せる子が多くて劣等感を感じる事も多くありました。ですが、毎日勉強をコツコツしたことで確実にフランス語力は伸びたと思います。言語面ではないですが、困難な事にも逃げずに立ち向かう力がよりこの留学でついたと思います。

### Ⅳ. その他気づいたこと

コーディネーターにも報告済みですが、留学生のフランス語のレベルは最低でも **B1** であることと、正規の授業も日本に関連した授業がかなり少ないためなかなか単位の取りにくい大学だと思うので、**A2** レベルの生徒は派遣しない方がいいと感じました。

**ULB** のコーディネーターもいますが、サポートはかなり最小限なのでそういう点も含めても渡航前からフランス語が日常会話程度話せる子を派遣した方が安心だと思います。

留学種別	TESSⅢ
留学先大学	上海外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

留学生コースを受講しました。  
初級・中級・高級などクラスがたくさんあります。  
最初にテストを受けてクラスが決まります。  
授業科目は精読、口語、リスニング、映画をみる授業がありました。  
履修登録は、テストを受けて決まったクラスに配属されるだけで、もうすでに授業が決められており自分で選択できません。  
ただ自由科目は選択可能です。オフィスに行って登録できます、  
クラス構成は人クラス 20 人ほどで、日本、韓国、ロシアの生徒が多かったです。  
授業の時間割は毎日 90 分の授業を 2 コマ計 3 時間受けました。  
クラスによりますが、だいたい午前中で授業が終わることが多かったです。  
授業形式は授業によって違います。先生の話をはたすら聞く授業もあれば、発言を求められる機会の多い授業もあります。  
毎週 1 人ずつ PPT を使って小さな発表をする授業もありました。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

二期からは高級クラスになったので精読や口語、リスニング、映画の授業のほかに日中翻訳の授業や、中国の歴史の授業なども学びました。  
履修登録方法や時間割、クラス構成は前期と同じでした。

### III. 留学で得た学習成果

日本語がほとんど使われない環境で受けるので、リスニング力はかなりついたと思います。  
周りの生徒は日本と比べて積極的な人が多いので、自分の意見を発言することに恥ずかしがる気持ちは少し薄れました。

### IV. その他気づいたこと

授業は午前中で終わるかもあるので日本にいる時よりも時間があります。  
その時間を使って、自分なりに勉強していくといいかなと思います。

留学種別	認定
留学先大学	北京外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

中国語言文学学院

- ・必修 中級漢語/中級口語/中級閲読・作文 選択 習慣口語（中級）/中級漢語見る・聞く・話す
- ・必須科目はクラスで自動的に決まる。選択科目はクラスで1枚紙が配られ、受けた科目の欄に名前を書きクラスの代表が留学生オフィスに提出する。
- ・17人 韓国、ハンガリー、エジプト、ロシア、カナダ、インドネシア、ミャンマー、インド、スウェーデン、スペイン、スロバキア、フランスなどクラスによって国籍が異なりたくさんの国から留学生が学びにきている。
- ・50分の授業が2回で1科目分。必修科目は1週間に3回ずつ、選択科目は1回ずつ
- ・講義形式

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

周りの留学生に圧倒されたのもあり、授業中に発言することが多くなった。発言したいときやグループで話し合うときに、最初は言いたい言葉がすぐに出てこないことが多くもどかしさを感じることもあったが、少しずつ慣れていき、自分の言葉で伝えることができるようになった。

また、暗唱することが多く最初は覚えるのに時間がかかったが、コツをつかみすぐに文章を覚えることができるようになった。

### IV. その他気づいたこと

必修科目での決まったクラスメイトだけでなく、選択科目に参加することで他のクラスのクラスメイトとも仲良くなれた。特に選択科目では先生がペアを決めて会話練習や発表することもあったため、選択科目にも参加することで、交友関係が広まると思う。

また、必修科目とは違う、日常的な、最近使われている単語も学べる。

留学種別	TESS II
留学先大学	北京外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

授業は必修、選択科目共に全て中文学院で行います。必修科目は口?、??、?写の3つで、選択科目は中国語イディオムや文化体験、祝日文化、HSK 対策などあります。1学期目は授業開始前にピンインと口語のテストがあり、その成績で必修科目のクラス分けがされます(A-H/A<H)。選択科目の方は授業開始1週目にクラス内で履修を申し込むだけなので履修登録はとても簡単です。クラスメイトは合計12人でフランス、ポーランド、タジキスタン、韓国、ウクライナ、ロシア、トルコ、アメリカ、モンゴルの留学生がいました。北京外大の授業は休憩除いて1コマ100分です(間に10分休憩があります)。必修科目3つは週にそれぞれ3コマで合計9コマあります。選択は週に1コマです。授業はどれも普通の教室でクラスメイト全員で受けます。

### II. 2学期目以降の学習状況(1年以上の留学の場合)

2学期目の必修科目のクラスは前学期の1つ上のクラスで勉強することになっているのでテストを受ける必要はありません(例:A→B)。ですが、前学期のクラスでのテスト全て90点以上の場合又は自分でテストに申し込み合格した場合、2つ上のクラスで勉強することができます(例:A→C)。必修科目の内容は1学期目と同じ口?、??、?写です。また、選択科目の内容や履修方法も1学期目と同様です。2学期目のクラスメイトは全部で15人でミャンマー、ロシア、スペイン、チェコ、日本、ブルガリア、韓国、フランス、タジキスタン、インド、イタリアの人がいました。授業時間や方法も1学期目と同様です。

### III. 留学で得た学習成果

北京外大での授業は日本の授業に比べて一人一人発言する機会が多いです。特に口語の授業では毎回少なくとも1回は自分の考えを話したり、クラスメイトと討論する機会がたくさんあるのでスピーキング力を高めるのにとてもよかったです。話すために自分の意見をきちんともたなければいけないので、より主体的に授業に参加することができました。留学前より、人前で発言することに慣れ抵抗が少し無くなったと思います。また、北京外大は本当に多くの国の留学生がいるので授業や普段の交流を通して驚くような文化や習慣の違いを学べたり、各国の国民性なども感じ取れたりできました。日本では、授業外の勉強は基本的に一人で終わらせていましたが、北京外大での課題は授業外でもクラスメイトと相談したり協力する必要があるものも多くあったので、そこでも会話の練習もできましたし、他の人と勉強することで新しい目線からの意見などにも気づけてとても勉強になりました。留学自体、普段の生活自体が勉強なので自然にスピーキング力もリスニング力も上がり、検定の合格レベルにも知らない間に達していたのでとても満足しています。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	認定
留学先大学	復旦大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### 語学学習コース

リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの四種類の科目

1コマ45分の授業が週に20コマあります。

割合は、精読・泛読（リーディング）の授業が合わせて週に10コマ、

写作（ライティング）2コマ、口説（スピーキング）4コマ、听力（リスニング）4コマ。

クラスは15人ほどで多国籍ですが、日本や韓国などアジア圏の生徒が4割を占めています。

履修登録はなく、すべての留学生在が最初に行われるレベルテストによってA～Jまでのクラスに分けられます。

授業はすべて中国語で行われます。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

一番の学習成果はリスニング力の向上だと思います。授業がすべて中国語で行われるため、自然とリスニング力が上がりました。日常生活での会話も、友達や先生、お店の人などとの会話の中で聞く力がついてきたことを実感します。

日本の授業との一番の違いは実践的であることです。クラスメイトの前で発表する機会も多いですし、宿題の量も多いので、毎日必死にこなしているうちにおのずと身につきます。

何より中国語しか使えない環境なので、すこしでも中国語を習得したいという気持ちが強くなり、勉強を自らするようになったことも成長できた理由の一つだと思います。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	大連外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

- ・授業科目名 精読、リスニング・スピーキング、閲読
- ・クラス構成 19人 日本・韓国・ロシア・アルメニア・イタリア・エチオピア
- 一週間の授業時間割 午前中に90分の授業が2コマある。週に精読5コマ、リスニング・スピーキング3コマ、閲読2コマ
- ・授業形式 講義形式

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

- ・授業科目名 精読、リスニング、スピーキング、閲読
- ・クラス構成 20人 日本・韓国・ロシア・イタリア・エジプト・ポルトガル・エチオピア・ウズベキスタン・タジキスタン
- ・一週間の授業時間割 午前中に90分の授業が2コマある。週に精読4コマ、リスニング2コマ、スピーキング2コマ、閲読2コマ
- ・授業形式 講義形式

### III. 留学で得た学習成果

留学に来た当初は、中国語でコミュニケーションをとるときに自分が言いたいことをうまく伝えられなかったり、言葉が出てこない時がたくさんありましたが、毎日授業に参加して勉強しているうちに自分は言いたいことを伝えられるようになりました。また、中国語を使ってコミュニケーションをとることに対して不安を感じなくなりました。クラスメイトや中国人の人とコミュニケーションをとる楽しさがより感じられました。なによりも、リスニングの面では留学に行く前といった後で大きく変わったと思います。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	大連大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

授業は文法・口語・リスニング・概況・習字・文章を書く授業があります。一日4コマか3コマの日がほとんどです。1コマ90分で45分、45分に分けて間に5分の休憩をはさみます。クラスの人数は約15人で、韓国・ロシア・タイ・エジプト・コモロ・モンゴルの留学生が居ます。先生は中国語しか話せないため文法の授業なども全部中国語だけで行われますが、一人一人が分かるまで説明して下さり授業の雰囲気はとても良いです。教室は古く埃っぽいです。トイレが近く教室まで匂いがします。学校のトイレは和式でトイレットペーパーがないので常にポケットティッシュを持ち歩いています。教室の近くに大きな図書館とカフェがあります。学校内の唯一のWi-Fiスポットがこのカフェなのでパワーポイントを作成するときはカフェに行きます。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

### III. 留学で得た学習成果

教室などの施設は決して綺麗ではありませんが、授業数は多くて勉強をする環境としては満足しています。

日本に居るときより授業スピードがはやく、覚えなといけない単語や文法が多いので、成長がはやく

感じます。また、中国と日本では衛生面など色んな部分で大きな差があります。最初は耐えられなく、学校のトイレに行くのを拒むほどでしたが、今はほとんど気にしなくなりました。

### IV. その他気づいたこと



留学種別	認定
留学先大学	天津外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

- ・ 語言生
- ・ 精?、泛?、口?、听力、写作
- ・ 学期始めに指定日に自分で直接申請しに行く。
- ・ 1レベル3クラスほど、1クラス25人ほど、国籍：アメリカ、イギリス、ブルガリア、ロシア、デンマーク、ドイツ、タイ等。
- ・ 毎日45分授業4コマ
- ・ 口?はプレゼンテーションが複数回とグループワーク、他の授業は講義形式。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

- ・ 語言生
- ・ 精?、泛?、口?、听力、写作
- ・ 学期始めに指定日に自分で直接申請しに行く。
- ・ 1レベル3クラスほど、1クラス25人ほど、国籍：アメリカ、イギリス、ブルガリア、ロシア、デンマーク、ドイツ、タイ等。
- ・ 毎日45分授業4コマ
- ・ 口?はプレゼンテーションが複数回とグループワーク、他の授業は講義形式。

### III. 留学で得た学習成果

- ・ HSK5級取得
- ・ 中国語の上達、積極性が身についた。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	天津外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

中級3級クラスの精読、口語、リーディング、リスニングの4科目を受講しました。履修登録方法は、1週間の履修期間中各クラスの授業を受けてみて決めるというものです。人数は30人ほどで、ヨーロッパの国々から来ている人が多かったです。月曜日は、精読1コマ、火曜日は、リーディング1コマ、精読1コマ、水曜日は、口語1コマ、リーディング1コマ、リスニング1コマ、木曜日は、口語1コマ、精読1コマあり、金曜日は授業がありませんでした。授業形式は、教科書に沿って本文、重要語句・文法等を確認し、練習問題を進めていくというものでした。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

準高級クラスの精読、口語、リーディング、リスニングの4科目を受講しました。履修登録方法は、1週間の履修登録期間中各クラスの授業を受けてみて決めるというものです。人数は20人ほどで、日本人や韓国人が多かったです。月曜日は、精読1コマ、口語1コマ、火曜日は、精読1コマ、水曜日は、リーディング1コマ、精読1コマ、木曜日は、リーディング1コマ、リスニング1コマ、金曜日は、口語1コマありました。授業形式は、1学期と同様に教科書に沿って本文、重要語句・文法等を確認し、練習問題を進めていくというものでした。

### III. 留学で得た学習成果

語学力の面では、特にリスニング・会話力が向上したと感じます。現地の人や友達と積極的に交流を図ることで、日常生活でよく使われる口語的表現を学ぶことができました。

また、精神的な面でも大きく成長したと感じます。実際に自分の肌でその土地の文化を感じることで、物事の見方や視野が大きく広がり、相手の国の文化やその人自身が持つ価値観を客観的に見て受け止めることができるようになりました。

### IV. その他気づいたこと

自分の人生において大変貴重な経験ができたと思います。  
このような素晴らしい機会を与えてくださって、本当にありがとうございました。

留学種別	TESS II
留学先大学	西安外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### 語学コース

精読、口語、リスニングの3科目

履修登録は事前にテストを行い、そのテストの結果に応じて自分のレベルに合ったクラスが提示される。それを目安に自分で所属するクラスを決め、担任の先生とオフィスの先生に指定の用紙を提出する。

クラス構成は20人程度、韓国人、タイ人、イタリア人、カザフスタン人、チェコ人など

精読の授業は毎日一コマ(90分)あり、続いて口語の授業が週に3コマ、リスニングの授業が2コマある。精読の授業のうち毎週金曜日はテストが実施される。

授業形式は講義形式で、学期に1回、2回は学生たちがテーマに沿ってプレゼンテーションを行う授業がある。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

#### 語学コース

授業科目、時間割は1学期目と同じ

2学期目以降は履修登録前のテストがなく、自分でどのクラスに所属するかを選択することができる。必要な手続きは1学期目と変わらない。

クラス構成は30人程度、ウズベキスタン人、カザフスタン人が多く、その他タイ人、フランス人、韓国人など

授業形式も1学期目とほぼ変わらないが、後半になるにつれて生徒自身がスライドを作り、教科書の単語や本文の内容をクラス全体の前で発表する形式が増えた。

### III. 留学で得た学習成果

私の留学先は先生以外全て中国人ではない外国の方々ばかりでした。そのためお互いの中国語のスキルも完璧ではなく、日々探りながら時には英語も交えつつの会話をしていました。おかげで文脈から相手の意図を推測したりより伝わりやすい表現の仕方が身についたと思います。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	TESS II
留学先大学	銘伝大学
留学先国・地域名	台湾
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

一学期目は、英語を 16 コマ、中国語は 9 コマ取りました。職場英語 2 コマ、ボキャブラリーアンドリーディング 3 コマ、中級華語 3 コマ、リーディング 2 コマ、ライティング 3 コマ、心理学 3 コマ、国際貿易 3 コマと外部の先生から教えてもらうマンダリン中国語を 6 コマ取りました。

履修登録は基本的に全ての授業が選べたので、自分の興味のあるものや、選考に近いものから選びました。そして、学部生と一緒に学びました。中にはグループワークを中心とした授業もありましたが、授業形式の授業の方が多岐に感じます。中国語の授業は台湾人以外のクラスで、文法や、例文、自己紹介など初歩的なものや、最後にはプレゼンテーションをしたりしました。クラスはとる授業によって毎回変わります。交換留学で多く在籍しているのは、韓国人と日本人です。他にはアジア系が多くいました。例えばフィリピン、ベトナム、タイなどです。1週間の授業は大体一日二つの授業をとります。中には一つの時や三つの時もありました。ですが一コマ 50 分なので、3 コマ分の時は日本よりもずっと長く感じました。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

二学期目は英語を 9 コマ、中国語を 5 コマ取りました。日本語翻訳 2 コマ、オーラルコミュニケーション 2 コマ、レストランマネジメント 3 コマ、台湾歴史文化 3 コマ、クロスカルチャー 4 コマです。銘伝大学には日本語学科があり、その授業を取ることもできました。日本語から中国語に訳すという授業ですが、テストでは先生の配慮により中国語を日本語に訳すというものでした。二期目はグループワークはほとんどありませんでしたが、オーラルコミュニケーションの期末考査では、**Help** という映画のワンシーンを 2 人組でコピーするというものでした。また、台湾歴史文化の授業もゲームをしたり、日本と台湾の文化を少人数で教えあったりしました。

### III. 留学で得た学習成果

留学では中国語の能力が格段に上がりました。日常生活では英語が通じなかったのが、最初は苦労しましたが、使って実際に練習できる環境にいたことがすごく良かったのだと思います。また、英語のリスニング能力も上がりました。授業が全て英語で、また、インターナショナルカレッジの友達とは英語が主だったからです。皆の能力が高く、英語を勉強する意欲が湧きました。

台湾だから学べたこととしては、中国との関係、そして香港についても触れることができたことです。デリケートな問題に対して授業で今にも残る摩擦を学び、また、現代の若者の視点なども学ぶことができました。リアルな声を聞いたことは大きな力になったと思います。

### IV. その他気づいたこと

特になし

留学種別	TESS II
留学先大学	銘伝大学
留学先国・地域名	台湾
留学期間	2018 年度 2 期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1 学期目の学習状況

履修登録はパソコンかスマホから行います。履修登録期間が外大と同じように 1 週間ほどあるので、その間に合わなかった授業は消すことができたり、新しい授業を追加することもできます。授業はすべての学科から選ぶことができます。華教系の授業は台湾人の生徒と一緒に受けます。人数は 50~20 人くらいで、授業によって変わります。留学生向けの中級華語は日本人、韓国人、ベトナム人がいました。留学生はアジア系の子が多くて、欧米系の子はあまり見かけなかったです。華教系から言語学・現代文学・英語リーディング、応用英文系から英語リスニング、応用日文系から日本語翻訳、そして留学生向けの中級華語・MSCC の授業を受けました。MSCC は主に日常会話能力の向上を図る授業です。金曜日に取りたい授業がなかったので全休になりました。授業はリーディング、現代文学、中級華語でプレゼンがありました。

### II. 2 学期目以降の学習状況 (1 年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

リスニング力が向上したと思います。本科生と一緒に受ける授業では、先生の話すスピードが特に留学生に向けての配慮がないものだったので速かったですが、何度も聞いてるうちに耳が慣れていくことを実感できました。また、台湾人の友達ができただけで、一緒にご飯を食べて遊んでいるうちに日常会話も身につきました。あと、人見知りで自分から話しかけることが苦手でしたが、留学中はそんなこと言ってもらえないと思い、積極的にコミュニケーションをとるようにしました。その結果、いろんな人と知り合うことができるとても楽しかったです。人と接することに対する抵抗が少なくなったことは、この先何か役に立つのではないかと思います。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	認定
留学先大学	銘伝大学
留学先国・地域名	台湾
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

#### 桃園キャンパス

履修方法はポータルから登録できます。現地の友達や留学先の先輩にお勧めを聞いて授業を取ることいいと思います。観光学科に所属していましたが、交換留学生は学年、学科関係なく授業を受けることができます。しかし、英語で開講している学科は限られています。クラス構成はインターナショナルクラスだと20人程度ですが、一般のコースだと50人程度のクラスもあれば、10人ほどの少人数もあります。時間割は自分で決めるので、沢山とるか少なく取るかは自分で決めたらいいと思います。私は1期に17単位履修していました。教科書は基本高く、学校の近くにコピー屋さんがあるのでそこで、一冊分コピーしてもらおうと安く済みます。学校環境はWiFiが完備しており、自習は図書館がおすすめです。

### II. 2学期目以降の学習状況（1年以上の留学の場合）

#### 2期から台北キャンパスに移動

2期から国際ビジネスの授業が取りたかった為台北キャンパスに移動しました。留学生や本科生も外国人の割合が多く国際色豊かであった。授業は消費者行動論やマーケティングマネジメントなど桃園キャンパスと同様に学部授業を履修した。英語で開講されており、クラスは50人ほどと多め。プレゼンテーションが毎週あったり課外でプロジェクトに挑むなど名古屋外大では履修したことがない授業形式で楽しく履修してよかった

### III. 留学で得た学習成果

TOEICを1期の終わりに現地で受けたので最終成果ではないが出発まえよりはるかに点数が上がっていた。また中国語も日常生活でよく使っていた為、中国語で少し会話することができるようになった。カルチャーショックもあったが日本の良さにも築くことが日本についても学びたいという意味が芽生えた。またこの留学を通して、国境や言語の壁をこえてたくさんの国の方たちと話す楽しさや、自分自身について、言語、文化などたくさんのことが学べた一年だった。

### IV. その他気づいたこと

留学種別	認定
留学先大学	釜山外国語大学校
留学先国・地域名	韓国
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 学習成果報告書

### I. 1学期目の学習状況

・留学先での授業登録は、留学に行く前に留学大学先の国際交流センターの日本担当の方から各授業の時間割をいただいて作りました。先に取りたい授業を選択してまとめたものを日本担当の方へ送り、いくつか修正をした後で最終的に自分がとる授業を決めました。

・それぞれの授業科目の名前は、「College English (大学英語)」、「デジタル観光英語」、「日本語敬語体系の理解と実務」、「韓日大衆文化の理解」、「韓日比較文学」、そして「日本語韓国語タンデム学習」の6科目です。「日本語韓国語タンデム学習」という授業は自分が履修登録をする前にすでに留学先の大学で登録されていたので、実質的に5科目を自分で登録しました。

・これらの6科目は、「大学英語」と「デジタル観光英語」の2科目が英語学部の授業で、「日本語韓国語タンデム学習」は教養科目で、残りの3科目は、日本語学部の『日本語文化コンテンツ専攻』というコースの科目です。

・授業の時間割は、週に3時間授業があり、それぞれ1時間授業と2時間授業で分かれています。「日本語韓国語タンデム学習」の授業は、週に2時間あり、2時間まとめて授業が行われます。[日本語韓国語タンデム学習]の授業は、週に3時間授業がありましたが、1時間分が休日にあつたので、実質2時間分授業がありました。月曜日に1時間「日本語敬語体系の理解と実務」があり、火曜日に「韓日大衆文化の理解」、「韓日比較文学」、そして「日本語韓国語タンデム学習」がそれぞれ2時間ずつあります。水曜日は「韓日大衆文化の理解」と「デジタル観光英語」がそれぞれ1時間ずつあり、「日本語敬語体系の理解と実務」という授業が2時間あります。そして木曜日に「College English (大学英語)」と「韓日比較文学」が1時間ずつあり、金曜日に「College English (大学英語)」と「デジタル観光英語」が2時間ずつあります。

・クラスの構成と授業形式は、「デジタル観光英語」と「日本語韓国語タンデム学習」以外、韓国人の学生約20~40人と一緒に講義形式で授業を受けました。「デジタル観光英語」は韓国人の学生と中国人学生、そしてフランス人学生とカザフスタン人の学生約20人と一緒に講義形式で授業を受けました。「日本語韓国語タンデム学習」は私を含め日本人学生8人と日本語学部の学生8人と一緒にそれぞれ1対1のペアになって、それぞれ日本語と韓国語で会話をする形式の授業を受けました。

・6科目すべての授業に発表とテストがありました。発表は、決められたテーマの中から自分の好きな事柄について発表をすることが出来ました。発表がテストの代わりになるのではなく、発表をした後にテストが別にありました。

### II. 2学期目以降の学習状況 (1年以上の留学の場合)

### III. 留学で得た学習成果

・授業を受けて得たことは、物事を様々な見方から考察し、論理的に論じる力が付いたかなと思えました。授業の受け方から学生の授業に対する意欲、そして教授が説明して下さることについてあらゆる角度から考察して、それを発表やテストで論じる機会が多かったので、論じる力が付いたのではないかと思います。そして、韓国人の学生と一緒に授業を受ける中で、物事を比較する力も留学する前より付いたと思えます。常に日本と韓国やその他の物事について比較

していたので、以前より物事を比較できるようになったのではないかと思います。

#### IV. その他気づいたこと